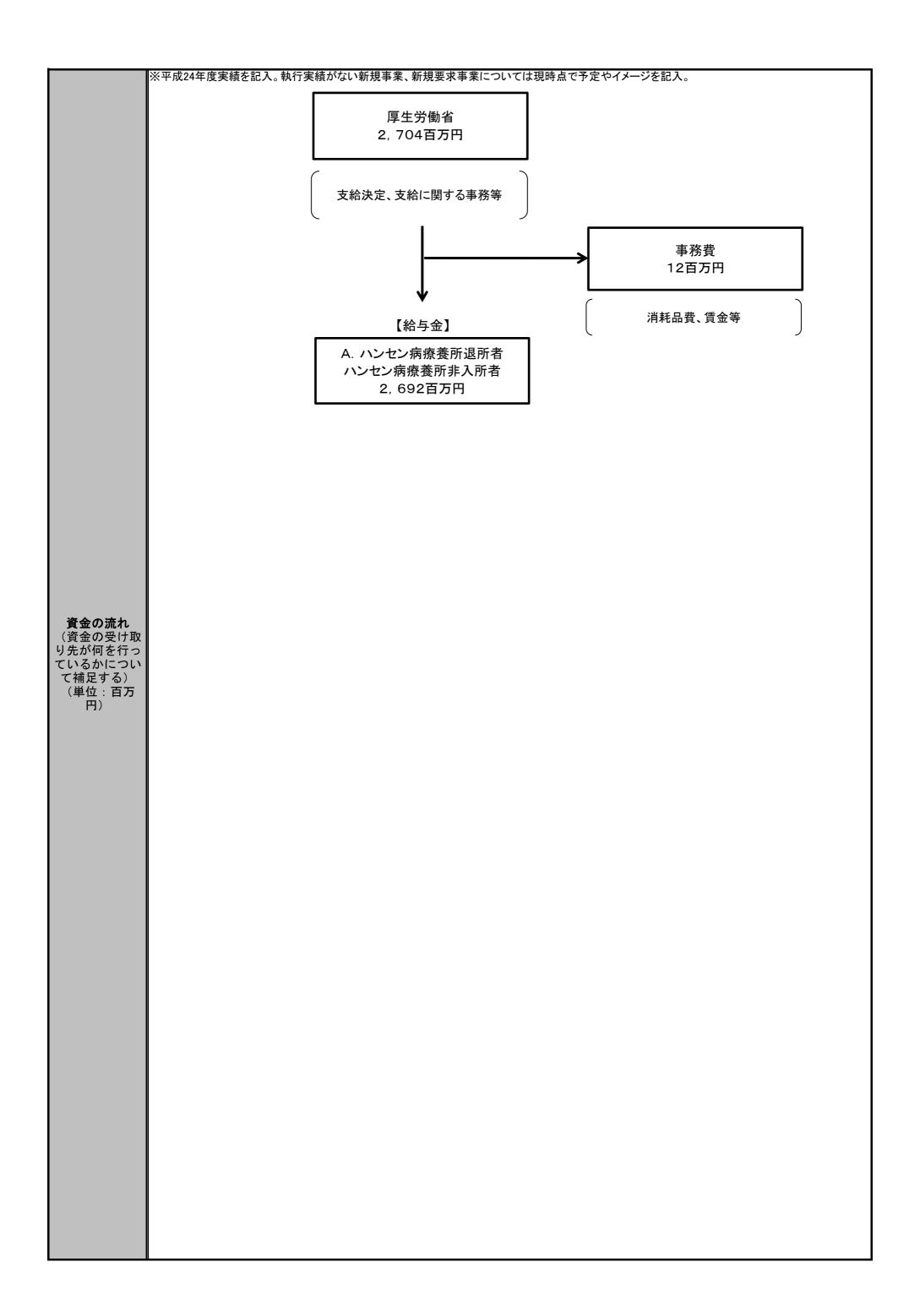
				平成25	年行政事:	業レビ	<u>゙゙゙゙ューシート</u>	•	(厚生	労働省)			
	事業名		担当	8局庁	1	建康局		作成責任者					
事 終了	業開始・ (予定)年度		平成14年原	支	担当	課室				疾病対策課 田原 克志			
至	会計区分		一般会計		政策•	施策名		治療方法が確立 う防・治療等を		い特殊の疾病等の っこと			
(,	製拠法令 具体的な 項も記載)		引題の解決の促進			程 関係する計画、 通知等 通知等							
(目	業の目的 指す姿を簡 3行程度以 内)	ハンセン病療②ハンセン病療 ②ハンセン病療 裁判上の和	療養所退所者給与 療養所退所者の福 療養所非入所者給 解が成立したハン・ きるための経費をす	祉の増進を目的とし 与金 セン病療養所に入				祉の増進を目的	っとし、平穏で	で安定した平均的水			
(5行	≨業概要 ∶程度以内。 刂添可)		§養所退所者に対し解が成立したハン・			∶入所者糸	合与金を支給。						
身	ミ施方法	■直接実施	□委託・請負	□補助 ————	□負担	□兹	Σ付 □貸付	† □その 	他				
	5 算額・ 執行額 位:百万円)	予算補	初予算 正予算 越し等	22年度 3,081 3,081	23年度 3,059 3,059		3,010	25年 2,77 2,77 2,77	2	26年度要求 2,720			
		 執行		2,910	2,817		2,704	2,11	2	2,720			
							<u> </u>						
		執行率		94.4	92.1		89.8			目標値			
	目標及び成 果実績 'ウトカム)	退而考及75非	成果指標 入所者の福祉の増		成果実績	単位	22年度	23年度 ————————————————————————————————————	24年度 	(年度)			
•	,	E//THXU'SF) 正 10 10 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00	達成度	%	_	-	-				
,	16.1 2. 7. 20.44		活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込			
	指標及び活 動実績 ウトプット)	退所者給与金	及び非入所者給与	-金の支給者数	活動実績 (当初見込 み)	人	1,345	1,305	1,294) (1,286)			
単	位当たり コスト		円/人)	算出根拠	2, 704	百万円 / 1, 2	94人 = 2,0	089, 645F	円(/人)				
777	_		25年度当初予算	1 1 1 1 1	<u></u>		主	な増減理由					
平成2	国立ハンセン病療金 ハンセン病名誉回	療養所退所者等給与 回復事業等庁費	2,755	2,708	対象者の減 ハードウェア		戓						
5・26年度予算内訳		計	2,772	2,720									
		ĦI	_,, , _	_,,									

	事業所管部局による点検										
			項目			評価	評価に関する説明				
国必費	広く国民の)ニーズがある	か。国費を投入しなければ	ば事業目的が達成できない(のか。	0	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づくものであり、国費を投入すべき事業である。				
要投 性入	地方自治的	本、民間等に多	委ねることができない事業 が	なのか。		0	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づくもので あり、国が実施すべき事業である。				
0	明確な政策 なっている	策目的(成果目 か。	目標)の達成手段として位置	置付けられ、優先度の高い 。	事業と	_					
	競争性が	確保されている	るなど支出先の選定は妥当	áか 。		_					
事	受益者との)負担関係は	妥当であるか。			_					
業の	単位当たり	リコストの水準	は妥当か。			_					
効率	資金の流	れの中間段階	での支出は合理的なものと	となっているか。		_					
性	費目•使途	が事業目的に	こ即し真に必要なものに限	定されているか。		0	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づく給与金 の支給であり、事業目的に即したものである。				
	不用率がた	大きい場合、そ	その理由は妥当か。(理由を	を右に記載)		0	療養所入所者の高齢化による退所者数の減少及び給与金受給者の死亡等 により、給与金の受給者数が当初の積算より減少したものである。				
事業			D手段・方法等が考えられ できているか。	る場合、それと比較してより	対象果的	_					
の			<u>ここで、0%。</u> 合ったものであるか。			_					
有効			かは十分に活用されている。 かな	<u></u>							
性				~。 な役割分担を行っているか。	,						
重	(役割分担	!の具体的な内	容を各事業の右に記載)								
複 排	事業番号	•	類似事業名		部局名		4				
除							-				
							<u> </u>				
点検結果	寅 良好かつ平穏な生活を営むことができるようにするための基盤整備は喫緊の課題とされている。 晴 ・退所者給与金及び非入所者給与金は、ハンセン病問題の解決の促進に関する法律第15条の規定に基づき、退所者及び非入所者に対し、その者の生										
				外部有識者の	の所見						
				点検対象							
	į			行政事業レビュー推進	匿チームの)					
	事 業 内 内 容 の さ。 改 善善										
			所見?	を踏まえた改善点/概算	要求におり	ける反映	央状況				
	縮 実績を踏まえて支給対象者数を見直したことによる縮減 減										
				担体ナフルナのには	2. 10	5₩ ₩					
	77	成22年		関連する過去のレビュー 		争美奋为					
	平	成22年	269	平成23年	127		平成24年 101				



		A.退所者·非入所者			E.	
	費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	給与金	退所者給与金·非入所者給与金	2,692			(27313)
	計		2,692	計		0
		B.	•		F.	
	費目	使 途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)
			(17311)			(ロ2311)
質目・使途						
おいてブロックごとに最大の金額						
費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使が 分かるように記 載)						
する。費目と使途の双方で実情が						
分かるように記						
戦/	計		0	計		0
		C.	•		G.	
	費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	計		0	計		0
		D.			H.	
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト A.

A.	支 出 先	業務概要 	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	退所者·非入所者	退所者給与金及び非入所者給与金を支給	2,692		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					_
9					_
10					

				平成25年	年行政事	業レビ	「ューシート	•	(厚生	E労債	動省)
	事業名		名誉回復事業	ŧ	担当台	吊庁	1	建康局		作月	述責任者
事 終了	業開始・ (予定)年度		平成14年度		担当	課室				田几	病対策課 原 克志
£	計区分		一般会計		政策 •	施策名		治療方法が確立 う防・治療等を			
(,	拠法令 具体的な 項も記載)	ハンセン病問	題の解決の促進に	:関する法律第189	条 関係する 通知			_	_		
(目	業の目的 指す姿を簡 3行程度以 内)		問題の解決の促進に 必要な措置を行う。	·関する法律第18ś	条」に基づき、A	ハンセンタ	丙及びハンセン病	対策の歴史に関	目する正し	い知識	の普及啓発及
(5行	¥概要 程度以内。 引添可)	啓発を実施する ②改葬費 各療養所の納	としたパンフレットに	ついて、親族等の	墓に改葬する	ための費	用の支給を行う。			こ関する	る知識の普及
身	ミ施方法 	■直接実施	□委託·請負 			□交					
予算額 · 執行額		予算 補〕	初予算 正予算 越し等	31	31		31	30		30	
1	執行額 位:百万円)		計	31	31		31	30			30
		 執行 [:]		21	22		3	- 00			
		執行率		67.7	70.1		9.7				
		100131	成果指標			単位	22年度	23年度	24年	度	目標値(年度)
;	目標及び成果実績 ウトカム)	ハンセン病の正 る。	しい知識の普及啓	発及び名誉回復を			_	_	-		
					達成度	%	_	_	_		
活動	指標及び活		活動指標			単位	22年度	23年度	24年	度	25年度活動見込
	動実績ウトプット)	中学生向けパン 養所死没者のd	ノフレットの印刷部数 枚葬数	女、国立ハンセン病	活動実績 (当初見込 み)	部、柱	1,965,000 17	1,805,000 11	0 11 ()	— (1,500,000) (11)
単位当たり コスト	死没	者改葬費 50,00	0(円/柱)	算出根拠	死没者。	枚葬費の単価は5	万円/柱として	いる。			
	_		25年度当初予算	26年度要求			主	な増減理由			
平成。	ハンセン病名誉回	回復事業諸謝金 回復事業委員等旅費	0	0							
2 5	ハンセン病名言匠		30	30							
2		10000000000000000000000000000000000000	30	30	_						
6 年 度											
度 予 算·											
内訳											
n/\		計	30	30							

	事業所管部局による点検										
			項目			評価	評価に関す	ナる説明 			
国必費	広く国民の	のニーズがあ る	るか。国費を投入しなければ	『事業目的が達成できない	いのか。	0	ハンセン病問題の解決の促進しあり、国費を投入すべき事業であ	に関する法律に基づくもので 5る。			
要投性入	地方自治	体、民間等に	委ねることができない事業な	ぶのか 。		0	ハンセン病問題の解決の促進しあり、国が実施すべき事業である				
	明確な政 なっている		目標)の達成手段として位置	₹付けられ、優先度の高 し	い事業と	1	67 C F X C 67 C F X C 67 C	νο			
	競争性が	確保されてい	るなど支出先の選定は妥当	iか。		0	業者選定に当たっては、一般	競争入札によるものである。			
事	受益者と	の負担関係は	:妥当であるか。			_					
業の	単位当た	りコストの水準	≛は妥当か。			-					
効率	資金の流	れの中間段階	皆での支出は合理的なものと	<u>-</u> なっているか。		_					
性	費目∙使返	金が事業目的	に即し真に必要なものに限っ	定されているか。		0	名誉の回復等、事業目的に即し	たものである。			
	不用率が	大きい場合、	その理由は妥当か。(理由を	右に記載)		Δ	パンフレットの内容が確定しな内に間に合わなかったもので				
事業			の手段・方法等が考えられる 近できているか。	る場合、それと比較してよ	り効果的	_	P TICINIC DAY ON STE DOY CO	35 W ₀			
不の有			とさているか。 見合ったものであるか。			_					
効性			物は十分に活用されている	か。							
吐	 類似の事	業がある場合	、他部局・他府省等と適切な		か。						
重複	(役割分割) 事業番号		内容を各事業の右に記載) 類似事業名	所管府省	3₌部昌夕						
排	- 子不田。		及のチベロ	IN ENT E	ם נייום						
除											
点 検結 果 	検 い社会の実現に向けて、真摯に取り組むこととされている。 結 ・本事業は、ハンセン病問題の解決の促進に関する法律第18条の規程に基づく、ハンセン病及びハンセン病対策の歴史に関する知識の普及啓発及び										
				点検対:	象外						
	•			行政事業レビュー推	進チーム	の所見					
	現 状 ハンセン病の歴史等に係る普及啓発や、ハンセン病療養所の納骨堂に眠る遺族の改葬費等を行い、ハンセン病元患者の名誉回復を図るため 通 の事業であるが、事業の必要性及び執行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な執行となるよう努めるべき。 り										
			所見る	と踏まえた改善点/概算	事要求にお	ける反映	央状況				
	現状通り				_						
					*						
				ита '-							
		- b t		関連する過去のレビュー		事業番号		Las			
	平	成22年	270	平成23年	128		平成24年	102			

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。 厚生労働省 3百万円 らい予防法による被害者の名誉回復 及び追悼の日に関する経費、ハンセ 事務費 1百万円 謝金、旅費、消耗品等 【一般競争】 A. (株)エム・プラスコンベンション 1. 4百万円 【改葬費】 B. ハンセン病療養所等死没者改 葬費 0. 55百万円 **資金の流れ** (資金の受け取 り先が何を行っ ているかについ て補足する) (単位:百万 円)

	А	(株)エム・プラスコンベンション			E.	
	費 目	使 途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)
	ハンセン病名誉回復 事業等庁費	らい予防法による被害者の名誉回復及び追 悼の日式典運営	1.4			(
			1.4			0
		 ハンセン病療養所入所者改葬費			F.	1
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)
	ハンセン病名誉回復 事業等庁費	ハンセン病療養所入所者改葬費	0.55			(8/3/1)
费日• 估淦						
費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご						
とに最大の金額 が支出されている						
者について記載						
する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)						
載)	=1		0.55	=1		
	計	0	0.55	計	0	0
	費目	C. 使 途	金額	費目	G. 使 途	金額
	. 現 口		金額(百万円)	月 日		金額(百万円)
	計		0	計		0
		D.	A 17		H.	
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト A._

71.	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エム・プラスコンベンション	らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日式典運営	1.4	6	46.6
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

<u> </u>	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ハンセン病療養所等死没者遺族	ハンセン病療養所等死没者改葬費	0.55		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

	平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省) 事業名 国立ハンセン病療養所等入所者家族生活援護委託費 担当部局庁 健康局 作成責任者												
ļ	事業名	国立ハンセン	田立ハンセン病療養所等入所者家族生活援護委託 昭和29年度				『局庁			康局		作	成責任者
	業開始・ (予定)年度	昭和29年度 一般会計				担当	課室			対策課		田	病対策課 原 克志
会	計区分		一般	会計		政策・	施策名	I -		â療方法が確₃ 防・治療等を			殊の疾病等の :
(]	拠法令 具体的な 項も記載)	ハンセン病問	問の解決の ^を	促進に	関する法律第19约	関係する通知				-	_		
(目:	業の目的 指す姿を簡 3行程度以 内)				関する法律第19第 ほする経費(生活も								道府県が生活
(5行	季概要 程度以内。 引添可)	「ハンセン病限 保護法の基準!			関する法律第19名	そ」の規定に基	:づき、!	寮養所之	入所者の親旅	€で生活困難な	:者に対し ⁻	て、都	道府県が生活
美	施方法	□直接実施	■委託・	請負	□補助	□負担		交付	口貸付	□その 	他		
					22年度	23年度			24年度	25年		2	6年度要求
			初予算		46	42			33	26		25	
予	・ 算額・	の状	正予算										
1	ア昇領・ 執行額 (単位:百万円)	況	越し等 										
(十			計 		46	42			33	26			25
		執行 ————			25	25			24				
		執行率 ————	(%)		54.3	59.5			72.7				
			成果	指標			単位		22年度	23年度	24年)	度	目標値 (年度)
ا	目標及び成 果実績 ウトカム)	ハンセン病療養 ようになる。	動入所者の	家族の生	生活の安定が図れ				-	_	_		-
						達成度	%		_	_	_		
27.54	比梅ながな		活動	指標			単位		22年度	23年度	24年)	度	25年度活動見込
1	指標及び活 動実績 ウトプット)	活動指標				活動実績 (当初見込 み)	人		37	38	35)	— (29)
	位当たり コスト		685, 714	l (円/.	人)	算出根拠		2	4百万円 /	35人 = 6	85, 714	円(/	人)
		1 目	25年度当初	予算	26年度要求				主た	は増減理由			
成	国立ハンセン所者家族生活	ン病療養所等入 活援護委託費	26		25			生	活保護の基準	達改定による単	値価の減		
25・26年度予算内訳		計	26		25								

				Į	事業所管部局に	こよる点核	į				
			項	=			評価	評価に関する説明			
国必要							0	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づくも のであり、国費を投入すべき事業である。			
必要投 性入	地方自治	体、民間等に	委ねることができない	事業なのか。			0	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づくも のであり、国が実施すべき事業である。			
の	明確な政 なっている	策目的(成果目 るか。	目標)の達成手段として	て位置付けられ	、優先度の高い	事業と	_				
	競争性が	確保されている	るなど支出先の選定は	は妥当か。			_				
	受益者との	の負担関係は	妥当であるか。				_				
未	単位当た	りコストの水準	は妥当か。				_				
<i>XI</i> J	資金の流	れの中間段階	での支出は合理的な	ものとなってい	るか。		_				
率 性	費目•使途	金が事業目的に	こ即し真に必要なもの	に限定されてい	いるか。		0	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づく生活困難な者に対する援護に必要な経費であり、事業目的に即したものである。			
	不用率が	大きい場合、そ	その理由は妥当か。(ヨ	理由を右に記載	載)		0	対象者数が当初の積算を下回ったことによるものである。			
			の手段・方法等が考え できているか。	られる場合、そ	それと比較してよ	り効果的	_				
の 有	活動実績	は見込みに見	合ったものであるか。				_				
ᇭ	整備される	た施設や成果	物は十分に活用されて	こいるか 。			_				
_			、他部局・他府省等と		担を行っているか	١,	_				
重複批	事業番号	-	類似事業名		所管府省・	·部局名					
排除											
検結果	度好かつ平穏な生活を営むことができるようにするための基盤整備は喫緊の課題とされている。 ・本事業は、ハンセン病問題の解決の促進に関する法律第19条の規程に基づく、らい予防法により一家の支柱となるべき者が入所させられた場合の代替措置として、その家族に対し、生活保護に準じた援護を行う制度に必要なものであり、適切に実施されている。 ・平成24年度は、前年度と同程度の35人に対し支給し、前年度に比べ、効率的な執行が図られたところであり、25年度も引き続き効率的な執行を図りつつ、生活困難なハンセン病療養所入所者の家族に対して援護を行っていく。										
					外部有識者	の所見					
執行萃	ጆを勘案し	、予算額への	反映が必要である。(
	1				事業レビュー推	進チーム(か所見				
	事業内容の改善	本経費につい	ては、執行状況を踏ま	まえ、予算要求	に反映すべき。						
				所見を踏まえ	た改善点/概算	要求にお	ける反映	央状況			
	現状										
	状 執行実績を踏まえ、25年度予算において縮減を行ったところである。 入所者の家族への支援を維持するため、更なる縮減は困難な状況であるため、前年度と同程度の予算を要求する。 お り										
	<u> </u>				حال عليو						
					備考						
				関連する	過去のレビュー	-シートの	事業番号	号 			
/	平	成22年	271		平成23年	129		- 平成24年 103			

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。 厚生労働省 24百万円 交付決定、支給に関する指導等 【委託】 都府県(15) 24百万円 A 都府県 (内訳) 上位10者 沖縄県 5百万円 鹿児島県 4百万円 長崎県 3百万円 東京都 2百万円 三重県 2百万円 熊本県 2百万円 1百万円 大阪府 兵庫県 1百万円 資金の流れ 岡山県 1百万円 (資金の受け取 群馬県 1百万円 り先が何を行っ ているかについ て補足する) (単位:百万 円) 生活保護法の基準に準じて援護を実 施

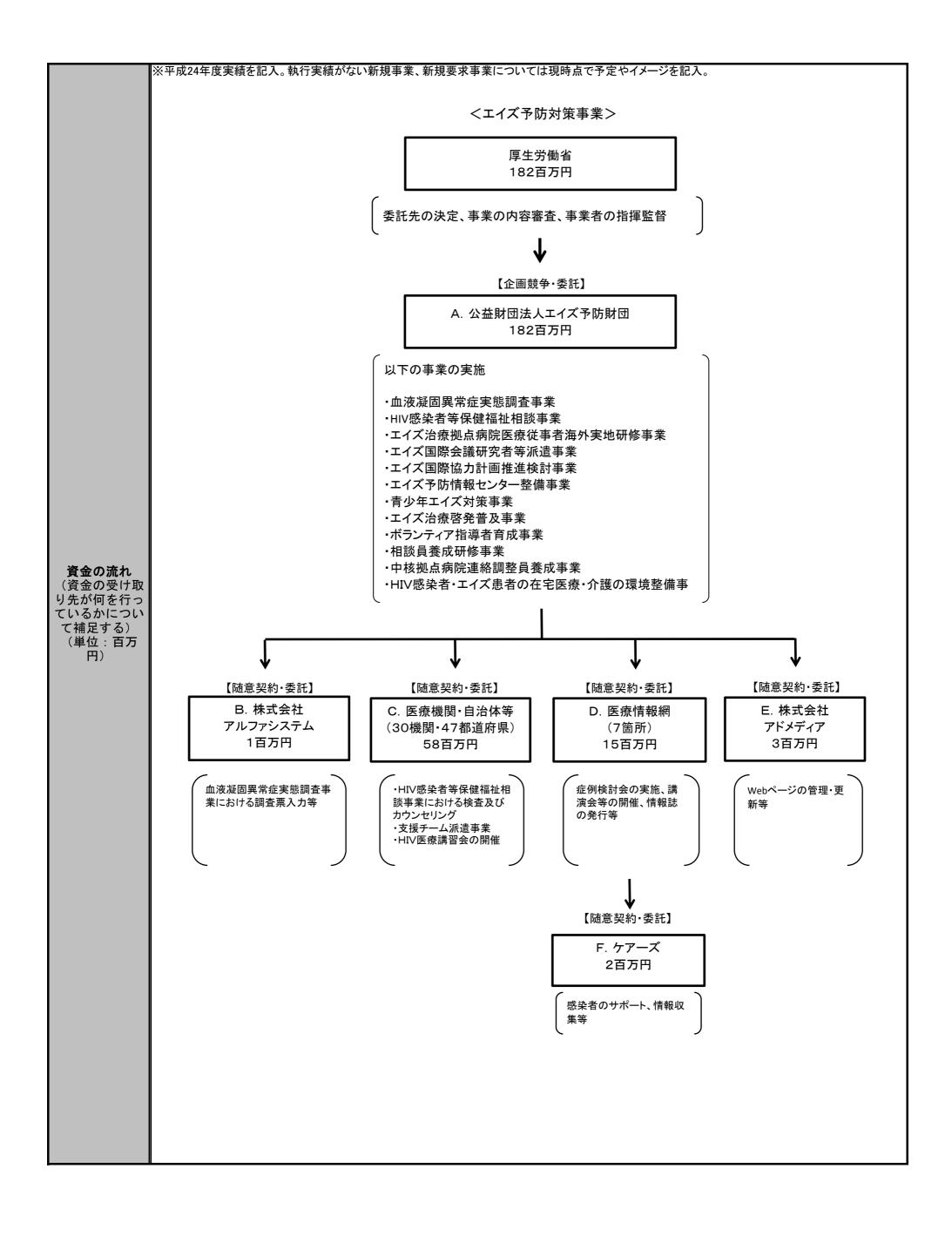
		 A.沖縄県			E.	
	費目	使 途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)
	生活援護費	生活援助·住宅援助	5			(117313)
	旅費	受給者世帯訪問等	0			
	賃金	事務補助員	0			
	消耗品費	厚生福祉購読料	0			
	通信運搬費	受給世帯訪問時タクシー利用料	0			
	計		5	計		0
		В.			F.	
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
費目•使途						
費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている						
とに最大の金額がませれている						
L 石して)し、)(Ert市V)						
する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)						
分かるように記 載)						
	計		0	計		0
		C.	一人哲		G.	一人奶
	費目	使途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	計		0	計		0
	ĒΙ	5	1 0	āl ————————————————————————————————————		
	# 5	D.	金 額		H.	金額
	費目	使途	金額(百万円)	費目	使途	金額(百万円)
	計		0	計		0

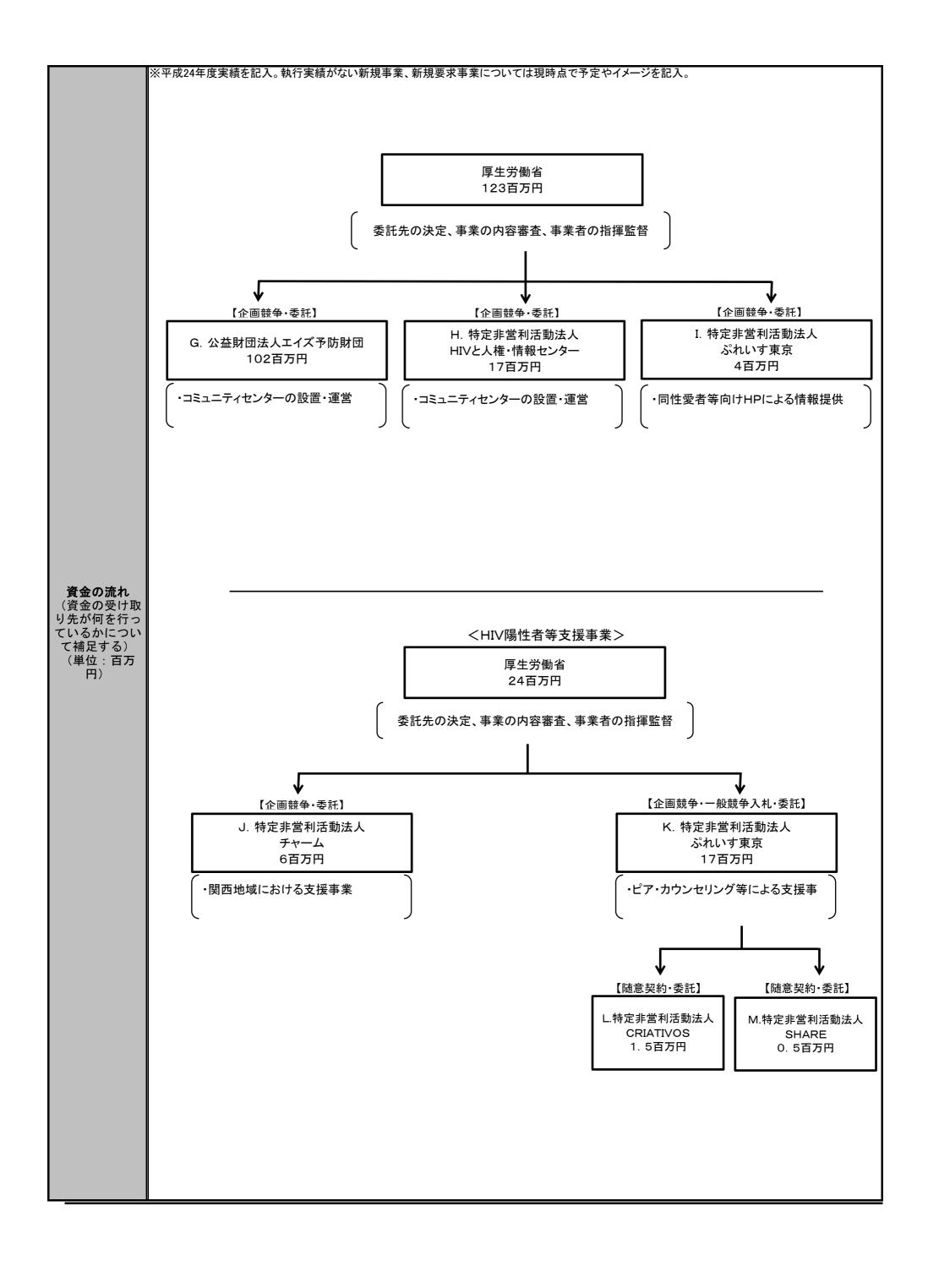
支出先上位10者リスト

Α.			+ U #=		
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	沖縄県	生活保護法の基準に準じて援護を実施	5		
2	鹿児島県	生活保護法の基準に準じて援護を実施	4		
3	長崎県	生活保護法の基準に準じて援護を実施	3		
4	東京都	生活保護法の基準に準じて援護を実施	2		
5	三重県	生活保護法の基準に準じて援護を実施	2		
6	熊本県	生活保護法の基準に準じて援護を実施	2		
7	大阪府	生活保護法の基準に準じて援護を実施	1		
8	兵庫県	生活保護法の基準に準じて援護を実施	1		
9	岡山県	生活保護法の基準に準じて援護を実施	1		
10	群馬県	生活保護法の基準に準じて援護を実施	1		

					- /= TL - - -	///	*	事業番·		121	
-	 事業名		 □イズ予防対策事				<u> </u>	-	(厚生労		
	争 耒 石 : 業開始・				担当音			健康局		丰成責任者 	
	(予定) 年度		昭和63年月		担当	課室		病対策課 	В	3原 克志	
	計区分		一般会計		政策•	施策名	I - 5 - 2		としていない特 充実させること	ない特殊の疾病等の予 せること	
(أ	拠法令 具体的な 項も記載)		及び感染症の患者 0年法律第114号) 	に対する医療に関 第11条		関係する計画 、 「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針」 通知等 平成24年厚生労働省告示第21号					
(目:	業の目的 指す姿を簡 3行程度以 内)		通じた人材育成、個	関心を理解を深め、 別施策層である同							
(5行	季概要 程度以内。 引添可)	ズ患者等の生 ・地方ブロック! 要なチーム医!!	活の質を高めるため 処点病院に患者等だ 象の調整等の能力	ため、広く国民にエーカ、電話相談やカウ: が集中する事態の解 の習得を図る。 が可能となった感染:	ンセリング等係 解消並びに適ち	保健福祉 別な医療	上相談を行う。 その確保のため、	中核拠点病院の	看護師等を養成	し、HIV診療に必	
 実	 译施方法	 □直接実施	■委託・請負	 □補助	 口負担			 付 □そ <i>0</i>)他		
				22年度	23年度		24年度	25年	度		
		当	初予算	283	374		357	330		312	
			正予算								
予算額 • 執行額 (単位∶百万円)		の状況操	越し等								
			計	283	374		357	330	3	312	
		執行	額	283	374		356				
		執行率(%) 100.0%			100.0%		99.7%				
						単位	22年度	23年度	24年度	目標値	
成果目標及び成		HIV感染者・エイズ患者の社会生活を支援し、医療			#					(年度)	
	果実績 ウトカム)	者への研修の	実施、同性愛者等に	こ対するエイズの正	し	_		_	_	_	
			等を推進することに する事を目的として	より国民の保健福祉 いる。	達成度	%	_	_	_		
						単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
活動	指標及び活		7L 23 1L A			+ μ	22 1 /2	201/2	211/2	20 1 12/13/2012	
j	動実績ウトプット)	立广十日:17、7日花 3九、土	* ひがっ ノブ虫 * ケ	: 88 土口 什 米4	活動実績	ı	1,544	1,529	1,449	_	
			首及びエイズ患者年	·间取古数	(当初見込み)	人	(平成22年年間報告数)(平成23年年間報告数)	(平成24年年間報告数		
-	位当たり コスト		28,000,000(円/	事業)	算出根拠		336百7	5円 / 12事	業 = 28百万	円	
		基 目	25年度当初予算	26年度要求				主な増減理由			
	人件費		56 17	56				ala ta P			
T	諸謝金		23	12			:及び出席人員の 咸及びそれに伴う				
2	旅費	± o #	7	7	別修女守の 	ガルモリノル	%及いて451年ブ	小「貝Vノ門が			
•	消耗品費•偏		12	12	_						
6	印刷製本費 会議費		1	1	-						
度	云藏食 一 借料•損料		38	31		迷ってってい	実績に応じた会り	星相榵の目声し!	- 伴う削減		
笛	通信運搬費		5	5	女哦 ⁻ 別修出 	ⅎ℥⅄Ϫ℧	大順に 心し/こ女	∞元≒ツ兄 但し!・	- 〒 ノ月リ/収		
内訳	賃金		50	50	_						
	□並 一 雑役務費		27	23	-						
	事務費		100	98	事業運営費の	の見直し	による削減				
		 計	336	312	1						
		ĀΙ	1		Ī						

			事業所管部局	による点	検	
		項目			評価	評価に関する説明
	広く国民のニーズがある	か。国費を投入しなけれは	事業目的が達成できなし	いのか。	0	普及啓発によるHIV感染・エイズ発症の予防、感染者等に対する医療体制の整備は、個人における早期発見・早期治療及び社会における感染拡大防止の観点、感染者等の安心・安全な社会の実現の観点から極めて重要なものであり、国民のニーズ、優先度ともに高い事業である。
国費投入の	地方自治体、民間等に引	委ねることができない事業 を	らのか。		0	国及び都道府県等は、HIV/エイズに係る各種施策を推進する責務を負っており、特に、治療法開発のための研究支援や差別・偏見の解消を図るための普及啓発、人材の育成及び均てん化等については国が率先して推進すべきものであり、これらの施策を行う本事業は、国が実施すべきものである。
	明確な政策目的(成果目 なっているか。	目標)の達成手段として位置	付けられ、優先度の高い	事業と	_	
	競争性が確保されている	るなど支出先の選定は妥当	か。		Δ	企画競争、一般競争入札により事業者を選定
	受益者との負担関係は	妥当であるか。			_	
事	単位当たりコストの水準	は妥当か。			_	
業の	資金の流れの中間段階	での支出は合理的なものと	:なっているか。			
効率性	費目・使途が事業目的に	こ即し真に必要なものに限り	定されているか。		0	保健福祉相談を行うカウンセラーの人件費や普及啓発資材、各種講習会の実施に係る事務費等、真に必要なものに限定されている。
			 -右に記載)			
事業の有				り効果的	0	未だに根強く残る差別・偏見等により、感染者・患者の心理ケアや生活支援、感染リスクの高い同性愛者等への啓発等を実施する医療機関、団体は少なく、他の手段による効果的な実施は困難であり、本事業が最も実効性のある手段となっている。
効 性	活動実績は見込みに見	合ったものであるか。			_	
	整備された施設や成果物		か。		_	
番		、他部局・他府省等と適切な 日容を各事業の右に記載)	な役割分担を行っているか),°	_	
重複排	事業番号	類似事業名	所管府省	▪部局名		
除						
点検結果	るものと考えられる。国民 染者等が安心して生活で	民のニーズや優先度、国が	実施すべき責務、資金の :事者への研修を通じた人	費目·使途、材育成事:	、事業の	事業が国民のHIV/エイズに関する意識の向上に寄与してい)実効性等の各点検項目を概ね満たすものであり、また、感 ることから、引き続き「後天性免疫不全症候群に関する特定
			外部有識者	香の所見		
			点検対	象外		
			行政事業レビュー推	進チーム	の所見	
(-		D保健福祉相談やHIV医療 上を図るための事業であるが				、HIV陽性者等の保健福祉の向上及びHIV/AIDSの感染予 。
	<u> </u>		を踏まえた改善点/概算	算要求にお	おける反	
	縮執行実績を踏る	まえて、対象者数等積算を				
			備者	5		
			関連する過去のレビュ	_	事業番	
	平成22年	153	平成23年	130		平成24年 104





※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。 <「世界エイズデー」等啓発普及事業> 厚生労働省 28百万円 委託先の決定、事業の内容審査、事業者の指揮監督 【企画競争·委託】 N. 株式会社 TBSラジオ&コミュニケーションズ 28百万円 HIV検査普及週間(6/1~7)及び世界エイズデー (12/1)における普及啓発イベントの企画・運営 【随意契約·委託】 **資金の流れ** (資金の受け取 O. 株式会社等(9者) 12百万円 り先が何を行っ ているかについ て補足する) (単位:百万 イベント運営に係る放映、会場、映写、舞台美術、映像収録、 舞台監督等 円)

A.公益財団法人エイズ予防財団 E.株式会社 アドメディア 金額 (百万円) 金額 使 途 費目 使 途 費目 (百万円) 30 人件費 本給等 人件費 作業員賃金 諸謝金 講師謝金等 2 旅費 講師旅費、医療従事者海外派遣費等 11 庁費 50 消耗品費、印刷製本費、通信運搬費等 委託費 77 相談事業等の委託 その他 消費税等 12 3 計 182 計 F. ケアーズ B. 株式会社アルファシステム 金額 金 額 費目 使 途 費目 使 途 (百万円) (百万円) 人件費 作業員賃金 庁費 消耗品費、印刷製本費、通信運搬費等 その他 諸謝金、旅費等 費目·使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載) 計 計 2 C.特定非営利活動法人HIVと人権情報センター G. 公益財団法人エイズ予防財団 金額 金額 使 途 費目 使 途 費目 (百万円) (百万円) 諸謝金 人件費 検査医師謝金等 本給等 31 7 旅費 1 諸謝金 講師謝金等 スタッフ旅費等 庁費 消耗品費、印刷製本費、通信運搬費等 3 旅費 3 スタッフ旅費等 庁費 消耗品費、印刷製本費、通信運搬費等 48 13 その他 消費税等 5 102 計 計 D. 関西HIV臨床カンファレンス H.特定非営利活動法人 HIVと人権情報センター 金額 金額 使 途 費目 使 途 費目 (百万円) (百万円) 講師謝金等 人件費 講師謝金、旅費、消耗品費等 3 諸謝金 3 スタッフ旅費等 委託費 情報収集等の委託 旅費 11 庁費 消耗品費、印刷製本費、通信運搬費等 その他 消費税等 2 計 5 計 17

I.特定非営利活動法人 ぷれいす東京 M.特定非営利活動法人 SHARE 金額 金額 使 途 使 途 費目 費目 (百万円) (百万円) 庁費 消耗品費、印刷製本費、通信運搬費等 4 人件費 外国相談員等賃金 0.5 0.5 計 4 計 N.株式会社 TBSラジオ&コミュニケーションズ J.特定非営利活動法人 チャーム 金額 金額 費目 使 途 費目 使 途 (百万円) (百万円) 人件費 人件費 本給等 本給等 2.6 講師謝金等 諸謝金 1 諸謝金 講師謝金等 3 庁費 旅費 0.4 消耗品費、印刷製本費、通信運搬費等 1 ゲスト旅費等 費目·使途 (「資金の流れ」においてブロックご 7 庁費 消耗品費、印刷製本費、通信運搬費等 12 委託費 動画制作、配信等の委託 とに最大の金額 が支出されている 3 その他 消費税等 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載) 計 6 計 28 K.特定非営利活動法人 ぷれいす東京 O.株式会社 エフエム沖縄 金額 金額 使 途 費目 費目 使 途 (百万円) (百万円) 人件費 人件費 本給等 4 会場設営・運営スタッフ賃金等 旅費 スタッフ旅費等 1 庁費 消耗品費、印刷製本費、通信運搬費等 庁費 消耗品費、印刷製本費、通信運搬費等 9 その他 諸謝金、旅費等 委託費 外国語相談事業等の委託 2 その他 消費税等 1 17 計 計 L.特定非営利活動法人 CRIATIVOS P. 金額 金額 使 途 費目 使 途 費目 (百万円) (百万円) 人件費 外国相談員等賃金 1.5 計 1.5 計

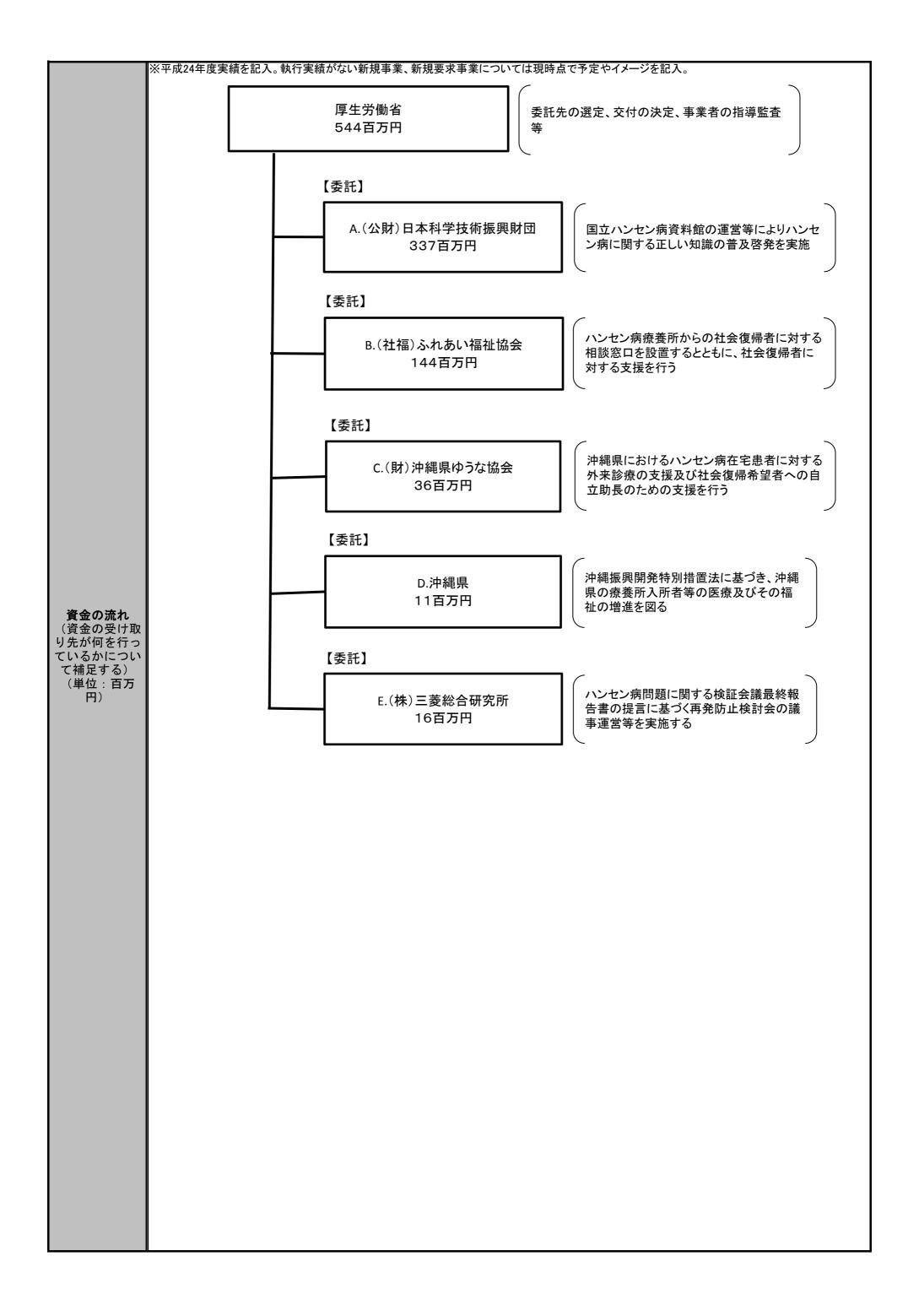
支出先上位10者リスト A.

A			
支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数 落札率
1 公益財団法人エイズ予防財団	血液凝固異常症実態調査事業等	182	随意契約
В.			
支 出 先	*************************************	支 出 額 (百万円)	入札者数 落札率
1 株式会社アルファシステム	血液凝固異常症実態調査事業における調査票入力等	1	
C.			
支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数 落札率
1 HIVと人権情報センター	保健福祉相談事業における検査・相談等	5	
2 動くゲイとレズビアンの会	保健福祉相談事業における検査・相談等	2	
3 スマートらいふネット	保健福祉相談事業における検査・相談等	2	
4 埼玉県	保健福祉相談事業における検査・相談等	2	
5 千葉県	保健福祉相談事業における検査・相談等	1	
6 りょうちゃんず	保健福祉相談事業における検査・相談等	1	
	HIV医療講習会	0.2	
	HIV医療講習会	0.2	
	HIV医療講習会	0.2	
10 社団法人 山梨県歯科医師会	HIV医療講習会	0.2	
D.			
支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数 落札率
1 関西HIV臨床カンファレンス	症例検討会や講習会等の実施	5	
2 東北HIV診療ネット	症例検討会や講習会等の実施	1.7	
日拍9 イツトソーク	症例検討会や講習会等の実施	1.7	
4 東海ブロックエイズ診療拠点病院連絡協議会	症例検討会や講習会等の実施	1.7	
	症例検討会や講習会等の実施	1.7	
6 九州ブロックエイズ診療ネット ワーク会議	症例検討会や講習会等の実施	1.7	
7 岡山HIV診療ネットワーク	症例検討会や講習会等の実施	1.5	
E.			
支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数 落札率
1 株式会社アドメディア	Webページの管理・更新等	3	
F.			
支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数 落札率
1 ケアーズ	感染者・患者のサポート、情報収集等	2	
G.			
支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数 落札率
1 公益財団法人エイズ予防財団	コミュニティセンターの設置・運営	102	随意契約
н.		1	
支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数 落札率
特定非営利活動法人 HIVと人権情報センター	コミュニティセンターの設置・運営	17	随意契約
支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数 落札率
1 特定非営利活動法人 ぷれいす東京	同性愛者等向けHPによる情報提供	4	随意契約

J.				
支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1 特定非営利活動法人 チャーム	関西地域における支援事業	6		
K.				
支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1 特定非営利活動法人 ぷれいす東京	ピア・カウンセリング等による支援事業等口	17		
L.				
支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1 特定非営利活動法人 CRIATIVOS	外国語(中南米圏)による個別相談対応等	1.5		
M.				
支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1 特定非営利活動法人 SHARE	外国人個別相談対応等	0.5		
N.				
支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1 株式会社 TBSラジオ&コミュ ニケーションズ	HIV検査普及週間及び世界エイズデーにおけるイベント企画・運営	28	随意契約	
O				
支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1 株式会社エフエム沖縄	沖縄イベント運営	3		
2 ヤフ一株式会社	オンデマンド配信	3		
3 株式会社ホットスタッフ	ライブ会場の運営	2.2		
4 株式会社ユイナイテッドジャパン	映像•動画制作	2.2		
5 有限会社ボートマン	舞台監督	0.4		
6 デルタ音響株式会社	舞台音響	0.4		
7 株式会社シミズオクト	舞台設営	0.4		
8 二コニコ動画	オンデマンド配信	0.2		
9 b-forest	舞台照明	0.2		

						平成25	年行	了政事	業レし	ごュ	ーシート	•	(厚生	E労ſ	動省)	
7	事業名		/\	ンセン病対	策事業	委託費		担当部	吊庁		1	建康局		作	成責任者	
	業開始 • (予定) 年度			平成	5年度			担当	課室			病対策課	が確立してい <i>な</i> 療等を充実させ		病対策課 原 克志	
	計区分			一般	会計			政策・	施策名	I						
(<u>]</u>	!拠法令 具体的な 頃も記載)	ハンも	セン病問題	原の解決の促 17条、1		引する法律第14 9 :	そ、第	関係する 通知					_			
(目:	業の目的 指す姿を簡 3行程度以 内)	①広く ②ハン ③沖約	(一般国民 ノセン病療 縄県のハン	に対し、ハン 養所入所者の ででいった。	セン病 の社会 患者等)、以下の委託事 に対する偏見・急 復帰支援事業。 に対する支援事 注議最終報告書の	き別の	解消と正					事運営 。			
(5行 別	≇概要 程度以内。 Ⅰ添可)															
実	【施方法 —————	口直拍	妾実施 ————	■委託・	請負	□補助 		□負担 		交付 ——	□貸付	寸 ロその 	D他 			
						22年度		23年度			24年度	25年		2	6年度要求	
		~ #		切予算		544		543			544	54	5		606	
予	∳類•	予算の状		E予算 				-0.071								
第 (単	执行額 位:百万円)	況	7宋月	逑し等 ————————————————————————————————————		544								606		
			±4.4=1	計 		544			543 544 545 60 536 544			600				
			執行:			542										
			執行率			99.6		98.7			100		<u> </u>		目標値	
				成果 —————	指標				単位		22年度	23年度	24年	度	(年度)	
Ì	目標及び成 果実績 ウトカム)	ハン+	ァン病に対	する正しい知	1識の語	普及啓発等を図る	5.	成果実績			_	_	_		_	
			,,,, _,,	, 0_0: ,	, 11,70 - 0		•	達成度	%		1	_	_			
				活動	指標				単位		22年度	23年度	24年	度	25年度活動見込	
	指標及び活 動実績							活動実績			22,515	22,441	24,95	57	_	
(ア・	ウトプット)	ハンも	2ン病資料	館の入館者	数			(当初見込 み)	人			(١	(24,957以上)	
								.,					7		(24,937)	
-	位当たり コスト			12, 662	(円/	人)		算出根拠			/ 24, 95 ノ病資料館運	57人 = 12, 営費)	662円(人	.)		
are.		目	-	25年度当初	予算	26年度要求						な増減理由	=			
平成25・26年度予	ハンセン病対策	事業委託 ————————————————————————————————————	費	545		606	重. 	監房資料	館連営	費の平	4年度化等に	よる増、学芸員	の増負に。	よる増	等	
算内訳		計		545		606										

				事業所管部局	による点核	È		
			項 目			評価	評価に	関する説明
国必費	広く国民のこ	ニーズがある	か。国費を投入しなければ	事業目的が達成できない	いのか。	0	ハンセン病問題の解決の仮 あり、国費を投入すべき事業	進に関する法律に基づくもので である。
要投性入	地方自治体	、民間等に	委ねることができない事業 <i>た</i>	でのか。		0	ハンセン病問題の解決の仮 あり、国が実施すべき事業で	進に関する法律に基づくもので ある。
の	明確な政策 なっている <i>た</i>	目的(成果目 か。	目標)の達成手段として位置	付けられ、優先度の高い	事業と	_		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
	競争性が確	保されている	るなど支出先の選定は妥当	か。		0	企画競争や公募によって競	き争性を確保している。
事	受益者との	負担関係は	妥当であるか。			_		
業の	単位当たり	コストの水準	は妥当か。			_		
効率	資金の流れ	の中間段階	での支出は合理的なものと	なっているか。		_		
性	費目・使途が	が事業目的に	こ即し真に必要なものに限え	定されているか。		0	ハンセン病問題の解決の仮あり、事業目的に即したもの ⁻	進に関する法律に基づ事業でである。
	不用率が大	きい場合、そ	その理由は妥当か。(理由を	右に記載)		_		
事業	事業実施にあるいは低:	当たって他の コストで実施	D手段・方法等が考えられる できているか。	る場合、それと比較してよ	り効果的	_		
の有	活動実績は	見込みに見	合ったものであるか。			_		
効性	整備された	施設や成果物	物は十分に活用されている	か。		_		
			、他部局・他府省等と適切な 引容を各事業の右に記載)	な役割分担を行っているだ	, ייל	_		
重複	事業番号		類似事業名	所管府省	•部局名			
排除								
点検結果	・本事業は、 ・平成24年 いく。	、ハンセン病 度は企画競	問題の解決の促進に関する 争や公募により競争性を担	保し、執行したところ。ま	た、資料館	推を図る 入館者数	ために実施するものであり も増加しており、25年度も	、適切に実施されている。 引き続き適正な執行を行って
				外部有識者	の所見			
				点検対釒				
	i			行政事業レビュー推	進チームの	の所見		
							言の県等などにより、ハンセ 執行となるよう努めるべき。	とン病対策の推進を図るため
			所見を	と踏まえた改善点/概算	要求にお	ける反映	快状況	
	現状通り				_			
				備考				
						+ 46 T		
	77 ≓	たつつ 年		掲連する過去のレビュ− □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		争耒番		105
	半月	戈22年	274	平成23年	132		平成24年	105



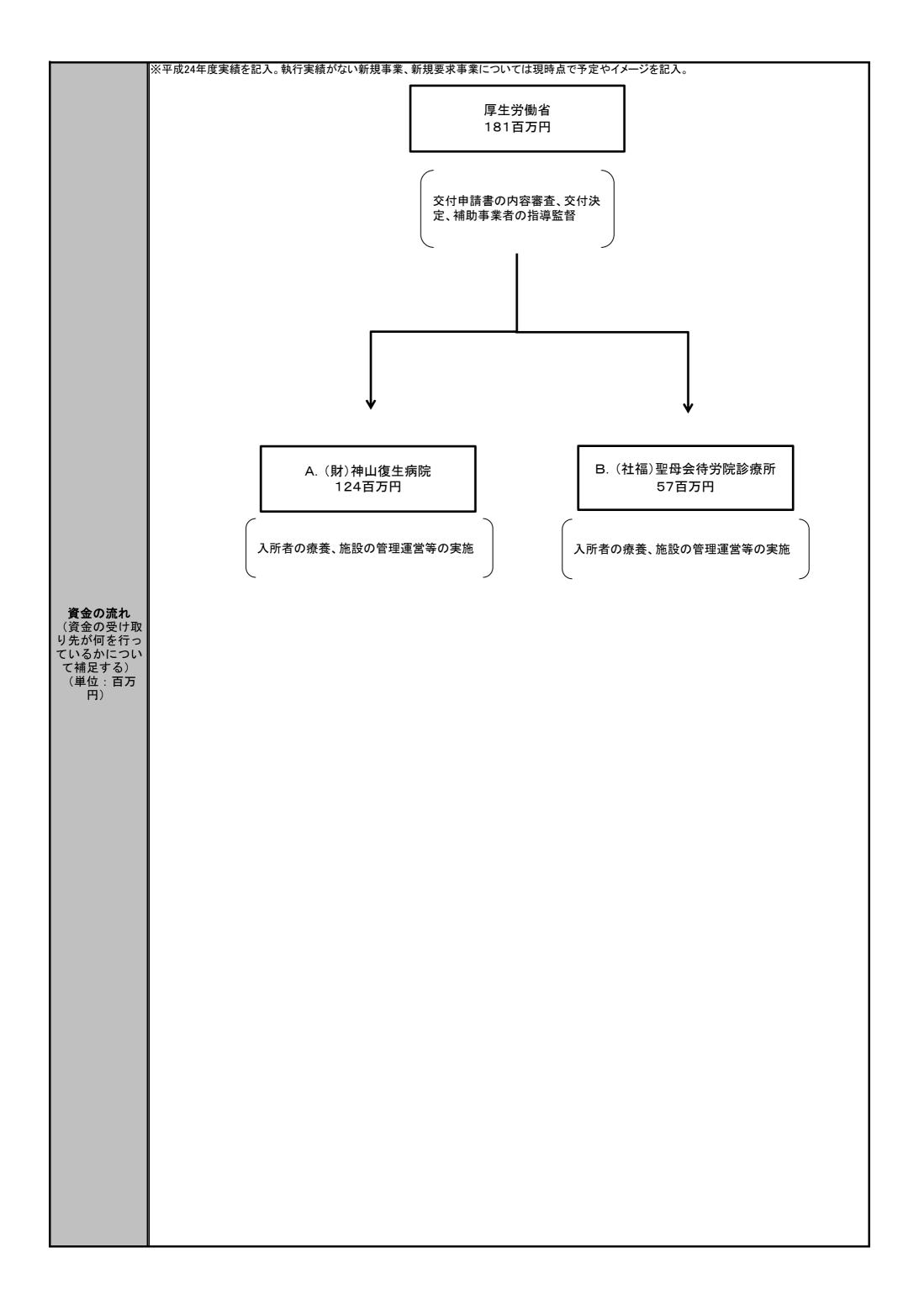
		A.(公財)日本科学技術振興財団			E.(株)三菱総合研究所	
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	庁費	消耗品費、印刷製本費、通信運搬費等	200	人件費	職員基本給等	6
	人件費	職員基本給等	127	諸謝金	検討会委員謝金	1
	旅費	講師等派遣旅費	7	庁費	消耗品費、印刷製本費、通信運搬費等	8
	諸謝金	講師等派遣謝金	3	旅費	検討会委員旅費	1
	計		337	計		16
		B.(社福)ふれあい福祉協会	'		F.	•
	費 目	使 途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)
		消耗品費、印刷製本費、通信運搬費等	129			(117313)
	人件費	職員基本給等	14			
費目・使途 「資金の流れ」に おいてブロックご	旅費	講師等派遣旅費	1			
とに最大の金額 「支出されている」 者について記載 する。費目と使途						
の双方で実情が 分かるように記 載)	計		144	計		0
	<u> </u>	C (財)沖縄周内さた协会	144	ĒΙ	0	
		C.(財)沖縄県ゆうな協会	金額		G.	金額
	費 目 人件費	使 途 職員基本給等	(百万円)	費 目	使途	(百万円)
	庁費	消耗品費、印刷製本費、通信運搬費等	8			
		外来診療、技能指導	4			
	旅費	受診者交通費等	1			
	計		36	計		0
		D.沖縄県			H.	•
	費目	使 途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)
	人件費	職員基本給等	11			
	計		11	計		0

支出先上位10者リスト

A.				
支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1 (公財)日本科学技術振興財団	国立ハンセン病資料館の運営等によりハンセン病に関する正しい知識の普及啓発 を実施	337	企画競争	_
B.				
支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1 (社福)ふれあい福祉協会	ハンセン病療養所からの社会復帰者に対する相談窓口を設置するとともに、社会 復帰者に対する支援を行う。	144	公募	_
C.				
支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1 (公財)沖縄県ゆうな協会	沖縄県におけるハンセン病在宅患者に対する外来診療の支援及び社会復帰希望 者への自立助長のための支援を行う。	36	公募	_
D.				
支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1 沖縄県	沖縄振興特別措置法に基づき、沖縄県の療養所入所者等の医療及びその福祉の 増進を図る。	11		_
E.				
支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1 (株)三菱総合研究所	ハンセン病問題に関する検証会議最終報告書の提言に基づく再発防止検討会の 議事運営等を実施する。	16	企画競争	_

				平成25	年行政事	業レビ	ジューシート	•	(厚生	と労働	動省)		
	事業名	私	立ハンセン病療剤	養所補助金	担当台	吊庁	1	建康局		作	成責任者		
事 終了	業開始 • (予定) 年度		昭和26年月	隻	担当	課室		病対策課	^{東誄} 田原				
会	計区分		一般会計		政策•	施策名			疾病対策課田原 克志 たしていない特殊の疾病等の充実させること を				
(-	拠法令 具体的な 項も記載)			に関する法律第99	週次	印等		_	_				
(目	業の目的 指す姿を簡 3行程度以 内)	度までは、待労	院診療所(熊本県 催保を図るため運	に関する法律第9条 分もあったが、平成な 営費等の補助を行う	24年11月2日	内1カ所 に患者が	「の私立ハンセン症が不在となったため	病療養所(神山復 か、閉院した。)で	夏生病院(ご行われて	静岡県	₹)。平成24年 入所者に対する		
(5行 別	¥概要 程度以内。 添可)			に対して必要な療養									
	ミ施方法 —————	□直接実施	□委託・請負	. ■補助 ————————————————————————————————————	□負担 	<u></u>	を付 □貸付	寸 □その 	·他 ————				
1	· 算額 · 執行額	予算 補〕	初予算 正予算 越し等	22年度 239	23年度 238		24年度	124	124				
(単·	位:百万円)		計	239	238		217	124		124			
		執行	額	239	238		181						
		執行率	(%)	100	100		83.4						
-4-			成果指標			単位	22年度	23年度	24年	度	目標値 (年度)		
:		私立ハンセン病 向上が図れる。	療養所入所者に	対する医療及び福祉	が 成果実績 達成度	%	_	_	_ 	4年度 (- -	-		
			活動指標			単位	22年度	23年度	24年	度	25年度活動見込		
	指標及び活 動実績 ウトプット)	交付先である私	ュウハンセン病療剤	§所数	活動実績 (当初見込 み)	力所	2	2 ()	2)	— (1)		
	位当たり コスト	9	0, 500, 000(F	円/カ所)	算出根拠	181百万	万円 /2 = 90	O, 500, 000F](/カ所))			
		目	25年度当初予算				主	な増減理由					
平成25・26年度予算内訳	ハンセン病療養用	所費補助金 計	124	124									

		4	事業所管部局による点核	È					
		項 目		評価	評価に関する説明				
国必費	広く国民の	のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的	りが達成できないのか。	0	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づくものであり、国費を投入すべき事業である。				
必要 要投 性入	地方自治	体、民間等に委ねることができない事業なのか。		0	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づくもので あり、国が実施すべき事業である。				
の	明確な政 なっている	策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ るか。	、優先度の高い事業と	_					
	競争性が	確保されているなど支出先の選定は妥当か。		_					
事	受益者と	の負担関係は妥当であるか。		_					
業の	単位当た	りコストの水準は妥当か。		_					
ᄊ	資金の流		るか。	_					
44			いるか。	0	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づくものであり、事業目的に即したものである。				
	 不用率が		t)		補助対象からの申請が、当初の見込みより少なかったため、 不用となったものである。				
		に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、そ 低コストで実施できているか。	れと比較してより効果的	_	で用こなりにものである。				
の		低コストで美施できているか。 [は見込みに見合ったものであるか。							
有効		た施設や成果物は十分に活用されているか。 た施設や成果物は十分に活用されているか。							
II	<u>類似の事</u>	 業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分損	旦を行っているか。						
重	(役割分類事業番号	坦の具体的な内容を各事業の右に記載) 号 類似事業名	所管府省·部局名	_					
複排	一	双	刀 6 内 6 时况名						
除									
快 結 果	・本事業は、ハンセン病問題の解決の促進に関する法律第9条に基づき、入所者に対する必要な療養が確保されるよう、必要な措置を講ずるものであり、適切に実施されている。 ・平成24年度は、当初2カ所の私立ハンセン病療養所に交付していたが、年度途中で1カ所が廃止されたため、不用が生じることとなった。25年度は適正かつ効率的な執行に努めていきたい。								
			外部有識者の所見						
		/	点検対象外						
		行	「業レビュー推進チームの	か所見					
		私立ハンセン病療養所入所者に対して必要な療養 からも妥当であり、引き続き効率的な執行となるよ		増進を図	引るための事業であるが、事業の必要性及び執行の観点				
		所見を踏まえた	た改善点/概算要求にお	ける反則	央状況				
	現								
	現 状 通 り		_						
	,								
			備考						
		関連する	過去のレビューシートの	事業番号	号				
	<u> </u>	² 成 22 年 279 平	平成23年 133		平成24年 106				



		A.(一財)神山復生病院			E.	
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	職員基本給等	87			
	庁費	備品費、消耗品費、印刷製本費等	36			
	旅費	職員等派遣旅費	1			
	計		124	 計		0
		B.(社福)聖母会待労院診療所			F.	
	費 目	使途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)
	人件費	職員基本給等	35			
	庁費	備品費、消耗品費、印刷製本費等	21			
费日. 估涂	旅費	職員等派遣旅費	1			
(「資金の流れ」に						
とに最大の金額が支出されている						
費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途						
の双方で実情が分かるように記						
載)	計		57	計		0
	П	C.	37	п	G.	
	費 目		金額	費 目	使 途	金 額
	Х 1		(百万円)	, I	K &	(百万円)
	=1			=1		
	計	D	0	計		0
	# D	D.	金額		H.	金額
	費目	使 途	(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
					_	

支出先上位10者リスト A.___

A.	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一財)神山復生病院	入所者の療養、施設の管理運営等の実施	124		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

В.

	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社福)聖母会待労院診療所	入所者の療養、施設の管理運営等の実施	57		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成25年行政事業レビューシート (厚生労働											<u>動省)</u>						
1	事業名	難病情報センター事業費補助金						担当音	⁸ 局庁		健康局				作成責任者		
事 終了(業開始 - (予定) 年度	平成8年度			担当課室			疾病対策課				疾病対策課 田原 克志					
会計区分		一般会計						政策 •	施策名	1 -					いない特殊の疾病等の させること		
(]	拠法令 具体的な 頂も記載)	_						関係する計画、									
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)		難病患者や家族の療養上の悩みや不安に的確に対応するため、難病に関する情報の提供等を行うことにより、その療養生活の一層の支援 を図る。															
事業概要 (5行程度以内。 別添可)		以下の事業を行う難病情報センター((公財)難病医学研究財団)に対して補助する。 難治性疾患克服研究事業や特定疾患治療研究事業の成果、専門医・専門医療機関の所在や公的サービス、最新の認定基準、治療指針及 び症例等の情報を収集、整理し、難病患者、家族及び医療関係者等に対して情報の提供を行う。												指針及			
実	施方法	□直接実施		□委託·請負		■補助 [□負担 □		交付 □貸付		付 □その他		他			
						22年度		23年度		24年度			25年	度	2	26年度要求	
			当初予算			34	27			;	37		29		51		
~	位	予算の出	0米														
4	算額・ 丸行額	の状 況															
(単作	位:百万円)			計		34		27		;	37		29		51		
		執行客		額	34			27		34							
		執行率(%)		(%)	100%			100%		91.9%							
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)		成果指標							単位	22	22年度		23年度		24年度 目		標値 年度)
		国民の難病に関する知識の向上						成果実績	_		_		_ .		- -		
								達成度	%		_						
活動指標及び活動実績(アウトプット)									単位	22	22年度		23年度 24年		年度 25年度活動見込		
		難病情報センターホームページのアクセス数						活動実績 (当初見込み)	14			201/2		217	51,497 —		
												13,5	13,507,821 15,85				-
									i T	(13,7	97,584)	(14,4	(14,499,743) (13,		507,821) ())
単位当たり コスト		2. 3(円/件)						算出根拠	単位当 は上記	たりコスト活動指標	〜の算出に その平成2년	こおいで 4年度	て、Xは平 数(15,841	成24年度 ,497件)と	予算額 :する。	〔(37百万	5円)、Y
	-	1 目		25年度当初予算		26年度要求						な増減					
平 成 2 5	難病等情報	提供事業費補助金		29		51		病情報センス							曽加の7	こめ	
							$\dashv \widehat{}$	S APPLE S									
•																	
6																	
年度							\dashv										
度 予 算							\dashv										
内訳							\dashv										
II/ V		計		29		51	\dashv										

項目 評価	事業所管部局による点検											
図書												
接換												
##	.め、国か美											
事業のの効率性 一 一 事業費を縮減したところであり、水準は妥当であるの。 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 一 補助金事業であり、交付申請書を審査して事業にものに限定して交付決定している。 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) 一 ー 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。 一 ー 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 ○ ホームページアクセス数は前年度実績としているで、それ以上のアクセス数となっている。 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 一 一 類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 一 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載) 事業番号 類似事業名 事業番号 類似事業名 所管府省・部局名 本事業は、平成24年度においても前年度に比べてホームページアクセス数が増えており、実行性・効率性の高い事業となっており、事業費縮減に												
単位当たりコストの水準は妥当か。												
の												
世性	҈ある。 											
日・快速が事業日的に関定して交付決定している。	業に必要な											
事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。 「お動実績は見込みに見合ったものであるか。」 「ホームページアクセス数は前年度実績としているで、それ以上のアクセス数となっている。」 査が性をできているか。型値で、それ以上のアクセス数となっているか。性性で、それ以上のアクセス数となっている。 「クリングラン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	米に必 安な											
** の												
古動美績は見込みに見合ったものであるか。	いるところ											
性 整備された施設や成業物は十分に活用されているか。												
(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)												
複 事業番号 類似事業名 所管府省・部局名												
▶ 検 ■本事業は、平成24年度においても前年度に比べてホームページアクセス数が増えており、実行性・効率性の高い事業となっており、事業費縮減に												
▶ 検 ■本事業は、平成24年度においても前年度に比べてホームページアクセス数が増えており、実行性・効率性の高い事業となっており、事業費縮減に												
▶ 検 ■本事業は、平成24年度においても前年度に比べてホームページアクセス数が増えており、実行性・効率性の高い事業となっており、事業費縮減に												
	┃ 検 ┃本事業は、平成24年度においても前年度に比べてホームページアクセス数が増えており、実行性・効率性の高い事業となっており、事業費縮減にも努め ┃											
外部有識者の所見												
点検対象外												
点快刈豕クト												
行政事業レビュー推進チームの所見												
現 状 難病の概要や研究情報、専門医療機関の紹介等を行い、難病患者の療養生活支援を図るための事業であるが、事業の必要性及び執行 通 点からも妥当であり、引き続き効率的な執行に努めるべき。	(劫行の細											
通 点からも妥当であり、引き続き効率的な執行に努めるべき。 り	↑ 十八(1) ○ノ 在元											
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況												
現 状												
現 現 状												
備考												
関連する過去のレビューシートの事業番号												
平成22年 157 平成23年 134 平成24年 107												

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。 厚生労働省 34百万円 交付申請書の内容審査、 交付決定、補助事業者の 指導監査等 A (公財)難病医学研究財団 34百万円 ・特定疾患関連一般・専門情報の収集の実施 ・特定疾患関連一般・専門情報の提供の実施 ・患者等からの相談への対応 ・難病相談・支援センター間のネットワーク支援 **資金の流れ** (資金の受け取 り先が何を行っているかについ て補足する) (単位:百万 円)

		A.(公財)難病医学研究財団			E.		
	費 目	使 途	金額(百万円)	 費 目	使 途	金額(百万円)	
	諸謝金	運営委員会出席謝金	2			(ログ) 1/	
	旅費	運営委員会出席旅費	0.8				
	庁費	難病情報センターの運営に必要な庁費	2				
	賃借料	運営委員会会議室賃借料等	3				
	通信運搬費	電話料等	0.7				
	会議費	運営委員会	0.2				
	賃金	情報処理員等賃金	11				
	雑役務費	コピー機使用料等	12				
	備品購入費	パソコン周辺機器等	1				
	計		34	計		0	
		B.			F.		
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)	
			(11111)			()	
費目・使途							
費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)							
	計		0	計		0	
		C.			G.		
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)	
	計		0	計		0	
		D.			H.		
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)	
		ĺ					
				計			

支出先上位10者リスト A

A.					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公財)難病医学研究財団	難病情報センター事業を実施する。	34		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

						PA	2 4-		•	**		事業番			125
						平成25	年行	了政事 第	美レし	<u>-" :</u>	ューシート		(厚生	E 労(<u>動省)</u>
3	事業名		アレル	ギー相談セン	ター	事業費補助金		担当部	『局庁		1	建康局		作	成責任者
事 終了(業開始・ (予定) 年度			平成19	年度			担当	課室		疾	病対策課			病対策課 原 克志
	計区分			一般包	計			政策・	施策名	5		治療方法が確 予防・治療等を			
(]	!拠法令 具体的な 項も記載)			_				関係する通知		•	アレ	ルギー相談セ	ンター事業	業につ	いて
(目扌	業の目的 指す姿を簡 3行程度以 内)	アレル 択が[レギー性: 困難な状	疾患(花粉症、 況であるため	アトl 、正し	ピー性皮膚炎等 い知識と情報!	€)に1 是供€	ついては、 等を行い、	民間组 患者	寮法 や家	まを含め膨大な 家族ひいては国	情報が氾濫し 民一般からの	ており、1 悩みやイ	Eしい 安の	情報の取捨選 解消を図る。
(5行	· 業概要 程度以内。 添可)	②薬 ² ルギ-	や症状、	自己管理・日常 :関する専門ス	常生活	幾関の所在に関 舌の注意点など フの電話相談。				金般	(喘息、アレル・	ギー性鼻炎、フ	アトピー性	:皮膚	炎、食物アレ
実	施方法	□直接	接実施	□委託•請	負	■補助]負担		交付	」 □貸付	□その	他		
						22年度		23年度			24年度	25年	度	2	26年度要求
			当	初予算		12		10			10	10			14
		予算	補	補正予算											
		の状況	繰	越し等								1			
				計		12		10			10	10	10		14
			劫行	行額		12		10			10				
		執行率(%)						100							
			刊行 平	(%)		100		100			100				口捶仿
				成果技	旨標				単位		22年度	23年度	24年	度	目標値 (年度)
Ì	目標及び成果実績	アレル	ギー性疾	患(花粉症、ア	゚゚トピー	-性皮膚炎等)に	成果実績			_	_	_		-	
()	ウトカム)			と情報提供等 の悩みや不安		、患者や家族ひ 消を図る。	達成度	%		_	_	_			
				活動技	旨標				単位	Ī.	22年度	23年度	24年	度	25年度活動見込
1	指標及び活動実績 ウトプット)			-F-=-1 +n=-1/-	☆	**		活動実績	ы		1152	1107	960)	_
()) () () () () () () () () () (電話相談	美 傾第			(当初見込み)	件		_	(1152)	(110	7)	(960)
	単位当たり コスト		6, 250			(円/件)		算出根拠 単位当たりコストの算出において、Xは費目・使途の相談円)、Yは上記活動指標の平成24年度数(960件)とする。)相談 する。	員賃金(6百万				
		目		25年度当初	予算	26年度要求					主	な増減理由			
平成		謝金		0.4		1	研	修会開催	経費の	追加	加による増				
2 5	J	宁費		3		4									
-	—————————————————————————————————————	託費		6.2		6.2									
6		等旅費	 責	0		0.7									
年度予算内訳		重金		0		2									
予質															
内															
加		計		10		14	\blacksquare								
		μΙ				'7									

						事業所管部局に	よる点検			
				項	目			評価	評価に関する説明	
国	広く国民の	ニーズがある	か。国費を	投入しな	ければ事業	 業目的が達成できない <i>0</i>	りか 。	0	国民の2人に1人は何らかのアレルギー疾患に罹いるとされており、広く国民のニーズがある。	患して
心實 要投 生入	█地方自治体	、民間等に委	ねることが	できない	事業なの	か。		0	民間療法を含め膨大な情報が氾濫しており、国が 情報を発信する必要がある。	確かな
		目的(成果目	標)の達成	手段とし	て位置付け	ナられ、優先度の高い事	業となっ	_	_	
	競争性が確	保されている	など支出先	の選定	は妥当か。			Δ	支出先である日本予防医学協会は、アレルギー村 関する知識を有しており、支出先の選定は妥当で	 目談に ある。
事	受益者との	 負担関係は妥	と 当であるた)\°				_	_	
業の	単位当たり	コストの水準に	は妥当か。					_	_	
効率性	資金の流れ	の中間段階で	での支出は	合理的な	ぶものとなっ	っているか。		0	ホームページの運営のみ専門知識を要するためまているが、その支出は合理的なものである。	委託し
	費目・使途が	が事業目的に	即し真に必	要なもの	こに限定さ	れているか。		0	費目・使途は事業目的に即している。	
	不用率が大	きい場合、そ	の理由は翌	妥当か。((理由を右)	こ記載)		_	_	
事業		当たって他のストで実施でき			えられる場	合、それと比較してより	効果的あ	0	電話相談は、不特定多数の国民から相談を受けるができ、実効性が高い手段である。	ること
の 有	活動実績は	見込みに見る	合ったもので	であるか。	o			0	相談件数については、若干減少傾向ではあるが、 見込みにあったものである。	概ね
効 性	整備された	施設や成果物	は十分に済	舌用され	ているか。			0	電話相談の内容をQ&Aとしてホームページに掲載 果を活用している。	し、成
		がある場合、 の具体的な内				割分担を行っているか。		_		
重複批	事業番号		類似事			所管府省•	部局名			
<i>1</i> 415										
除	に罹患してし		って、有益な						Q&Aの掲載だけでなく、専門医リストなどアレルギー :情報提供等を行い、患者や家族ひいては国民ー船	
	に罹患してし	いる患者にとっ	って、有益な				き続き正し			
除点検結果	に罹患している。	いる患者にとっ	って、有益な 図る。 	な情報の 		っているところであり、引	き続き正し			
除点検結果	に罹患している。	いる患者にとる	って、有益な 図る。 	な情報の 	発信も行っ	っているところであり、引	き続き正し D所見	い知識と		
除点検結果	現状 ボール・ボール でんかん おおお でんかん でんかん でんかん でんかん でんかん でんかん	いる患者にとなっている。	って、有益な 図る。 ・・・(長崎、 チ	は情報のはなどの	発信も行って	かまところであり、引 外部有識者の 「な事業レビュー推進 「疾患に関する正しい知	き続き正し か 見 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	か の の の の の の の の の		投から
除点検結果	に罹患してい の悩みや不	いる患者にとなっている。	って、有益な 図る。 ・・・(長崎、 チ	は情報のはなどの	発信も行っ アレルギー 必要性及で	かまところであり、引 外部有識者の 「な事業レビュー推進 「疾患に関する正しい知	き続き 所見 一ムの 「講であり、 「)所見を提供します。	、国民のアレルギー疾患に関する悩みや不安の 効率的な執行となるよう努めるべき。	股から
除点検結果	にの ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	いる患者にとなっている。	って、有益な 図る。 ・・・(長崎、 チ	は情報のはなどの	発信も行っ アレルギー 必要性及で	がま業レビュー推進 ・疾患に関する正しい知 が執行の観点からも妥当	き続き 所見 一ムの 「講であり、 「)所見を提供します。	、国民のアレルギー疾患に関する悩みや不安の 効率的な執行となるよう努めるべき。	投から
除点検結果	にの ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	いる患者にとなっている。	って、有益な 図る。 ・・・(長崎、 チ	は情報のはなどの	発信も行っ アレルギー 必要性及で	がま業レビュー推進 ・疾患に関する正しい知 が執行の観点からも妥当	き続き 所見 一ムの 「講であり、 「)所見を提供します。	、国民のアレルギー疾患に関する悩みや不安の 効率的な執行となるよう努めるべき。	投から ニュー
除点検結果	に罹患してい の悩みや不	いる患者にとなっている。	って、有益な 図る。 ・・・(長崎、 チ	は情報のはなどの	発信も行っ アレルギー 必要性及で	外部有識者の 外部有識者の 一疾患に関する正しい知 が執行の観点からも妥当 話まえた改善点/概算	き続き 所見 一ムの 「講であり、 「)所見を提供します。	、国民のアレルギー疾患に関する悩みや不安の 効率的な執行となるよう努めるべき。	投から ニュー
除点検結果	にの ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	いる患者にとなっている。	って、有益な 図る。 ・・・(長崎、 チ	は情報のはなどの	発信も行っ アレルギー 必要性及で	がま業レビュー推進 ・疾患に関する正しい知 が執行の観点からも妥当	き続き 所見 一ムの 「講であり、 「)所見を提供します。	、国民のアレルギー疾患に関する悩みや不安の 効率的な執行となるよう努めるべき。	投から
除点検結果	にの ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	いる患者にとなっている。	って、有益な 図る。 ・・・(長崎、 チ	は情報のはなどの	発信も行っ アレルギー 必要性及で	外部有識者の 外部有識者の 一疾患に関する正しい知 が執行の観点からも妥当 話まえた改善点/概算	き続き 所 見 一 ム の 情報 も も に も る に も る に も る に も る に も る に も る に も る に も る る も る も る も る も る も る も る も も も る も る も も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も も も も も も も も も も も も も)所見を提供します。	、国民のアレルギー疾患に関する悩みや不安の 効率的な執行となるよう努めるべき。	投から ニュー
除点検結果	にの 現状通り 現状通り まみ まみ まみ まみ まみ まみ まみ まみ まか	いる患者にとなっている。	って、有益な 図る。 ・・・(長崎、 チ	は情報のはなどの	発信も行った。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	外部有識者の 外部有識者の 一疾患に関する正しい知 が執行の観点からも妥当 話まえた改善点/概算	き続 所 チ	所提続反BBDBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBB	、国民のアレルギー疾患に関する悩みや不安の効率的な執行となるよう努めるべき。 快状況	股から

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。 厚生労働省 10百万円 交付申請書の内容審査、交付決定、補助事業者の指導 監督等 【補助】 A. (財)日本予防医学協会 10百万円 ・ホームページによるアレルギー専門医、専門医療機関の所在等情報提供 ・専門スタッフによる国民からの電話相談 ・ホームページによる免疫アレルギー疾患に関する研究班の成果報告 資金の流れ (資金の受け取 り先が何を行っ ているかについ て補足する) (単位:百万 円) 【随意契約】 B. (株)エイチ・ツー・オー綜合研究所 1百万円 アレルギー相談センターのホームページ運営

		A.(財)日本予防医学協会			E.	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	賃金	相談員賃金	6.00			
	諸謝金	相談員協力謝金	1.50			
	委託費	(株)エイチ・ツー・オー綜合研究所 ホームページ運営	1.00			
	借料及び賃借料	事務所賃借料	0.80			
	通信運搬費	郵送費	0.17			
	消耗品費	事務用消耗品	0.02			
	備品購入費	参考図書購入費	0.03			
	雑役務費	振込手数用	0.01			
	計		10	計		0
	В.	(株)エイチ・ツー・オー綜合研究所			F	A +=
	費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	雑役務費	ホームページ運営	1			
費目•使途						
費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご						
とに最大の金額 が支出されている						
者について記載						
する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)						
分かるように記 載)						
	計		1	計		0
		C.			G.	
	費 目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
			(117313)			(Д/313/
	計		0	計		0
	計	D.	0	計	H.	0
			金 額			金額
	計	D. 使途		計	H. 使途	
			金 額			金額
			金 額			金額
			金 額			金額
			金 額			金額
			金 額			金額
			金 額			金額
			金 額			金額
			金 額			金額

支出先上位10者リスト A._

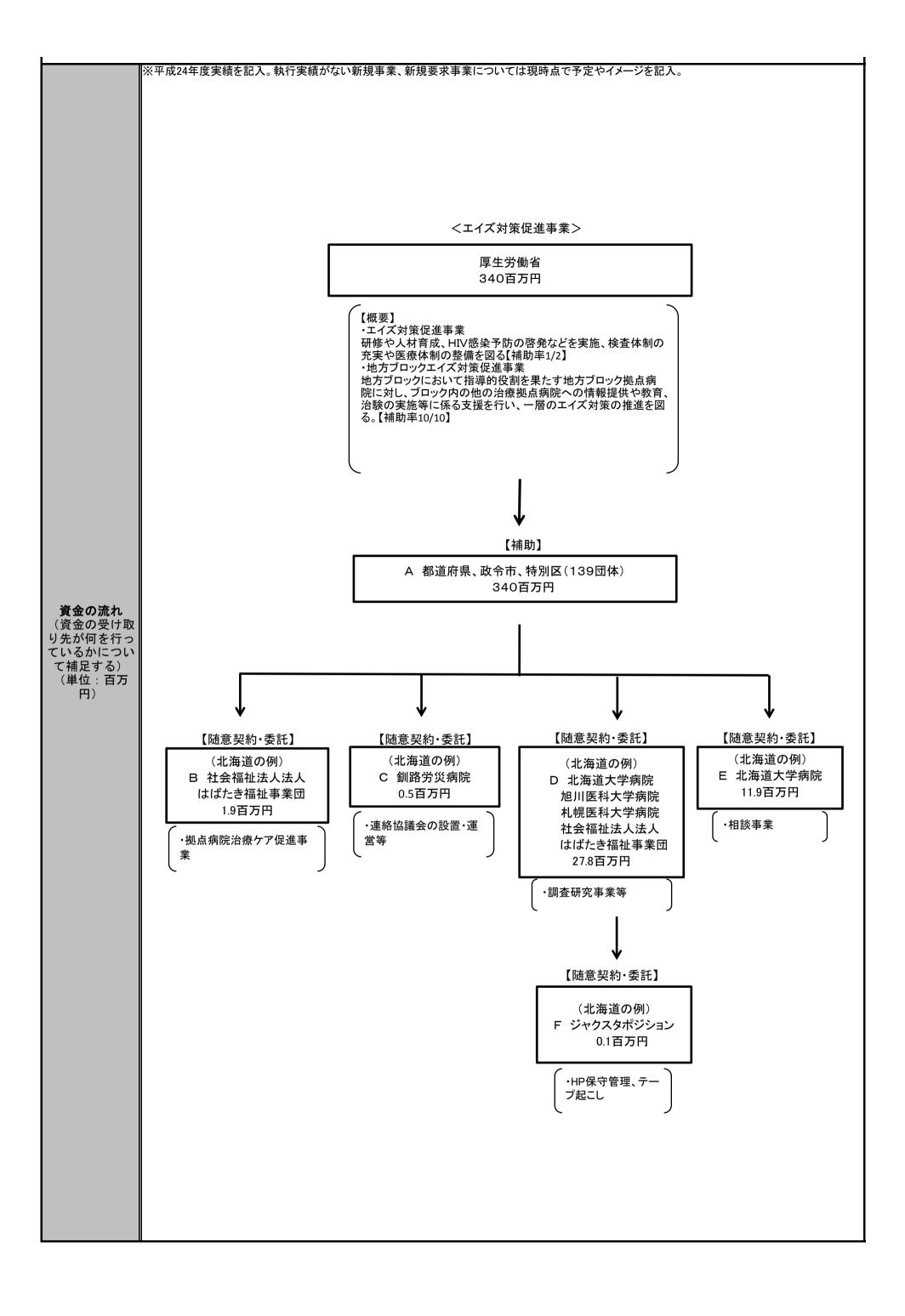
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本予防医学協会	アレルギー相談センター事業	10		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

<u> </u>	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エイチ・ツー・オー綜合研究所	ホームページ運営	1	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

	平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省) 事業名 エイズ対策促進事業 担当部局庁 健康局 作成責任者															
	事業名			エイズ対策	促進事	事業		担当音	『局庁	1	健康局		作成責任者 疾病対策 克疾 はいること 定等 21号 対して補助を行い、エ 総合的研究等を実施 26年度3 293 度 113 はのでは、113 はいることのでは、113 はいることのでは、113 はいることのでは、113 はいることのでは、113 はいることのでは、113 はいることのでは、113 はいることのでは、113 はいることのでは、113 はいることのでは、113 はいることのでは、114 はいることのでは、114 はいることのでは、114 はいることのでは、114<			
	業開始 (予定) 年度			平成 5	年度			担当	課室		病対策課		作成責任者 疾病対策課 田原 克病等の はい特殊の疾病等の はる。 を感染症予防指針」 でがある。 対して補助を行い、エ 総合的に促進するた に調査研究等を実施			
	会計区分			一般:	会計			政策・	施策名			なしていた を充実させ				
(-				及び感染症の)年法律第114		こ対する医療に関 11条	関す	関係する 通知			下全症候群に関 成24年厚生労					
(目:	業の目的 指す姿を簡 。3行程度以 内)			総合的に促進 D促進を図る。		:め都道府県等カ	が行う	エイズ対領	後推進協	議会等の設置及で	び各事業に要す	る経費に	対して	補助を行い、エ		
(5行 別	「程度以内。 削添可)	感 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	イズ対策: 助率:10/ ブロックだ イズの総:	基づくエイズ予 推進協議会等 /10) 治療拠点病院 合的診療を行	等の設置 におい う体制を	置やエイズ対策抗 でブロック内のコ を整備する。	性進のエイズ	かための人	、材育成、	、啓発活動等に対	·して補助を行う。 、研修・講習を行	ゔうとともに				
美	実施方法	口直接	妾実施	□委託・	請負	■補助		口負担		交付 口貸	付 ロその	D他 ———				
						22年度		23年度		24年度	25年		2	1 10 10 1		
		- M	当初予算 当初予算			440		375		340	306	j 		293		
7	予算額 •	予算の状														
1	執行額 位:百万円)	況		越し等 		440		375		340	306	306		202		
									-+		300			293		
		執行額 執行率(%)				379		375	-+	340						
			秋17 华		11-17	86.1%		100.0%	*** **	100.0%		- 16-		日標値		
	コル東マレックに作			成果 [:] ————————————————————————————————————	指標				単位	22年度	23年度	24年)	度			
:	:目標及び成 果実績 アウトカム)	国民に	こ対する正 重エイズ対	Eしい知識の》 t策の推進をす	是透及で よること	び都道府県等に でエイズ予防対	おけ 策の	成果実績		_	_	_		_		
				を目標としてし				達成度	%	_	_	_				
				活動	指標				単位	22年度	23年度	24年	度	25年度活動見込		
1	指標及び活 動実績 ウトプット)	交付目	自治体数					活動実績		109	111	112	2	113		
		~	3/14 (1) 220					(当初見込み)		136	138	139)	140		
_	単位当たり コスト 3(百万円/自治体)									たりのコスト算出に 成24年度活動実糸						
ग्र		貴 目		25年度当初	予算	26年度要求				主	な増減理由					
平成25・26年度予	事務費			306		293										
算内					_											
訳		<u></u> 計		306		293	_									

		事業所管部局による点標	矣	
		項 目	評価	
	広く国民	のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	0	HIV/エイズに関する普及啓発、HIV対策に係る人材育成は、個人の検査受検や予防行動の促進並びに早期発見・早期治療、感染の拡大防止の観点から極めて重要なものであり、国民のニーズがあり、国費を投入しなければならない。
国費投入の	地方自治	台体、民間等に委ねることができない事業なのか。	0	感染症法において、国及び都道府県等は、感染症に関する正しい知識の普及や情報収集、検査能力の向上、人材の養成を図るとともに、施策が迅速に実施されるよう連携を図らなければならないとされており、また、地方公共団体の責務が果たされるよう技術的、財政的支援に努めなければならないとされていることから、国は、エイズ対策が円滑に実施されるよう、実施要綱を定め、補助を行う必要がある。
	明確な政 なってい	対策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業と るか。	0	HIV/エイズに関する普及啓発、HIV対策に係る人材育成は、個人の検査受検や予防行動の促進並びに早期発見・早期治療に伴う感染の拡大防止を目的としており、その達成手段として、地域の実情に応じた創意工夫のあるきめ細やかな事業を講ずるためには、優先度の高い事業である
	競争性な	「確保されているなど支出先の選定は妥当か。	_	
	受益者と	:の負担関係は妥当であるか。	_	
事	単位当た	-りコストの水準は妥当か。	_	
業の	資金の流	たれの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	_	
) 効 率 性	費目・使	途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	0	エイズ対策従事者の人材育成に必要な教材費や研修派 造旅費、地域における意識向上のための啓発資材購入 費等、地域におけるエイズ対策を推進するために真に必 要な費目を補助対象経費としている。
	不用率力	「大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	_	
の有		他に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的 低コストで実施できているか。	0	地域の実情を踏まえた、総合的なエイズ対策を推進するためには、啓発、予防、医療等の各分野において、医療機関やNGO等が独自の活動を行うだけでは十分な効果が得られず、自治体が中心となって、これらの関係機関と連携しながら充実を図る本事業は、実効性の高い手段となっている。
効性	活動実統	責は見込みに見合ったものであるか。	_	
	 整備され	た施設や成果物は十分に活用されているか。		
重	類似の引	事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 担の具体的な内容を各事業の右に記載)	_	
複排除	事業番	号 類似事業名 所管府省・部局名		
検結	も、国民 能向上や	こついて、平成24年度は前年より交付自治体数が増加していることからエイスのニーズや優先度、国が実施すべき責務、資金の費目・使途、事業の実効性 ウ各地域のエイズ医療の水準の向上に寄与している。引き続き「後天性免疫不 え、適切に事業を行う必要がある。	等の各層	点検項目を概ね満たしており、また、HIV医療従事者の技
		外部有識者の所見		
		点検対象外		
		行政事業レビュー推進チーム	の所見	
-	事業内容の	地域においてHIV/AIDSに関する普及啓発、人材育成、医療体制の整備等を	·行う事ぎ	僕であるが、活動実績等を検証し、予算を縮減すべき。
		<u>!</u>	ける反	映状況
	縮 減	事業見直しによる減		
		: 		
	3	関連する過去のレビューシートの 平成22年 159	事業番	· 号 平成24年 109
		T // T		1772-1



					E.北海道大学病院	
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
	委託費	感染者·患者相談、調査研究等委託	42.1	人件費	カウンセラー、MSW本給等	11.9
	旅費	講師旅費等	3.5			
	需用費	研修会消耗品等	2.7			
	使用料及び賃借料	研修会会場借料等	1.4			
	役務費	通信運搬費等	1.3			
	報償費	講師謝金	2.0			
	計		53.0	計		11.9
	Б	3.社会福祉法人はばたき福祉事業団			F.ジャクスタポジション	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金額 (百万円)
	人件費	カウンセラー本給等	0.8	人件費	作業員賃金等	0.1
	旅費	職員旅費等	0.4			
費目•使途	その他	印刷製本費、通信運搬費、会議費等	0.7			
(「資金の流れ」に						
おいてブロックごとに最大の金額						
が支出されている 者について記載						
する。費目と使途の双方で実情が						
分かるように記載)						
4947	計		1.9	計		0.1
		C.釧路労災病院			G.	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	旅費	連絡協議会出席旅費	0.1			
	需用費	連絡協議会に係る消耗品費等	0.1			
	報償費	連絡協議会出席謝金等	0.2			
	その他	会場借料、通信運搬費等	0.1			
	計		0.5	計		0
		D.北海道大学病院			H.	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金額 (百万円)
	需用費	調査に係る消耗品費等	6			
	委託費	HP保守管理、テープ起こし	0.1			
	旅費	調査研究旅費	2			
	備品費	研究備品購入費等	6.1			
	その他	謝金、賃金等	0.8			
	計		15.0	計		0

支出先上位10者リスト

1 ジャクスタポジション

HP保守管理、テープ起こし

支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落
1 北海道	エイズ対策促進事業、地方ブロックエイズ対策促進事業	53		
2 石川県	エイズ対策促進事業、地方ブロックエイズ対策促進事業	51		
3 新潟県	エイズ対策促進事業、地方ブロックエイズ対策促進事業	51		
4 広島県	エイズ対策促進事業、地方ブロックエイズ対策促進事業	51		
東京都	エイズ対策促進事業	30		
6 横浜市	エイズ対策促進事業	12		
7 千葉県	エイズ対策促進事業	6		
8 神奈川県	エイズ対策促進事業	5		
9 京都市	エイズ対策促進事業	3		
静岡県	エイズ対策促進事業	3		
	•			
支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落
1 社会福祉法人 はばたき福祉事業団	感染者・患者等からの相談対応	1.9		
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落
1 釧路労災病院	連絡協議会や研修会等の開催	0.5		
).	•			
支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落
1 北海道大学病院	ブロック内のエイズ対策の企画・立案に必要な調査研究	15		
社会福祉法人 はばたき福祉事業団	ブロック内の感染者・患者家族支援調査研究事業	5		/
3 旭川医科大学病院	ブロック内のエイズ対策の企画・立案に必要な調査研究	4		/
4 札幌医科大学病院	ブロック内のエイズ対策の企画・立案に必要な調査研究	3.8		
支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落
1 北海道大学病院	ブロック内の治療拠点病院からの医療等相談対応及び情報発信	11.9		

0.1

					平	成25年	行政	事業し	ノビニ	ューシート	予 不 田		上労	働省)
	事業名		リウマチ	・アレルギ	一特別	刘 策事業		担当部	吊庁		健康局			
終	事業開始 • 了(予定) 年度			平成18年	F度			担当	課室	疾	病対策課			
	会計区分			一般会	計			政策・	施策名		治療方法が確立 予防・治療等を			
	根拠法令 (具体的な 条項も記載)			_				関係する通知		リウマチ・フ	アレルギー特別	対策事業	美の実	産施について
([目指す姿を簡潔	民の関												
(51	事業概要 行程度以内。別 添可)	程度以内。別 ば○一般国民问げに自己官理(セルノケア)の観点からのシンホンワム開催寺リワマナ・アレルキー性疾患に関する正しい知識の啓す										啓発活動を実		
	実施方法	□直接	実施	□委託·請負		■補助	口負	担	口交付	」 □貸付	□その他			
						22年度		23年度		24年度	25年		2	
				予算		12		7		7	6			6
	予算額・	予算の 状況		予算 										
(執行額 〔単位:百万円〕	7/7/		し等 †		12		7		7	6	6		国業の実施について 言われており、患者数や国 に国民一般からの悩みや不 26年度要求 6 6 24年度 (目標値 ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー 24年度 25年度活動見込 4 ー (12) (12)
		 執行額				1		2		2	0			
		執行率(%)		6)		8		28		28				
			17(1) — (7)	·/		-			単位		23年度	2/1年	疾病対克病 水ない特殊の疾病等のせること 業の実施について れて般からの階を発活動を実 26年度要求 6 事度 6 年度 25年度活動見込 4 一 20 (12)	
		事業実		マチ・アレルキ	 ギー性疾患患者やその家			成果実績	- 平位				区 ———	(年度) ————————————————————————————————————
((アウトカム)	族、ひし る。	いては国民一	般からの悩み	⊁や不 :	安の解消を目的	達成度	%	_	_	_			
				活動指	標				単位	22年度	23年度	24年	度	25年度活動見込
	指標及び活動実 績 アウトプット)			事業実施自	公 休数	<u></u>		活動実績		3	3	4		_
				, 不久心口	ייין בול			(当初見) 込み)		_	(12)	(12)	(12)
	単位当たりコスト	り 500, 000 (円/自治体)								2百万	/ 4自治体	= 0.5	百万	
	j	費目		25年度当初	予算	26年度要求				主	な増減理由			
平 成	リウマチアレル=	ギー特別	対策事業費	6		6								作成責任者 疾田休子と 実施 おおからの ではいます。 ではいまする。 ではいます。 ではい
2 5														
2														
年 安							_							
年度予算							\blacksquare							
算内							_							
訳	<u> </u>	<u></u>		6		6								

			事業所管部局による点検										
		項 目		評価	評価に関す	る説明 							
国必費	広く国民のニーズがあるか。国費を	を投入しなければ事業目的	が達成できないのか。	0	国民の2人に1人は何らかのアレルとされており、広く国民のニーズカ	ルギー疾患に罹患している 「ある。							
要投性入	地方自治体、民間等に委ねること	ができない事業なのか。		0	民間療法を含め膨大な情報が氾 報を発信する必要がある。	濫しており、国が確かな情							
	明確な政策目的(成果目標)の達成 か。	成手段として位置付けられ、	優先度の高い事業となっている	る _	_								
	競争性が確保されているなど支出	先の選定は妥当か。		Δ	自治体向け補助金として、支出先	の選定は妥当である。							
事業	受益者との負担関係は妥当である			_	_								
の	単位当たりコストの水準は妥当かる			_	_								
効 率 性	資金の流れの中間段階での支出(_		_							
	費目・使途が事業目的に即し真に			0	費目・使途は事業目的に即してい								
	不用率が大きい場合、その理由は 事業実施に当たって他の手段・方			Δ (+)	自治体からの交付申請件数が少 自治体向け補助金として地域の写								
業の	低コストで実施できているか。	公子が行んられての場合、こ	でに比較してあり効素は砂のい	* 0	い手段となっている。								
有効	活動実績は見込みに見合ったもの)であるか。 		Δ	事業実施自治体数については、目れる部分が大きいため、件数の増								
性	整備された施設や成果物は十分に			_	_								
重	類似の事業がある場合、他部局・1 (役割分担の具体的な内容を各事		を行っているか。	_									
複	事業番号	類似事業名	所管府省•部局名										
排除													
	平成24年度から補助先に政令指定いることから、引き続き適切に事業		でを拡大したところであり、平成2 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	24年度にお	いては、事業実施自治体数も若	干ではあるが増加して							
執行學	率が低いことから、地公体における		星し、事業推進を指導するなど事 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		する必要がある。(長崎、井出)								
		1100		77170									
					・自己管理の観点からの国民向 ・るなど、事業推進に努めるべき								
		所見を踏ま	えた改善点/概算要求におけ	ける反映状	況								
				の自治体に	ニ対しては、事業の実施を働きか	執 行 等 執行実績を踏まえ、25年度予算において予算の縮減を図ったところである。 引き続き自治体における事業の実施状況の把握に努めるとともに、事業未実施の自治体に対しては、事業の実施を働きかけていく。 並							
			備考			<u>I</u>							
	平成22年	関連す	る過去のレビューシートの事 平成23年	季番号 137	平成24年	110							

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。 厚生労働省 2百万円 交付申請書の内容審査、交付決定、等 【補助】 都道府県(4) 2百万円 (内訳) 千葉県 0.7百万円 兵庫県 0.5百万円 岐阜県 0.3百万円 高知県 0.1百万円 資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) ・医療従事者向けの研修の実施 ・国民向けの正しい知識の普及啓発事業の実施 (単位:百万円) ・研修やホームページを活用した診療ガイドラインの普及の実施

		A.			 E.	
	費 目	使 途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)
			(17313)			(117313)
	<u></u> 計		0	 計		0
		В.			F.	<u> </u>
	 費 目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
			(日2711)			
費目・使途 (「資金の流れ」にお						
いてブロックごとに最大の金額が支出され						
ている者について記載する。費目と使途の						
費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)						
5. 7. LIL +X./	計		0	計		0
	н	C.		н	G.	
	 費 目		金額(百万円)	費 目	使途	金額(百万円)
			(日万円)			
	計		0	計		0
	П	D.		н	H.	
	費 目	D. 使 途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)
	<u> </u>	区 应	(百万円)	<u> </u>	区 应	(百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト A.

A.	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	千葉県	リウマチ・アレルギー特別対策事業	0.7		
2	兵庫県	II .	0.5		
3	岐阜県	II .	0.3		
4	高知県	II .	0.1		
5					
6					
7					
8					
9					
10					

	平成2				5 年1	宁政事	業レビ	ジューシー	-	(厚生	上労働	動省)
3	事業名		難病特別対	策推進事業		担当部	吊庁		健康局		作	成責任者
事 終了(業開始 • (予定) 年度		平成1	0年度		担当	課室		病対策課		田	病対策課 原 克志
会	計区分		一般	会計		政策•	施策名	I-5-2	治療方法が確 ³ 予防・治療等を			
(]	! 拠法令 具体的な 頂も記載)		-	-		関係する通知	印等		「難病情報提供		·	_
(目扌	業の目的 指す姿を簡 3行程度以 内)	ける難病患者対	対策の一層の	目談支援や地域にお 推進と安定した療養				らとともに、在宅場	優養上の適切なす	を援を行う	ことに。	より、地域にお
(5行	· 業概要 程度以内。 添可)	②重症難病患 ③難病患者地 ④神経難病患 ⑤難病患者認	者入院施設確 域支援対策推 者在宅医療支 定適正化事業	業(補助率1/2) 保事業(補助率1/ 進事業(補助率1/ 援事業(補助率 都違 (補助率1/2) 事業(補助率 都違	2) ف府県1/			/10)				
実	施方法	□直接実施	□委託・	請負 ■補助		口負担	口艺	₹付 □貸	付 □その	他		
				22年度		23年度		24年度	25年	度	2	6年度要求
	· 算額· 執行額 位:百万円)		初予算	904	_	727		762	525	<u> </u>		710
予		の状	正予算									
4		況	越し等 		_							
(平)	1 1 1 3 1 1 7	+1.4=	計 ·	904		727		762				710
		執行		746		724		729				
		執行率 ———	(%)	82%		99%		96%				D##
			成果	指標			単位	22年度	23年度	24年	度	目標値 (年度)
ŀ	目標及び成 果実績 ウトカム)	難病患者の安定した療養環境の確保				成果実績	- %	_	_	_		
						建	%0	_	_	_		
活動技	指標及び活		活動 —————	指標			単位	22年度	23年度	24年	度	25年度活動見込
1	助実績ウトプット)	都道府県の難	病医療拠点病	院数		活動実績 (当初見込 み)	施設	111	119 (111)	120 (119		— (119)
単位	位当たり			m (H=1)		Art of the line	単位あれ			<u> </u>		
	コスト		6,075,000(算出根拠	Yは上記	B活動実績の平成	t24年度数(120)	としている	5.	
- Te	-	費 目 工業費等補助金	25年度当初	予算 26年度要: 710		· 庄扣談. 🛨	センバ	主 マーの体制の強化	とな増減理由 ・			
平成。	次例了的手	+未貝守忓切立	525	/10				メーの体制の強制 日本のための優		317百万円	3	
2 5												
2												
年												
度												
算内												
訳												
		計	525	710								

				事	業所管部局	こよる点標	负	
			項目				評価	評価に関する説明
国必費	広く国民のニ	ニーズがある	か。国費を投入しなけれ	ば事業目的:	が達成できない	いのか。	0	難病患者に対する様々な支援を実施する事業であり、国費を投入しなければ事業は推進されない。
要投	地方自治体、	、民間等にす	きねることができない事業	能なのか。			0	難病対策の推進のために確実に実施する必要があることから、国が実施することが妥当である。
性入の	明確な政策! なっているか	目的(成果目 \。	標)の達成手段として位	置付けられ、	優先度の高い	事業と	0	難病患者の療養生活等に直結するため、優先度の高い 事業である。
	競争性が確何	保されている	など支出先の選定は妥	当か。			_	_
事	受益者との負	負担関係は多	妥当であるか。				0	所得に応じた事故ふた額を設定しており、妥当である。
業の	単位当たりコ	ストの水準	は妥当か。				-	_
効率	資金の流れの	の中間段階で	での支出は合理的なもの	りとなっている	か。		_	_
性	費目・使途が	ぶ事業目的に	即し真に必要なものに限	限定されてい	るか。		0	交付申請の審査をしており、必要なものに限定した使途 になっている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				1	_		
事業)手段・方法等が考えられ できているか。	れる場合、それ	れと比較してよ	り効果的	0	補助事業での実施が最も効果的である。
の有	活動実績は	見込みに見る	合ったものであるか。				0	各都道府県において、必要な事業を申請してきている。
効 性	効 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。				I	_		
1			他部局・他府省等と適切 日容を各事業の右に記載		を行っているか	N _o	-	
重複	事業番号	22(11:43:0:1)	類似事業名		所管府省·	•部局名		
排除								
点検結果	本事業は、難病患者に対する各種施策を実施するために都道府県の申請に基づき補助する事業であり、平成24年度においても活動指標である難病拠 点病院数は120病院と伸びており、その他の事業においても申請数が増え執行率も向上したことから、難病患者の安定した療養環境の確保のため、引き続き適正かつ効率的な事業実施に努めるものである。							
					外部有識者	の所見		
					点検対象			
	<u> </u>			行奴爭	業レビュー推議	進チーム	の所見	
			する相談・支援や入院医 要性及び執行の観点から					患者の安定的な療養生活の確保を図るための事業である るべき。
	:		所見	見を踏まえた	改善点/概算	要求にお	ける反明	映状況
	現状通り					_		
	<u> </u>							
	関連する過去のレビューシートの事業番号							
	平成	22年	161	平	成23年	138		平成24年 111

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。 厚生労働省 729百万円 交付申請書の内容審査、交付決 定、補助事業者の指導監査等 ①難病相談・支援センター事業 ①難病患者地域支援対策推進事業 ①神経難病患者在宅医療支援 ②重症難病患者入院施設確保事業 ②難病患者等居宅生活支援事業 ③難病患者地域支援対策推進事業 ④ 難病患者等居宅生活支援事業 【補助】 【補助】 【補助】 A 都道府県(47) B 指定都市、中核市、特別区(84) C独立行政法人(6) 6.9百万円 605百万円 117百万円 相談支援、就労支援の実施 在宅療養支援の実施 ・クロイツフェルト・ヤコブ病(CJ ・医療体制の整備の実施 ・ホームヘルプ、短期入所、日常生活 D) 等神経難病診断の支援、連絡 ・在宅療養支援の実施 用具給付に関する補助の実施 体制等の整備の実施 ・クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD) 等神経難病診断の支援、連絡体制 の整備の実施 ・ホームヘルプ、短期入所、日常生 活用具給付を行う市町村への間接 【補助】 【委託】 E 東京都医師会 20百万円 D B以外の市町村(5) 難病拠点・協力病院 17百万円 1百万円 東京都難病連 6百万円 資金の流れ (資金の受け取 ・在宅療養支援の実施 り先が何を行っ ているかについ ・訪問指導事業の実施 ・ホームヘルプ、短期入所、日常生活用 ・重症難病患者一時入院確保事業の実施 て補足する) 具給付に関する補助の実施 ・難病相談・支援センター事業の実施 (単位:百万 円)

		A.東京都			E.東京都医師会	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	報償費	訪問相談事業における医師派遣謝金等	0.3	その他	重症難病患者一時入院事業の実施	16
	委託費	訪問指導事業等	32			
	給与·賃金	難病医療専門員	7			
	需用費	連絡調整通信費等	0.8			
	役務費	特定疾患調査解析システムの入力	2			
	補助費	市町村への難病患者居宅生活支援事業間接補助	1			
	 計		43	計		16
	н	 B.大阪市		н	F.	1
	費目	使途	金額			金額
			(百万円) 0.03		~ ~	(百万円)
		療養相談会案内印刷費等	0.1			
	報償費	│ │医療相談事業医師等謝金	0.4			
費目・使途 (「資金の流れ」に	役務費	通知送付	0.5			
おいてブロックご とに最大の金額	使用料	医療相談会会場使用料	0.1			
が支出されている 者について記載	補助金	居宅生活支援事業	10			
する。費目と使途の双方で実情が						
分かるように記 載)						
	計		11	計		0
		C.国立病院機構箱根病院			G.	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	その他	重症難病患者一時入院事業の実施経費	2			
	 計		2			0
		 D.国分寺市			H.	1
		使途	金額		使 途	金額
	 補助費	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	(百万円) 0.2			(百万円)
	計		0.2	計		0

支出先上位10者リスト A.都道府県

7.7	邹 追府県 ┏		1 .1. 4=		
	支 出 先	業務概要	支出額(百万円)	入札者数	落札率
1	東京都	相談支援・就労支援、医療体制の整備、在宅療養支援、CJD等神経難病診断の支援等の実施、ホームページ等を行う市町村への間接補助	43		
2	北海道	相談支援・就労支援、医療体制の整備、在宅療養支援、CJD等神経難病診断の支援等の実施、ホームページ等を行う市町村への間接補助	40		
3	神奈川県	相談支援・就労支援、医療体制の整備、在宅療養支援、CJD等神経難病診断の支援等の実施、ホームページ等を行う市町村への間接補助	36		
4	大阪府	相談支援・就労支援、医療体制の整備、在宅療養支援、CJD等神経難病診断の支援等の実施、ホームページ等を行う市町村への間接補助	32		
5	千葉県	相談支援・就労支援、医療体制の整備、在宅療養支援、CJD等神経難病診断の支援等の実施、ホームページ等を行う市町村への間接補助	31		
6	兵庫県	相談支援・就労支援、医療体制の整備、在宅療養支援、CJD等神経難病診断の支援等の実施、ホームページ等を行う市町村への間接補助	23		
7	和歌山県	相談支援・就労支援、医療体制の整備、在宅療養支援、CJD等神経難病診断の支援等の実施、ホームページ等を行う市町村への間接補助	22		
8	岡山県	相談支援・就労支援、医療体制の整備、在宅療養支援、CJD等神経難病診断の支援等の実施、ホームページ等を行う市町村への間接補助	22		
9	栃木県	相談支援・就労支援、医療体制の整備、在宅療養支援、CJD等神経難病診断の支援等の実施、ホームページ等を行う市町村への間接補助	19		
10	京都府	相談支援・就労支援、医療体制の整備、在宅療養支援、CJD等神経難病診断の支援等の実施、ホームページ等を行う市町村への間接補助	18		

B 指定都市, 中核市, 特別区

<u>D.;</u>	旧疋郁巾、中核巾、行別区				
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大阪市	在宅療養支援、ホームヘルプ等に関する補助の実施	11		
2	横浜市	在宅療養支援、ホームヘルプ等に関する補助の実施	7		
3	京都市	在宅療養支援、ホームヘルプ等に関する補助の実施	6		
4	名古屋市	在宅療養支援、ホームヘルプ等に関する補助の実施	4		
5	松山市	在宅療養支援、ホームヘルプ等に関する補助の実施	4		
6	仙台市	在宅療養支援、ホームヘルプ等に関する補助の実施	3		
7	神戸市	在宅療養支援、ホームヘルプ等に関する補助の実施	3		
8	福岡市	在宅療養支援、ホームヘルプ等に関する補助の実施	3		
9	札幌市	在宅療養支援、ホームヘルプ等に関する補助の実施	3		
10	相模原市	在宅療養支援、ホームヘルプ等に関する補助の実施	2		

C.独立行政法人

	支 出 先	業務概要	支出額(百万円)	入札者数	落札率
1	国立病院機構箱根病院	CJD等神経難病診断の支援	2		
2	国立大学法人金沢大学附属病	CJD等神経難病診断の支援	2		
3	国立大学法人広島大学病院	CJD等神経難病診断の支援	1		
4	国立大学法人九州大学病院	CJD等神経難病診断の支援	0.9		
	国立病院機構国立さいがた病院		0.8		
6	国立大学法人岐阜大学医学部 附属病院	CJD等神経難病診断の支援	0.5		
7					
8					
9					
10					

D.B以外の市町村

	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国分寺市	在宅療養支援、ホームヘルプ等に関する補助の実施	0.2		
2	立川市	在宅療養支援、ホームヘルプ等に関する補助の実施	0.1		
3	武蔵野市	在宅療養支援、ホームヘルプ等に関する補助の実施	0.1		
4	府中市	在宅療養支援、ホームヘルプ等に関する補助の実施	0.05		
5	三鷹市	在宅療養支援、ホームヘルプ等に関する補助の実施	0.03		

6			
7			
8			
9			
10			

E.委託業者

	支出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京都医師会	訪問指導事業の実施	20		
2	難病拠点•協力病院	在宅重症難病患者一時入院事業の実施	17		
3	東京都難病連	難病相談・支援センター事業の実施	6		
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

						平成25	年行	亍政事 第	削して	ごューシー	 	(厚生	上労 (動省)		
:	事業名		慢性	腎臓病 (CKI))特別	引対策事業		担当部	局庁		健康局		作	成責任者		
事 終了	業開始 • (予定) 年度			平成2	1年度			担当	课室	疫	病対策課			病対策課 原 克志		
	計区分			一般	会計			政策・対	施策名	I - 5 - 2	I-5-2 治療方法が確立していない特殊の疾病等の 予防・治療等を充実させること					
(,	拠法令 具体的な 項も記載)			-	_			関係する計画、 慢性腎臓病(CKD)特別対策事業の実施について								
(目:	業の目的 指す姿を簡 3行程度以 内)	遅延だ	が可能な紹		から、	国民や医療従事				篤な疾患であるが (D)に関する正し						
(5行	*業概要 程度以内。 添可)	②病》 ③CK ④事	完や診療所	関わる医療機	係者を	見催 ☑対象とした研修 服の収集と提供	の実績	施								
美	尾施方法	口直排	妾実施	□委託・	請負	■補助		□負担	□3	交付 □貸	付 口その	の他				
						22年度		23年度		24年度		25年度		26年度要求		
				初予算		12		10		10	9	9		10		
-]	算額・	予算 の状		正予算												
	執行額 位:百万円)	況	1米)	越し等 計		12		10		10		9		10		
			<u> </u> 執行			5	9			11	9		1			
						41		90		110						
		執行率(%)			+七 +西	41			兴 / 上		00年度	04年	<u> </u>	目標値		
成里	目標及び成	成果指標						単位	22年度	23年度	24年	· 	(年度)			
;	果実績	国民や医療従事者等に慢性腎臓病(CKD)に関する正 しい知識の普及啓発や研修を行い、慢性腎臓病予防に						成果実績		_	_	_		_		
		向けた意識を高める。						達成度	%	_	_	_				
				活動	指標				単位	22年度	23年度	24年	度	25年度活動見込		
	指標及び活 動実績							活動実績		17	24	28	}	_		
(ア	ウトプット)	事業	実施自治	体数				(当初見込み)								
								<i>VP</i>)			_	_		,		
単	位当たり コスト	400, 000(円				/自治体)		算出根拠		11百万	/ 28自治(= О.	4百万			
ਜ਼	_	目	-ند بالد جاء	25年度当初	予算	26年度要求			m - L 1 L		上な増減理由					
平成25・26年	慢性腎臓病特	等別 対 第	表事業費 	9		10	 	三一単価の間	ぎき換え	による増						
年度予																
算内																
訳		計		9		10										

	事業所管部局による点検									
	項 目	評価	評価に関する説明							
国必費	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	0	慢性腎臓病が重症化し、透析に至る患者は年約1万人すつ増加しており、 QOLの低下を招くことから、優先度が高く国費を投入して進めるべき事業である。							
要投	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	0	年々増加する透析患者を抑制するため、国が主体となって実施する必要がある。							
\sim	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業と なっているか。	_	_							
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	0	自治体向け補助金として、支出先の選定は妥当である。							
事	受益者との負担関係は妥当であるか。	_	_							
業の	単位当たりコストの水準は妥当か。	_	_							
効率	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	_	_							
性	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	0	費目・使途は事業目的に即している。							
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	_	_							
事業	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的 あるいは低コストで実施できているか。	0	自治体向け補助金として地域の実情にあわせた実効性の高い手段となっている。							
の有	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	_	_							
効性	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	_	_							
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	_								
重複	事業番号 類似事業名 所管府省・部局名									
排除										
1434										
点検結果	平成23年度から補助先に政令指定都市、中核市を加え、実施自治体数が増加し、執行 自治体数の増加も見られることから、引き続き国民や医療従事者等にへの正しい知識 推進することとする。									
	外部有識者の所見									
	点検対象外									
		の所見								
	現 状 慢性腎臓病(CKD)に関する正しい知識の普及を目的とするシンポジウムの 通 るが、事業の必要性及び執行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な勃 り									
	所見を踏まえた改善点/概算要求にお	さける反映	央状況							
	現 状 通 り									
	関連する過去のレビューシートの)事業番								
	平成22年 162 平成23年 139		平成24年 112							

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省 11百万円

交付申請書の内容審査、交付決定、補助事業者の指導監督等



【補助】

A. 都道府県(28) 11百万円 (内訳)

栃木県0.8百万円 福岡市0.8百万円 福岡県0.8百万円 熊本市0.8百万円 長崎市0.8百万円 岩手県0.7百万円 東京都0.7百万円 福井県0.7百万円 大分市0.7百万円 群馬県0.6百万円 富山県0.4百万円 愛知県0.4百万円 高知県0.4百万円 千葉県0.3百万円 滋賀県0.3百万円 奈良県0.3百万円 神奈川県0.2百万円 岐阜県0.2百万円 長崎県0.2百万円 兵庫県0.2百万円 宮崎県0.2百万円 鹿児島県0.2百万円 徳島県0.1百万円 佐賀県0.1百万円 静岡県0.06百万円 宇都宮市0.1百万円 新潟県0.08百万円 秋田県0.02百万円

資金の流れ (資金の受け取 り先が何を行っ ているかについ て補足する) (単位:百万 円)

- ①慢性腎臓病の施策を検討する連絡協議会の実施
- ②医療従事者向けの研修の実施
- ③国民向けの正しい知識の普及啓発事業の実施

		A.			E.	
	費 目	使 途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)
						,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
-						
	計		0	計		0
	н.	В.			F.	
	費 目		金額(百万円)	費 目		金額(百万円)
		L 2	(百万円)	_	,	(百万円)
#5 #%						
費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途						
とに最大の金額						
か文出されている 者について記載						
9 る。質日と使述 の双方で実情が ハムストンニー						
の双方で実情が 分かるように記載)						
	計		0	計		0
		C.	金 頞		G.	金 額
	費目	使途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	計		0	計		0
		D.			Н.	A 47
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
-						
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト A._

	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	栃木県	慢性腎臓病(CKD)特別対策事業	0.8		
2	福岡県	II .	0.8		
3	福岡市	II .	0.8		
4	熊本市	II .	0.8		
5	長崎市	II .	0.8		
6	岩手県	II .	0.7		
7	東京都	II .	0.7		
8	福井県	II .	0.7		
9	大分市	II .	0.7		
10	群馬県	II .	0.6		

 B.
 支出名
 業務概要
 支出額(百万円)
 入札者数 落札率

 1
 2

 3
 4

 5
 6

 7
 7

 8
 9

 10

						平成25	年行	亍政事	業レヒ	ごューシ	ノート		(厚生	上労化	動省)
ļ	事業名		特	定疾患治療	研究費	補助金		担当部	吊庁		健.	康局			成責任者
	業開始 • (予定) 年度			昭和4	7年度			担当	課室			対策課		田	病対策課 原 克志
	計区分			一般	会計			政策・	施策名	I — 5		療方法が確立 方・治療等を			殊の疾病等の と
(]	製拠法令 具体的な 項も記載)			_	-			通知	する計画、 通知等 「特定疾患治療研究事業について」						
(目:		高額であ 軽減を図	原因が不明であって、治療法が確立していない、いわゆる難病のうち、特定疾患については、治療が極めて困難であり、かつ、その医療費得高額であるので、特定疾患治療研究事業を推進することにより、特定疾患に関する医療の確立、普及を図るとともに、患者の医療費の負担軽減を図る。 ①特定疾患治療研究事業 【補助率 1/2、10/10】												
②在宅人工呼吸器使用特定疾患患者訪問看護治療研究事業【補助率 1/2】 ③スモン患者に対するはり等の治療研究事業【補助率 10/10】 ④先天性血液凝固因子障害治療研究事業【補助率 1/2】 「別添可) 「別添可) 「関係では、対象では、対象では、対象では、対象では、対象では、対象では、対象では、対象															
美	ミ施方法 ————————————————————————————————————	□直接実	ミ施	□委託・	請負	■補助		口負担		交付 ————	口貸付	ロその)他		
			1/ to 2 fet		22年度		23年度		24年		25年		2	26年度要求	
		 予算		刃予算 Ε予算		27,544		28,044		35,00	35,000		44,000		44,000
	5 算額 •	の状一		返し等					_						
	執行額 	况		計		27,544		28,044		35,00	35,000		44,000		44,000
			執行額	額		27,544		28,044		35,00	00				
		執	行率((%)		100%		100%		100	%				
		成果指標							単位	22年	度	23年度	24年	度	目標値(年度)
ļ	目標及び成 果実績 'ウトカム)	難病の研究推進と、難病患者の自己負担の軽減 活動指標						成果実績	_	_		_	-		-
								達成度	%	_		_	_		
									単位	22年	度	23年度	24年	度	25年度活動見込
]	指標及び活動実績 ウトプット)	特定疾患	急治療 码	T究事業の受	給者証	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		活動実績	件数	706,7	5,720 778,178		集計	集計中	
								み)		(679,3	335)	(706,720)	(778,1	78)	()
	位当たり コスト			36, 038	(円/﴿	牛)		算出根拠	単位あ 円)、Y	たりコスト <i>の</i> は上記活動)算出にお 実績の平	Sいて、Xは平 ☑成23年度数	成23年度 (778,178作	予算額 牛)とす	頁(28,044百万 ⁻ る。
<u> </u>		基目	나 마스	25年度当初	予算	26年度要求 44,000					主な	増減理由			
平成25・26年度予算内訳	学生労働科	分働科学研究費補助金 44,000													
		計	I	44,000		44,000									

				事業所管部局	による点核	美	
			項 目			評価	評価に関する説明
国必費	広く国民のこ	ニーズがある	るか。国費を投入しなければ	『事業目的が達成できなし	いのか。	0	難病患者に対する医療費負担の軽減を図る事業であり、国費を投入しなければ事業は推進されない。
要投性入	地方自治体	、民間等に	委ねることができない事業な	このか 。		0	難病患者の療養生活等に直結するため、優先度の高い事業である。医療費負担の軽減を図る事業であり、国が確実に実施する必要がある。
o o	明確な政策 なっているか		目標)の達成手段として位置	置付けられ、優先度の高い	*事業と	0	難病患者の医療費に直結するため、優先度の高い事業 である。
	競争性が確	保されてい	るなど支出先の選定は妥当	iか。		_	_
事	受益者との	負担関係は	妥当であるか。			0	所得に応じた自己負担額を設定しており、妥当である。
業の	単位当たり	コストの水準	は妥当か。			0	医療費適正化を実施しているところであり、水準は妥当 である。
効率	資金の流れ	の中間段階	での支出は合理的なものと	<u>-</u> なっているか。		_	
性	費目•使途#	が事業目的に	こ即し真に必要なものに限!	定されているか。		0	交付申請の審査をしており、必要なものに限定した使途 になっている。
-			その理由は妥当か。(理由を	_	_		
事業			の手段・方法等が考えられ <i>。</i> 「できているか。	る場合、それと比較してよ	り効果的	_	_
の有	活動実績は	見込みに見	合ったものであるか。			0	概ね見合ったものになっている。
効 性	整備された	施設や成果	物は十分に活用されている	か。		_	_
=	類似の事業 (役割分担の	がある場合 D具体的なP	、他部局・他府省等と適切 ⁷ 内容を各事業の右に記載)	な役割分担を行っているだ	') ' 。	_	
重複	事業番号		類似事業名	所管府省	•部局名		_
排除							
果				以如方辫字	か配目	_	
				外部有識者	の所見		
				点検対象	象外		
				行政事業レビュー推	進チームの	の所見	
	現						
			「の医療費の負担軽減を図 ・必要な予算措置に努める		を目的とす	る事業で	であるが、事業の必要性及び優先度の観点からも妥当で
	9						
	į			を踏まえた改善点/概算	要求にお	ける反眼	
	現 状				_		
	現 : : : : : : : : : : : : : : : : : : :				_		
				備考	<u> </u>		
			.	関連する過去のレビュー	ーシートの	事業番	号
\angle	平成	22年	163	平成23年	140		平成24年 113

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。 厚生労働省 35,000百万円 交付申請書の内容審査、交付決 定、補助事業者の指導監査等 【補助】 A 都道府県(47) 35,000百万円 ・特定疾患の医療費補助の実施 ・在宅人工呼吸器使用特定疾患患者に対する訪問看 護に対する補助の実施 ・スモン患者に対するはり・きゅう・マッサージに対する 補助の実施 ・先天性血液凝固因子障害の医療費補助の実施 資金の流れ (資金の受け取 り先が何を行っているかについ て補足する) (単位:百万 円)

		A.東京都			E.	
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)
	医療費	特定疾患患者の入院費、食事療養費、通院 費、訪問看護費	3,199			(1731)
	社 役務費	特定疾患協議会等開催に関する費用	4			
	計		3,203	計		0
		B.			F.	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
费日. 估冷						
(「資金の流れ」に						
とに最大の金額						
か文出されている者について記載						
費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使が 分かるように記 載)						
分かるように記 載)						
	計		0	計		0
		C.			G.	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	=1			=1		
	計		0	計		0
	# 5	D.	金額		H.	金額
	費目	使 途	(百万円)	費目	使 途	(百万円)
	計		0			0
	I "'		•	н		ı

支出先上位10者リスト

A.	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京都	特定疾患の医療費補助等の実施。	3,203		
2	大阪府	特定疾患の医療費補助等の実施。	2,619		
3	神奈川県	特定疾患の医療費補助等の実施。	2,052		
4	北海道	特定疾患の医療費補助等の実施。	1,972		
5	福岡県	特定疾患の医療費補助等の実施。	1,648		
6	兵庫県	特定疾患の医療費補助等の実施。	1,608		
7	千葉県	特定疾患の医療費補助等の実施。	1,595		
8	埼玉県	特定疾患の医療費補助等の実施。	1,583		
9	愛知県	特定疾患の医療費補助等の実施。	1,484		
10	静岡県	特定疾患の医療費補助等の実施。	999		

						平成25	年行	<u> </u>	単レヒ	ニューシート (人				厚生労働省)		
7	事業名			特定疾患	等対第	专費		担当部	『局庁		健原	東局		作	成責任者	
事 終了	業開始 • (予定) 年度			昭和4	7年度			担当	課室			病対策課 疾病対策課 田原 克志				
会	計区分			一般	会計			政策 • 1	b 第・施策名I-5-2治療方法が確立していない特殊の疾病等予防・治療等を充実させること							
(]	拠法令 具体的な 頃も記載)			_	-				- る計画、 - <u>_</u> - 知等							
(目:	業の目的 指す姿を簡 3行程度以 内)	特定疾患等対策、ハンセン病対策、腎疾患対策の各施策が円滑に実施されることを目的に行う会議、情報収集・調査及び都道府県への指導・助言などを実施する。												・調査及び都		
(5行	業概要 程度以内。 Ⅰ添可)	特定が ト・ヤコ ②ハン	ブ病(C セン病:	系る情報の4 JD)2次感染 対策に係る名	⊵対策 各施策	会議の開催及でに係る会議の原を実施するための	開催及 めの材	ない調査・ 検討会・研	指導。 修会の	開催及び調査		化に関する	調査・解	析。クロ	ロイツフェル	
実	施方法	■直接	実施	□委託・	請負	口補助		口負担		交付 口貨	付	ロその)他			
						22年度		23年度		24年度		25年		26年度要求		
	• 算額 • 執行額 位:百万円)			初予算		30		36		36		35		88		
了		予算の状		正予算												
4		況		越し等				20								
(早)	四.日万円)			計		30		36		36		35		<u> </u>	88	
			執行	額		24		29		28						
		ŧ	执行率	(%)		80%		81%		77%						
		成果指標 本事業で実施した研修等により、研修受講者が難病に 関する知識を活かして活躍することが望まれる。							単位	22年度		23年度	24年	-度	目標値 (年度)	
Ĩ	目標及び成果実績 ウトカム)							成果実績	_	_		_	_		-	
								達成度	%	_		_		——		
				活動	指標				単位	22年度		23年度	24年	-度	25年度活動見込	
Į	指標及び活動実績 ウトプット)	特定疾	患医療衍		者			活動実績(当初見込	人	_		82	83	3	_	
								み)		_		(82)	(82	2)	(83)	
	位当たり コスト			一(円	/)		算出根拠				_					
		目		25年度当初	予算	26年度要求		- 12 - 12		:	主なり	曾減理由				
平成		謝金		3		5		価の増額に								
2 5		員旅費		2		3		価の増額に								
2		等旅費		2		4	単 	価の増額に	こよる							
6 年		宁費 1.6.桂七	₩₩	1		1		·	加生へ「	コナル	★ ='	両歩ウェケ	フ奴世へ	1#		
度予	社会保障関 「	l係情報 [·] 宁費	化美務	27		75	<u>歴</u>	史的建造符	勿寺の代	保存に関する調剤	≘・計	画東定に係	5栓質の:	琩		
算内																
内訳																
		計		35		88										

			_	事業所管部局(こよる点荷			1 = = = =
			項目	18		評 価	評価に関	
国 必費			か。国費を投入しなければ		いのか。	0	難病施策を実施するために	
要投 性入			委ねることができない事業な 目標)の達成手段として位置		車業し	0	国が難病対策を実施するため	めに必要な経費である。
0	なっている	るか。 			争未と	0	難病施策を実施するための紀	経費であり、優先度は高い。
	競争性が	確保されている	るなど支出先の選定は妥当	áか。 			-	_
事	受益者と	の負担関係は	妥当であるか。			_	-	-
業の	単位当た	りコストの水準	は妥当か。			_	-	-
効率	資金の流	れの中間段階	での支出は合理的なものと	となっているか。		_	-	_
性	費目∙使沒	金が事業目的に	こ即し真に必要なものに限り	定されているか。		0	委員等への謝金や旅費等の いる。	必要な経費にのみ支出して
	不用率が	大きい場合、そ	その理由は妥当か。(理由を	を右に記載)		0	開催会議数が想定より下回・	ったことによる事業費の減等
事業	事業実施あるいは	に当たって他の	D手段・方法等が考えられ [。] できているか。	る場合、それと比較してよ	り効果的	_	-	-
の有			<u></u> 合ったものであるか。	_	_	-		
効性	整備され	た施設や成果物				_	-	-
II			、他部局・他府省等と適切プ	 な役割分担を行っているか)\ ₀			
重複	(役割分抗 事業番号		内容を各事業の右に記載) 類似事業名	所管府省	・部局名			
排	于不由了	5	及以中未七	771 6 713 6	ביניייום		-	_
除								
				外部有識者 点検対象				
				一行政事業レビュー推:	進チームの	の所見		
	通		療費適正化のための調査 観点からも妥当であり、引				重疾病対策を推進するための紅	圣費であるが、経費の必要
	IJ							
			武 目 2	を踏まえた改善点/概算	両哉にむ	ける豆具	市作 海	
			加元	で明のんに以音ぶ/ 似昇	-女小にの	いる以真		
	現							
	現 状 通 り				-			
	9							
			-		>	古 兆 爫 '	=	
	37	 ^I 成22年	163	関連する過去のレビュー 平成23年	<u>ーシートの</u> ₁₄₀	争耒番	号 平成24年	113
		.,,,	1	17%20	1		17%217	1

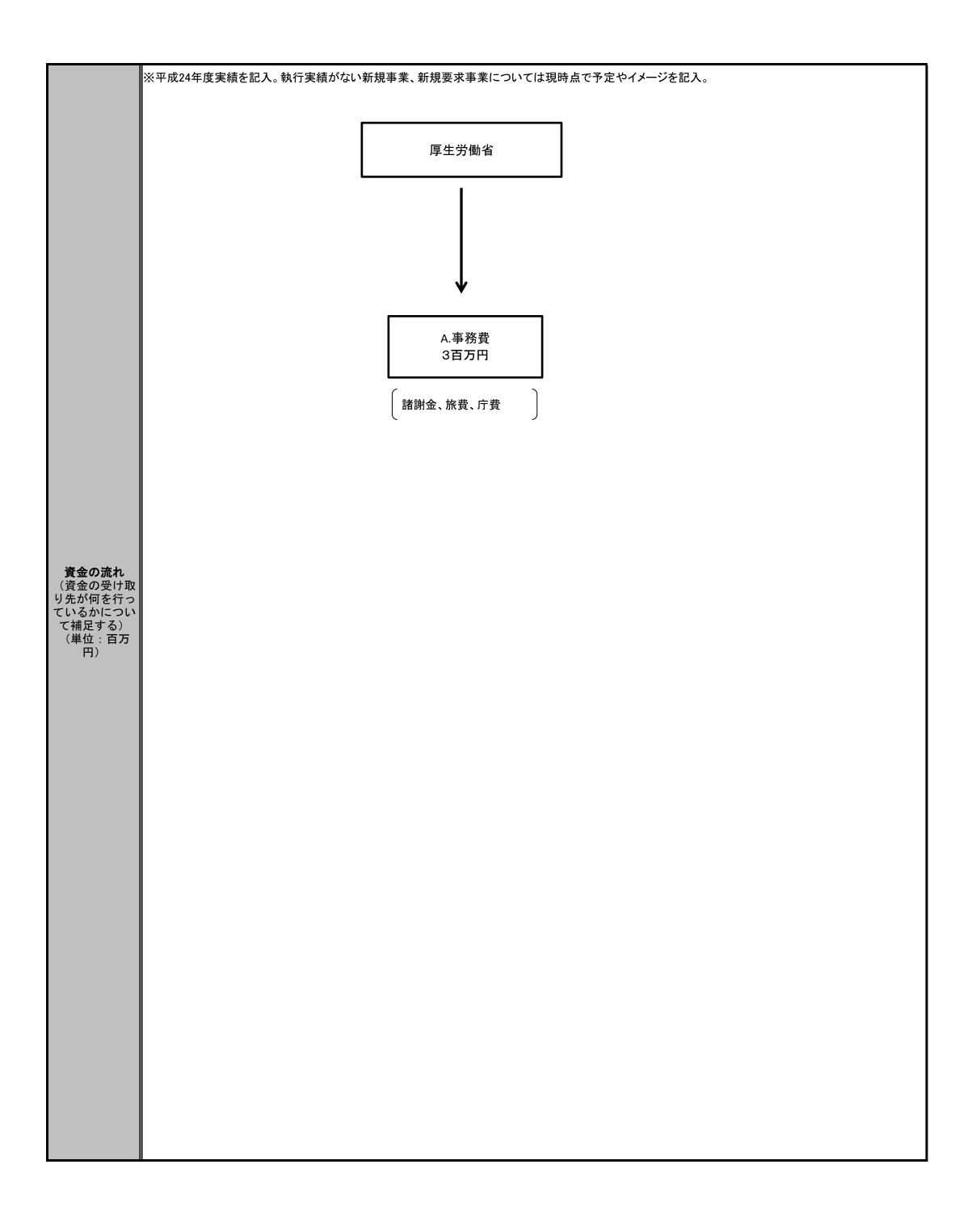
原生労働名 28百万円 (対金・旅費、利利品費) (減金の連れ (減金の連行な (対金が得かる) (本が日本名) (単位) 百万		※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。
28百万円		
資金の流れ (資金の受け取り はお你を行っ		
資金の流れ (資金の受け取 リキが何を行っ		
資金の流れ (資金の受け取 リキが何を行っ		
資金の流れ (資金の受け取 リサイが回る行っ		
資金の流れ (資金の受け取 リサイが回る行っ		J.
資金の流れ (資金の受け取 リキが何を行っ		Y
資金の流れ (資金の受け取 リキが何を行っ		
資金の流れ (資金の受け取 リキが何を行っ		│
資金の流れ (資金の受け取 (資金のできたつ)		
資金の流れ (資金の受け取 (資金のできたつ)		
(資金の受け取し、 り先が何を行っし		
(資金の受け取し、 り先が何を行っし、	答金の流れ	
り先が何を行っているかについて補足する) (単位:百万 円)	(資金の受け取	
て補足するが、(単位:百万円)	り先が何を行っ	
(単位:百万円)	て補足する)	
	(単位:百万 円)	
	1.7/	

A.事務費 E. 金 額 (百万円) 金 額 (百万円) 費目 使 途 費目 使 途 諸謝金 検討会等出席委員への謝金 2 職員旅費 2 本省職員の出張旅費 委員等旅費 検討会出席委員の旅費 1.4 庁費 研修に必要な経費 1 社会保障関係 情報化業務庁 医療費適正化等にかかる経費 21.4 0 28 計 計 B. F. 金 額 金 額 使 途 使 途 費目 費目 (百万円) (百万円) **費目・使途** (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載) 計 0 計 0 C. G. 金額 (百万円) 金 額 (百万円) 使 途 使 途 費目 費目 0 計 0 計 D. Н. 金額 金額 費目 使 途 費目 使 途 (百万円) (百万円) 計 0 計 0

Α.	u. u	alle The law	支 出 額	- 11 -t- ver	-
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

				平成:	2 5 :	年行政	事業	レビューシー	<u> </u>	(厚生党	労働	首)	
	事業名		エイズ対気	費		担当部	吊庁		健康局		•	作成責任者	
	業開始・ (予定) 年度		平成13年	 度		担当	課室		——————— 疾病対策課			转录录表 表现表现表现。 表示	
4	計区分		一般会詞			政策・	施策名	I-5-2 治療		 い特殊の疾り ること		予防・治療等を充実	
(,			ī及び感染症の患 O年法律第114	者に対する医療に 号)第11条	関す	関係する通知			全症候群に関する特別 対動省告示第21号		<u></u> 坊指針	<u>-</u> 1	
(目	業の目的 指す姿を簡 3行程度以 内)		方指針」に基づき 対策の各施策を排	•)予防;	及びまん	延の防	5止のための相談・ホ	倹査体制の維持強化	、適切な医療	療提供	体制の確保などの	
(5行	季業概要 ·程度以内。 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			・地区ごとにブロ・ エイズ予防指針:				D開催 関係省庁間連絡会詞	養の開催				
身	ミ施方法	■直接実施	□委託・請負	頁 □補助		□負担	[□交付 □貸付	□その他				
				22年度		23年度		24年度	25年度	Ę		26年度要求	
			初予算	19		11		8	7		7		
Ŧ	· 算額 ·	の状	証予算 / 一				\rightarrow						
執行額 (単位:百万円)		況 	計	19		11	-	8	7	_		7	
		執行		8		6		3					
		執行率		42.1%		54.5%		37.5%					
		₹X11 '+'	(⁹⁰)			34.3%	単位		02左座	0.4年度		目標値	
成果	目標及び成		/从不1日1示				四甲	22年度	23年度	24年度	.	(年度)	
:	果実績					成果実績	-	-	-	-		-	
()		策施策の検討及びエイズ対策評価の検討に基づき、エ イズ対策の推進を図ることが目標である。					%	-	-	-			
			活動指標	Ę			単位	22年度	23年度	24年度		25年度活動見込	
	指標及び活 動実績 ウトプット)	関係省庁や	関係省庁や特定の都道府県等との会議の開催実績					ブロック協議8回 重点都道府県等 エイズ対策担当課長 連絡会議1回	ブロック協議8回 エイズ予防指針作業班9 回 関係省庁間連絡会議1回	イズ予防指針作業班9 重点都道府県 回 エイズ対策担当		- 1人対東担当議長会議	
								_	(-)	(-)	(-)	
単	位当たり コスト		777,778(円/会議)				算出根拠 単位あたりコストの算出において、Xは平成24年度予算額(7百万円)、Yは上記活動実績の平成24年度数(9回)とする。						
377		費 目	25年度当初予算	1					主な増減理由				
平成。	諸謝金		0.6	0.6									
2 5	職員旅費		0.6	0.6		*** 	L L 1						
2	委員等旅費 庁費		0.7	0.6	貝	数を見直し	JT:T:&	0					
6 年 度	川 良		5.3	5.3	\dashv								
予算					\dashv								
内訳					\dashv								
ar C		計	7.2	7.1	\dashv								

	事業所管部局による点検									
	項 目	評価	評価に関する説明							
	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか	ov. O	HIV/エイズに関する国や自治体の施策を評価し、今後の施策に反映させることによりHIV/エイズの感染拡大防止を図り、また、各ブロックの患者や医師等と連携を密にし、HIV医療水準の向上を図るものであり、国民のニーズが高い事業である。							
必要性の	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	0	感染症法において、国及び都道府県等は、感染症に関する各種施策の推進及び施策の総合的かつ迅速な実施のための相互連携の責務を負っていることから、自治体を含むエイズ施策全体の評価を行い、今後の施策の方向性等を検討し、また、HIV医療の地域格差を是正し、均てん化を図るため、地方自治体等には委ねることができない。							
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業 なっているか。	<u>ال</u> 0	HIV/エイズに関する国や自治体の施策全体の評価を行い、今後の施策等の方向性を検討するため、優先度の高い事業となっている。							
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	_								
	受益者との負担関係は妥当であるか。	_								
	単位当たりコストの水準は妥当か。	_								
	 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	_								
効 率 性	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	0	HIV/エイズに関する施策評価検討会や各ブロックでの連絡会議等の開催のための謝金や旅費、事務費等に支出しており、真に必要なものに限定されている。							
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	Δ	印刷物の部数が見込より少数であったこと等により、印刷費や発送料等が 見込より少額となったため。							
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効度があるいは低コストで実施できているか。	果								
の	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	_								
ᇭ	上 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	_								
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。	_								
重複	(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載) 事業番号 類似事業名 所管府省・部局	_ 3名								
排除										
PAY.										
検結	検 都道府県等との連絡会議を実施して施策の情報共有及び検討を行うことにより、エイズ対策の推進が図られたところである。 結 また、平成24年度は一定の不用を生じているが、国民のニーズや優先度、国が実施すべき責務、資金の費目・使途等の各点検項目を概ね満たしており、引き続きエイズ									
	为P的特色	識者の所見								
執行ጃ	率を勘案し、予算額への反映が必要である。(長崎、井出)									
	行政事業レビュー !	-推進チーム	の所見							
	事 業 以内 時内 大況を踏まえ、予算の縮減を図るべき。 の	医療体制整備	のための会議を開催し、エイズ対策を推進するための経費であるが、執行							
	所見を踏まえた改善点/3	概算要求にお	らける反映状況							
	縮 執行実績を踏まえて、積算を見直したことによる減。									
	i i	 備考								
	関連する過去のレビ									
	平成22年 166 平成23年	0143	115							



		A.			E.	
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	諸謝金	会議出席謝金等	1			
	旅費	会議出席旅費等	1			
	庁費	会議費、消耗品費等	1			
	計		3	計		0
		В.	一		F.	人 宛
	費目	使 途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)
費目・使途						
費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載						
とに最大の金額が支出されている						
者について記載する。費目と使途						
する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)						
載)	計		0	計		0
		C.			G.	
	費目	使 途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)
		,	(自万円)	X 1	~ ~	(白万円)
	計		0	計		0
		D.			H.	
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	=1			=1		
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト ^A

A.					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

 B.
 支出策
 支出額 (百万円)
 入札者数 落札率

 1
 (百万円)
 人札者数 落札率

 2
 (日万円)
 (日万円)

 3
 (日万円)
 (日万円)

 4
 (日万円)
 (日万円)

 5
 (日万円)
 (日万円)

 6
 (日万円)
 (日万円)

 7
 (日万円)
 (日万円)

 8
 (日万円)
 (日万円)

 9
 (日月)
 (日月)

 10
 (日月)
 (日月)

	平成25年行政事業レビューシート(厚生労働省)											(厚生	上労化	動省)
	事業名			エイズ発生動	向調	査経費		担当部	吊庁		健康局		作	成責任者
	業開始 • (予定)年度			昭和59	9年度			担当	課室		病対策課		田	对策課長 原 克志
4	会計区分			一般:	会計			政策 •	施策名	I-5-2	治療方法が確立 予防・治療等を			
(艮拠法令 具体的な 項も記載)			及び感染症の D年法律第11		こ対する医療に 第11条	関す	関係する通知			不全症候群に 生労働省告示第		定感染	毕症予防指針 」
(目	業の目的 指す姿を簡 。3行程度以 内)	け姿を簡 我が国で増加傾向にあるエイズ患者・HIV感染: 行程度以■資する。						の情報を的	的確かつ)迅速に把握す	⁻ ることにより、コ	こイズの涙		止の施策に
(5行	事 業概要 f程度以内。 训添可)	都道 る <i>た</i> と	道府県から めの施策	らのHIV感染 へ役立てる。	:者、:	エイズ患者の報	告を	とりまとめ	、状況を	を分析することで	で、今後のHIV!	惑染、エイ	イズの	流行を阻止す
身	尾施方法	■直持	妾実施	□委託・	請負	口補助	l	口負担	口交	₹付 □貸	付 □その	他		
						22年度		23年度		24年度	25年	度	2	26年度要求
		M		初予算		3		3		4	4		4	
予算額・		予算 の状 況		正予算										
	執行額 (単位:百万円)		一 裸花	越し等 -		3							4	
			±4.4=	計	2.4			3		4	4			
		執行額						2.4		3.8				
		執行率(%)				80.0%		80.0%		95.0%			1年年 目標値	
₽ #		成果指標 							単位	22年度	23年度	24年	度	(年度)
	目標及び成 果実績		 定量的な成果目標設定は困難であるが、エイズ患者・						_	-	-	_		-
(ア	'ウトカム)		HIV感染者の情報を把握し分析することで今後のエイス 予防対策に反映していくことを目標としている。					 達成度	%	_	_	_		
								连队及		20 5 5	0055	0.15		
江新	七冊 ひょぐそ			活動: 	旧標				単位	22年度	23年度	24年	<u></u>	25年度活動見込
	指標及び活し動実績				_			活動実績		4	4	4		_
(ア	ウトプット)	エイス	、動向委員	会の開催実績	責			(当初見込み)	回	(4)	(4)	(4)		,
								• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		(4)	(4)	(4)		(-)
単	位当たり コスト			1,000,000(F	9/委	員会)		算出根拠	単位あた は活動写	こりコストの算出 実績の平成24年	において、Xは平 度数(4回)とする	成24年度 。	予算額	頁(4百万円)、Y
777		目		25年度当初	予算	26年度要求				É	Eな増減理由			
平成。	諸謝金			0.3		0.3								
2 5	職員旅費			0.3		0.3								
2	委員等旅費			0.5		0.3	員 	数を見直し	したため					
6 年	社会保障関係	情報化	企業務庁費	3		3								
度予														
算内							\dashv							
訳		計		4		4	\dashv							

	事業所管部局による点検										
	項 目	評価	評価に関する説明								
	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	0	HIV/エイズの発生動向を把握・分析し、国民に還元することは、感染拡大防止の観点から重要なものであり、国民のニーズが高い事業である。								
国費 投入の	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	0	感染症法において、国及び都道府県等は、感染症に関する情報収集・分析を図らなければならないとされており、また、全国のHIV/エイズの発生動向を収集・分析し、情報を国民及び地方公共団体等に還元することがHIV/エイズの感染拡大防止の観点から重要であることから、地方自治体等には委ねることができない。								
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業と なっているか。	0	HIV/エイズ患者の発生動向を収集・分析し、情報を国民 及び地方公共団体等に還元するため、優先度の高い事 業となっている。								
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	_									
	受益者との負担関係は妥当であるか。	_									
事業	単位当たりコストの水準は妥当か。	_									
の効	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	_									
率性	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	0	HIV/エイズの発生動向調査、エイズ動向委員会開催のために必要な謝金、旅費等に支出しているものであり、 真に必要なものに限定されている。								
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	_									
事業	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的 あるいは低コストで実施できているか。	_									
の	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	_									
有効性	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	0	HIV/エイズの発生動向を収集・分析し、分析結果を国民 及び地方公共団体等に還元し活用している。								
II	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。	_	及び地方公共団体寺に遠北し沿用している。								
重複	(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載) 事業番号 類似事業名 所管府省・部局名										
排除	77.日 7 77.日 77.日 77.日 77.日 77.日 77.日 77										
冰											
点検結果	平成24年度は、前年度と同回数のエイズ動向委員会を開催し、エイズ患者・HIV感染者た。 た。 本事業は一定の不用が生じているものの、国民のニーズや優先度、国が実施すべきうた、エイズの流行状況を調査・分析し、広く国民に情報提供することで、国民の意識の全症候群に関する特定感染症予防指針」(エイズ予防指針)の趣旨を踏まえ、適切に	責務、資金 向上、流行	の費目・使途等の各点検項目を概ね満たしており、ま 〒防止に寄与していることから、引き続き「後天性免疫不								
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・										
	点検対象外										
		の所見									
₹	事 文業 エイズ患者及びHIV感染者の発生動向について調査・分析することにより、H 内 え、予算の縮減を図るべき。 の	IV/AIDS <i>0</i>	D流行防止を図るための経費であるが、執行状況を踏ま								
	所見を踏まえた改善点/概算要求にお	さける反映	央状況								
	縮執行実績を踏まえて、積算を見直したことによる減。										
	関連する過去のレビューシートの平成22年167平成23年0144	事業番号	号 平成24年 116								

	※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。 「厚生労働省 「A.事務費 3.8百万円 【諸謝金、旅費、社会保障関係情報化業務庁費
資金の流れ の流りででで、 (りてでは、) の流のでは、 (りてでは、) () () () () () () () () () () () () ()	

		A.		E.				
	費 目	使 途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)		
	諸謝金	会議出席謝金等	0.2			(11731 37		
	旅費	会議出席旅費等	0.6					
	社会保障関係情報化業務庁費	印刷製本費、会議費等	3					
	計		3.8	計		0		
		В.	A 25		F.	人 姑		
	費目	使 途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)		
費目・使途								
(「貧金の流れ」においてブロックご								
どに最大の金額が支出されている								
費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使が 分かるように記 載)								
の双方で実情が 分かるように記								
載)	計		0	 計		0		
		C.			G.			
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)		
			(17313)			(11731 37		
	-,			-,				
	計		0	計		0		
	# 5	D.	金 額	# 5	H.	金 額		
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)		
	計		0	計		0		

A.	支 出 先		支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

	平成25年行政事業レビューシート(厚生労働省)												
Ę	事業名	特定疾	患調査解析シ	ノステム開発等経費	ŧ	担当部	局庁		健康局		作成	責任者	
	業開始 • (予定) 年度		平成1	4年度		担当	課室		病対策課		田原	対策課 克志	
会	計区分		一般:	会計	政	対策・ が	施策名 I - 5 - 2 治療方法が確立していない特殊の疾病等の 予防・治療等を充実させること						
(]	拠法令 具体的な 頁も記載)		-	-	関係	係する 通知	計画、 I等			_			
(目排 潔に。	集の目的 旨す姿を簡 3行程度以 内)		認定の際に	者の申請の際に提出 特定疾患調査解析シ									
(5行		以内。 ()									:、難治性		
実	施方法	□直接実施 ■委託·請負 □補助				担	□3 	交付 □貸	付 口その	D他 			
		当初予算		22年度 32		年度 8		24年度 4	25年		26年度要求		
买	· 算額 • 執行額 垃:百万円)	の状	正予算										
\$		況	越し等										
	立:日方円)		計	32	8	8		4	4		4		
		執行	額	8	-	7		3					
		執行率	(%)	25%	8	88%		75%					
			指標			単位	22年度	23年度	24年	度	目標値 (25年度)		
	目標及び成 果実績 ウトカム)	難治性疾患克原	究班からの申請数		果実績	件	22	25	19		_		
					達用	成度	%	_	_	_			
活動は	指標及び活		活動	指標 ————————————————————————————————————			単位	22年度	23年度	24年	度 25	年度活動見込	
重	助実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	都道府県のシス	ステム入力数		(当初	動実績 初見込 み)	_	552,626 706,720	618,498 778,178	489,15 823,7		- -	
	位当たり コスト		8. 2(円	3/件)	算出	算出根拠 単位あたりコストは、Xを平成24年度予算額(4百万円)、Yは上記活動実 績の平成24年度数(489,156件)としている。							
		1 日	25年度当初					Ė	な増減理由				
平成25・26年度予算内訳	運用	計	4	4									

	事業所管部局による点検												
		項目			評価	評価に関する説明							
国必費	広く国民の	カニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的	的が達成できない	いのか。		難病患者のデータ収集等に必要な経費であり、国費投入が必要である。							
要投	▋地方自治	体、民間等に委ねることができない事業なのか。			0	国が所有しているシステムの運用経費である。							
性入の	明確な政なっている	策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられるか。	1、優先度の高い	事業と	0	難病患者の認定適正化の観点からも優先度は高い。							
	競争性が	確保されているなど支出先の選定は妥当か。		0	一般競争入札による業者選定をしている。								
事	受益者と	の負担関係は妥当であるか。		_	_								
業の	単位当た	りコストの水準は妥当か。		_	_								
効率	資金の流	れの中間段階での支出は合理的なものとなってし		-	_								
性	費目·使達	金が事業目的に即し真に必要なものに限定されて		0	必要経費のみを精算払いしている。								
	不用率が	大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記	載)		0	入札減による。							
事業		に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、 ⁻ 低コストで実施できているか。	それと比較してよ	り効果的	_	_							
有	活動実績	は見込みに見合ったものであるか。			Δ	全数入力が望ましいが、入力率は〇〇%にとどまっている							
効性	整備され	た施設や成果物は十分に活用されているか。			0	特定疾患調査解析システムで集約した情報を研究利用している。							
_		業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分 単の具体的な内容を各事業の右に記載)	担を行っているか)\ ₀	_								
重複	事業番号		所管府省·	▪部局名									
排除						_							
1.0													
点検結果	点 検 構 構 構 構 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大												
			外部有識者	の所見									
			点検対象										
		行政國	事業レビュー推議	進チームの	の所見								
		特定疾患患者の臨床データを集約し、研究利用す 観点からも妥当であり、引き続き効率的な執行に		€疾患の治	療法確立	を図るための事業であるが、事業の必要性及び執行の							
		所見を踏まえ	た改善点/概算	要求にお	ける反映	央状況							
	現												
	現 状 通 り												
	C. SHA												
		関連する	過去のレビュー	ーシートの	事業番号	号							
<i>/</i>	म्	成22年 168	平成23年	145		平成24年 117							

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。 厚生労働省 3百万円 特定疾患調査解析システムの運 用・保守、機器移設、事業者の決 定、契約締結等 【一般競争入札】 A アルファテックス株式会社 3百万 円 特定疾患調査解析システムの運用・保守 **資金の流れ** (資金の受け取 り先が何を行っ ているかについ て補足する) (単位:百万 円)

					E.	
	費 目	使途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	運用∙保守	特定疾患調査解析システムの運用・保守	3			(日万円)
	計		3	計		0
		B.			F.	
	費 目		金額	費 目	使 途	金額
			(百万円)			(百万円)
費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載						
おいてブロックごとに最大の金額						
が支出されている						
する。費目と使途の双方で実情が						
する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)						
取)	計		0	計		0
		C.	· ·		G.	
	費 目	使 途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)
	計		0	計		0
		D.			H.	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)
			(17313)			(117313)
	計		0	計		0

Α.	支 出 先	業務概要 	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	アルファテックス株式会社	特定疾患調査解析システムの保守・運用	3	3	77%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					_
9					
10					

					平成25	年行	<u> </u>	ドレヒ	<u> ジューシー</u>	-	(厚生	上労们	動省)
1	事業名		リウマチ・アレ	ルギ	一対策費		担当部	3局庁		健康局		作	成責任者
事 終了(業開始 • (予定) 年度		平成1	3年度			担当	課室		病対策課		田	病対策課 原 克志
会	計区分		一般:	会計			政策•	施策名	I-5-2	治療方法が確認 予防・治療等を			
(]	拠法令 具体的な 頃も記載)		_	-			関係する計画、 通知等 リウマチ・アレルギー相談員養成研修会の実施について						
(目	業の目的 指す姿を簡 3行程度以 内)	り、患者数を	や国民の関心も	高い	重要な問題とな	って	いることか	ら、地域	ルギー性疾患原 域における相談 の悩みや不安の	体制の整備を			
(5行	業概要 程度以内。 Ⅰ添可)								員の人材育成及 対する正しい知				
実	施方法	■直接実施	□委託・	請負	口補助		口負担	□3	を付 口貸	付 □その)他		
			22年度 当初予算 5		23年度		24年度	25年	度	2	26年度要求		
					5		4		4	3	3		1
₹	· 算額 •	予算 の状	補正予算										
4	執行額	況	繰越し等										
(単位	位:百万円)		計		5		4		4	3			1
		執	.行額		4		2		3				
		執行至	率(%)		80		50		75				
						単位	22年度	23年度	24年	度	目標値 (年度)		
Ì	目標及び成果実績 ウトカム)		「修会を開催し、息 ・や不安の解消を	» ш	成果実績		_	_	_		-		
		•					達成度	%	_	_	_		
汗動力	指標及び活		活動:	指標				単位	22年度	23年度	24年	度	25年度活動見込
j	動実績						活動実績		162	136	127	7	_
()	ウトプット)		研修会参	加人	数		(当初見込み)		_	(200)	(200	0)	(200)
	位当たり コスト		20, 000		(円/人)		算出根拠	3	! 百万円(執行額)	/ 127人(参	加人数)=	= 0. ()2百万円
<u> </u>		計令	25年度当初	予算	26年度要求	11.	ム フェ マ	.11 4-8		な増減理由	- /半 ニ :==		
平成。		謝金	0.3		0.17	ا'''	ノマナ・グレ	ノルキー	相談員養成研修	云争耒の廃止に	-1干つ减		
2 5		旅費	0.2		0.072								
2		製本費	1.6		0.009								
6 年		運搬費	0.4		0	_							
年度		借料	0.6		0.11								
算	1	賃金	0.02		0								
内訳		計	3		0.361								

	事業所管部局による点標	検									
	項目	評価	評価に関する説明								
国必費	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	0	国民の2人に1人は何らかのアレルギー疾患に罹患しているとされており、広く国民のニーズがある。								
要投	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。 明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業と	0	民間療法を含め膨大な情報が氾濫しており、国が確かな情報 を発信する必要がある。 理由をはあくしており、受講者数の多寡や会場の選定による								
	なっているか。 	_	年田をはめてしており、文誦有数の多芽や云場の選定によるものである。								
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	_	_								
事業	受益者との負担関係は妥当であるか。	_	_								
の効	単位当たりコストの水準は妥当か。	_	_								
率	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 世界である。 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	0	ー 費目・使途は事業目的に即している。								
	京日・	_	東日								
事	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的	0	保健師等に対して直接研修を実施するものであり、実効性の								
の	あるいは低コストで実施できているか。 活動実績は見込みに見合ったものであるか。	_	高い手段となっている。 -								
动	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	_	_								
		_									
重複	(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載) 事業番号 類似事業名 所管府省・部局名										
排除	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·										
N/V											
女女	を検 ・ で成24年度においては、前年度に比べ受講者数が減少し受講者1人あたりのコストも増加した。研修会の申込期限を過ぎてからの申込があったため、25 年度以降は周知期間を延長し、受講者数の増加につなげる。受講者数の増加により、執行率の増並びに、成果指標にある患者・家族等からの悩みや不 安の解消を図ることとする。										
	外部有識者の所見										
	点検対象外										
	行政事業レビュー推進チーム	の所見									
	現状 リウマチ・アレルギー疾患に係る相談員向け研修会を実施することにより、相通 ための経費であるが、経費の必要性及び執行の観点からも妥当であり、引きり										
		さける反映	央状況								
	現 状 通 り										
	: 										
	関連する過去のレビューシートの)事業番 ·	号								

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。 厚生労働省 3百万円 【支出】 事務費 3百万円 謝金、旅費、庁費 **資金の流れ** (資金の受け取 り先が何を行っ ているかについ て補足する) (単位:百万 円)

		A.			E.	
	費 目	使 途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)
	事務費	謝金、旅費、庁費	3			(日万円)
	計		3	計		0
		B.			F.	
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
			\			()
费日• 佑淦						
(「資金の流れ」に						
費目・使途 (「資金の流れ」においてが支に最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使が分かるように記載)						
者について記載						
する。 質目と使述の双方で実情が						
分かるように記 載)						
	計		0	計		0
		C.	A ##		G.	A 67
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	計		0	<u></u> 計		0
		D.	1		H.	1
	費 目	使 途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)
	_ ~ -	~ ~	(百万円)	_ ~ -	~ ~	(百万円)
	計		0	計		0

A.	支 出 先		支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

				平成25	年行	亍政事	業レヒ	ジューシート	•	(厚生	上労働	動省)	
	事業名		ハンセン病訴詞	公和解金		担当部	吊庁	1	建康局		作	成責任者	
	業開始 • (予定)年度		平成13年	度		担当	課室		病対策課		田	病対策課 原 克志	
至	計区分		一般会詞	t		政策 •	施策名		治療方法が確立 う防・治療等を				
(,	視拠法令 具体的な 項も記載)		_			関係する計画、 平成13年7月23日付け基本合意書 平成14年1月28日付け基本合意書							
(目	業の目的 指す姿を簡 3行程度以 内)	ハンセン病療	療養所入所者等	、その遺族や非力	入所者	首に対する	国の慰	謝を表明のため	、和解一時金	を支給。			
(5行 另	፮ 業概要 注程度以内。 訓添可)	ての内閣総理	大臣談話」に基	家賠償訴訟熊本半 づき、入所歴のあ 年1月28日での基	5る患	者∙元患	者に対し	ては平成13年7	月23日、入所				
身	ミ施方法 —————	■直接実施	□委託・請負	〔 □補助 		□負担 	<u> </u>	交付 □貸付 	† □その)他 ————			
	5 算額 • 劫 行 药	当初予算 予算 補正予算 の状 況 繰越し等		560		320		230	91	91		26年度要求 136	
執行額 (単位:百万円)			計	560		320		230	91			136	
		執行	額	111		53		35					
		執行率	(%)	19.8		16.6		15.2					
-1			成果指植	<u></u>			単位	22年度	23年度	24年	度	目標値 (年度)	
:				対して、隔離による 『等について、和解		成果実績	%	_	_	_		-	
			活動指標	Ę			単位	22年度	23年度	24年	度	25年度活動見込	
	指標及び活 動実績 ウトプット)	和解一時金の3	支給者数			活動実績 (当初見込 み)		120	91	13)	()	
単	位当たり コスト		2, 692, 308(円/人)		算出根拠	35, 00	00, 000円 /13	人 = 2,692	2, 308円	(/人)	
777						h7115	- 1''	主	な増減理由				
平成25・26年度予算内訳	賠償償還及払戻						の増						
		āΤ	91	100									

					事業所管部局に	こよる点点						
			項目				評価	評価に関する説明				
国必費	広く国民の二	ニーズがある	るか。国費を投入しなけれ	≀ば事業	目的が達成できない	いのか。	0	ハンセン病違憲国賠訴訟における基本合意書に基づく和解 金であり、事業の必要性の観点から国費を投入すべき事業で ある。				
必要 性入	地方自治体	、民間等に	委ねることができない事 <u>第</u>	業なのか	0		0	ハンセン病違憲国賠訴訟における基本合意書に基づく和解 金であり、国が実施すべき事業である。				
の	明確な政策 なっているか		目標)の達成手段として位	位置付け	られ、優先度の高い	事業と	_	並での八百万天地 がでずれてのも。				
	競争性が確	保されてい	るなど支出先の選定は妥	妥当か。			_					
事	受益者との?	負担関係は	妥当であるか。			_						
業の	単位当たり	コストの水準	は妥当か。			_						
効率	資金の流れ	の中間段階	での支出は合理的なもの	のとなって		_						
性	費目・使途だ	が事業目的に	こ即し真に必要なものに	限定され		0	ハンセン病違憲国賠訴訟における基本合意書に基づ和解 金の支給であり、事業目的に即したものである。					
	不用率が大	きい場合、	その理由は妥当か。(理日	由を右に	記載)		0	和解件数が当初の積算を下回ったことによるものである。				
			の手段・方法等が考えら iできているか。	れる場合	、それと比較してよ	り効果的	_					
有	活動実績は	見込みに見	.合ったものであるか。				_					
効 性	整備された	施設や成果	物は十分に活用されてい	いるか。			_					
			、他部局・他府省等と適けなる		分担を行っているか	١,	_					
重複	事業番号	7701	類似事業名	~/	所管府省·	·部局名						
排除												
検結果	・本事業は、基本合意書に基づき、和解一時金を支給するものであり、適切に実施されている。 ・平成24年度は、和解一時金の支給対象者が前年度に比べ大幅に減少し、執行率が低下したところである。25年度予算については、執行状況を踏まえ、予算の減額を行ったところである。											
					外部有識者	の所見						
					点検対象							
	į			行山	女事業レビュ一推 法	進チーム	の所見					
		ンセン病患 となるよう努		金を支払	うための経費である	るが、経費	の必要性	及び執行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な執				
			所見	見を踏ま	えた改善点/概算	要求にお	ける反映	央状況				
	現 状 ど お り											
					Ht -t+							
					備考							
				関連す	る過去のレビュー	ーシートの	事業番	号				
	平成	22年	295		平成23年	147		平成24年 119				

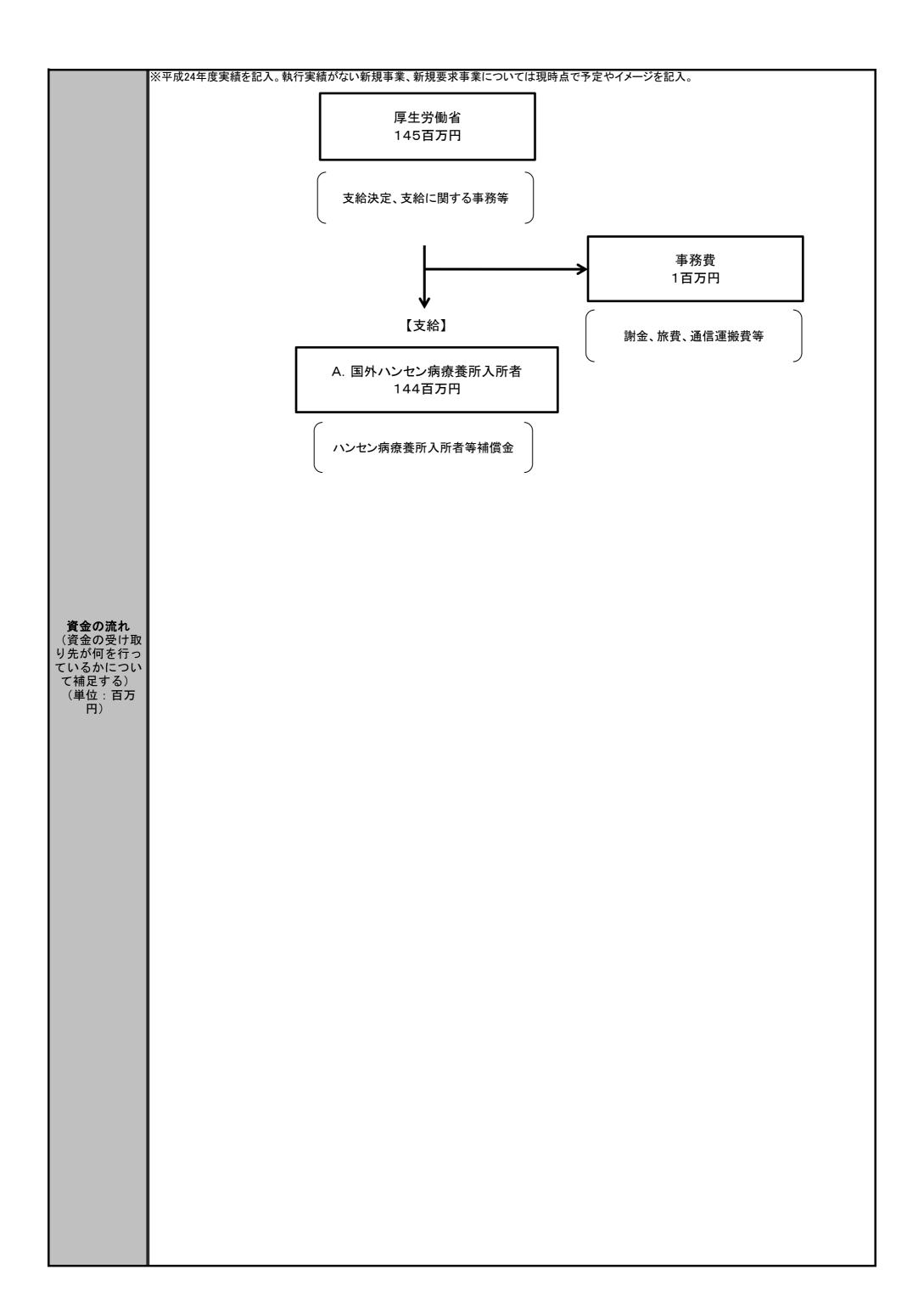
※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。 厚生労働省 35百万円 和解一時金の支給 【支給】 A. らい予防法違憲国家賠償請求訴訟原 告 35百万円 基本合意書に基づく和解一時金 **資金の流れ** (資金の受け取 り先が何を行っ ているかについ て補足する) (単位:百万 円)

	A. らい	· 予防法違憲国家賠償請求訴訟	原告		E.	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	賠償償還及払戻金	和解一時金	35			(
	計		35	計		0
		В.			F.	
	費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
費目∙使途						
(「資金の流れ」に おいてブロックご						
とに最大の金額が支出されている						
費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使が 分かるように記 載)						
の双方で実情が						
載)	=1			=1		
	計	2	0	計		0
	# 0	C.	金 額	# 5	G.	金 額
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	計		0	計		0
		D.			H.	
	費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
	計		0	計		0

A.					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	らい予防法違憲国家賠償請求訴訟原告	基本合意書にもとづく和解一時金を支給	35		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

						平成25	年彳	亍政事	業レヒ	ヹュ.	ーシート	•	(厚生	上労働	動省)	
	事業名	名 ハンセン病療養所入所者等補償金						担当部	吊庁		1	建康局		作	成責任者	
	業開始 • (予定)年度			平成1	3年度			担当	課室		疾织	方 対策課			病対策課 原 克志	
ź	会計区分			一般	会計			政策•	施策名	I		治療方法が確立 ら防・治療等を				
(艮拠法令 具体的な 項も記載)			_	-			関係する計画、								
(目	業の目的 指す姿を簡 。3行程度以 内)	国夕	トハンセン	ノ病療養所 元	. 入所	者がこれまで被	せった	精神的苦	痛を慰	t謝す [》]	るため、対象	象者に支給。				
(5行	事 業概要 程度以内。 引添可)				者がこれまで被 な正する法律」に							所入所者	等(こ)	対する補償金		
ᢖ	尾施方法	■直接	妾実施	□委託・	請負	口補助		口負担		交付	口貸付	け 口その	他			
						22年度		23年度			24年度	25年	度	2	6年度要求	
		当初予算			585		585			561	20	l	201			
3	2.管姑.	予算の状	補工	E予算												
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		況	繰起	越し等												
(単				計		585		585			561	20	I		201	
			執行	額		305		585			145					
			執行率	(%)		52.1		100			25.8					
		成果指標							単位		22年度	23年度	24年	度	目標値 (年度)	
		ハンセン病の入所者等に対して、隔離による被害、差別・偏見による精神的損害等を慰謝する。					差	成果実績			-	_	_		-	
) , MIII	1561 -01 61	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	C /6/1/			達成度	%		_	_	_			
ا ت جا	14 Iz z . 44-c			活動	指標				単位		22年度	23年度	24年	度	25年度活動見込	
	指標及び活動実績 ウトプット)	ハンセ	ヹン病入所	者等補償金の	の支給	者数		活動実績 (当初見込 み)	人		38	73	18)	_ ()	
単	·位当たり コスト			8, 055, 55	66(円.	/人)		算出根拠	145, (000, (000円 /1	8人 = 8,0	55, 556)	円(/,	L)	
	_	目		25年度当初	予算	26年度要求					主	な増減理由				
平成	諸謝金			0		0										
2 5	職員旅費			0		0										
2	委員等旅費			0		0										
6年度予	庁費 ハンセン病療養所	听入所者	等補償金	200		200										
予 算 内																
訳		計		201		201										

			事業所管部局に	こよる点を	美						
		項目			評価	評価に関する説明					
必費)ニーズがあるか。国費を投入しなけれ		0	ハンセン病療養所入所者等に対する補償金の支給等に関する法律に基づく ものであり、国費を投入すべき事業である。						
要投性入		体、民間等に委ねることができない事業	美なのか 。	0	ハンセン病療養所入所者等に対する補償金の支給等に関する法律に基づくものであり、国が実施すべき事業である。						
0		策目的(成果目標)の達成手段として位		_							
	競争性が	確保されているなど支出先の選定は妥	当か。	_							
-	受益者との	の負担関係は妥当であるか。		_							
事業	単位当たり	リコストの水準は妥当か。		_							
効率	資金の流	れの中間段階での支出は合理的なも <i>の</i>)となっているか。	_							
性	費目·使途	きが事業目的に即し真に必要なものに原	艮定されているか。			ハンセン病療養所入所者等に対する補償金の支給等に関する法律に基づく補償金の支給であり、事業目的に即したものである。					
	不用率が	大きい場合、その理由は妥当か。(理由	日を右に記載)		0	件数が当初の積算を下回ったことによるものである。					
事業		に当たって他の手段・方法等が考えられ 氐コストで実施できているか。	れる場合、それと比較してより	り効果的	_						
の有		は見込みに見合ったものであるか。			_						
効 性	<u></u> 整備され <i>†</i>	 :施設や成果物は十分に活用されてい	 るか。		_						
1-1-		業がある場合、他部局・他府省等と適切		١,							
重	(役割分担 事業番号	目の具体的な内容を各事業の右に記載 け │ 類似事業名) 	·部局名							
複排除		78.0.7.0.2									
ग्र											
点 検 結 果 ——	・本事業は めの補償: ・平成24 ⁴	金支給であり、適切に実施されている。	る補償金の支給等に関する流	去律に基っ 卒が低下し	がく、ハン も	セン病療養所入所者等の被った精神的苦痛を慰謝するた である。25年度予算については、執行状況を踏まえ、予					
			点検対象	之外							
			行政事業レビュー推議	進チームの	の所見						
		国外のハンセン病療養所入所者に対す 率的な執行となるよう努めるべき。	⁻ る補償金を支払うための経	き費であるカ	が、経費 <i>0</i>	D必要性及び執行の観点からも妥当であり、引き続き効					
	所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況										
	現状通り			_							
			関連する過去のレビュー		事業番号	₹					
	平	成22年 296	平成23年	148		平成24年 120					



	A	A.国外ハンセン病療養所入所者			E.		
	費 目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)	
	補償金	ハンセン病療養所入所者等補償金	144				
	計		144	計		0	
	ĀΙ	В.					
	費 目	使 途	金額	費 目	F. 使 途	金額	
	1月日	世 歴	(百万円)	1 日		(百万円)	
費目・使途 (「資金の流れ」に							
おいてブロックごとに最大の金額							
費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使が分かるように記載する。							
する。費目と使途の双方で実情が							
分かるように記載)							
+ */-/	計		0	計		0	
		C.			G.		
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)	
	計		0	 計		0	
		D.			H.	1	
	費 目	使 途	金額(百万円)		使 途	金額(百万円)	
			(875)			<u>(日の円)</u>	
	計		0	計		0	

A.					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国外ハンセン病療養所入所者	国外ハンセン病療養所入所者に補償金を支給	144		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成25年行政事業レビューシート(厚生労働省)														
1	事業名		国立ハンセン病療養所施設費				担当部局庁		医政局			作成責任者		
	事業開始・ 了(予定) 年度			昭和24年度~				担当	課室	国立病院課国立ハ	ンセン病療養所	管理室	^{管理室} 室長:鈴木鉄也	
会	計区分	一般会計						政策・施策名 I-5-2 治療方法が確立してし 等を充実させること				ハない特殊	いない特殊の疾病等の予防・治療	
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		・厚生労働省設置法(平成11年法律第97号)第16 ・ハンセン病問題の解決の促進に関する法律 (平成20年法律第82号)						・国立ハンセン病療養所における療養体制の 関係する計画、 通知等 ・国立ハンセン病療養所における療養体制の する決議(衆参) 衆議院における決議(平成21年7月9日) 参議院における決議(平成22年5月21日)					9日)	
			ハンセン病問題の解決の促進に関する法律(平成20年法律第82号)の趣旨を踏まえ、国立ハンセン病療養所における入所者の療養の 質の向上を図り、入所者が地域社会と共生しつつ、良好かつ平穏な療養生活を営むことができるようにすることを目的とする。											
(5行	程度以内。	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律(平成20年法律第82号)の趣旨を踏まえ、国立ハンセン病療養所における入所者の療 質の向上を図り、入所者が地域社会と共生しつつ、良好かつ平穏な療養生活を営むことができるよう、国立ハンセン病療養所の建物 の他の施設の整備を行う。												
実	施方法	■直	接実施	□委託▪	•請負 □補助		□負担 □3		交付 口貸	付 口そ	の他			
						22年度		23年度		24年度	25年	度	26年度要求	
				切予算	5,238		4,936		4,860		4,602		3,974	
平	首類 .	予算の状		E予算					169					
4	∳算額 • 執行額 位∶百万円)	況	操走 ————	越し等		2,065		;	372	▲ 366				
(単位				計	7,303		5,477		4,494		4,602		3,974	
			執行	額	6,961		5,272		4,102					
			執行率(%)		95.3%			96.3%		91.3%				
		成果排			指標				単位	22年度	23年度	24年	度	目標値(年度)
j	目標及び成 果実績 ウトカム)	国立ハンセン病療養所が施工する施設の整備の完了						成果実績	_	 ・不自由者棟更新築等整備(駿河療養所:平成22~23年度) ・給食棟更新築整備(邑久光明園:平成22~23年度) ・防災対策整備(星塚敬愛園:平成22~23年度) ・一般寮更新築整備(多磨全生園:平成23~24年度) ・居住者棟更新築整備(大島青松園:平成23~24年度) など、13園の整備 			_	
								達成度	%	_	_			
		活動指標 活動指標 国立ハンセン病療養所が施工する施設の整備							単位	22年度	23年度	24年	度	25年度活動見込
1	指標及び活 動実績 ウトプット)							活動実績 (当初見 込み)	園	13	13	13		13
										(13)	(13)	(13)	(13)
単位当たり コスト		— (F)		算出根拠		-				
		目			予算	26年度要求				主	は増減理由			
平成	旅費 事務費 施設費				7		7							
2 5					320 320									
2				4,275 3647 整		7 整 _	整備対象の減							
6														
年度予								 -						
算内														
訳		<u>=</u> + 4,602 3,974					4							

事業所管部局による点検											
			項目			評価	評価に関する説明				
国	広く国民の)ニーズがあ	るか。国費を投入しなけれ	れば事業目的が達成でき	きないのか。	0	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律(平成20年法律第82号)第7条において、「国は、国立ハンセン病療養所において、入所者に対して、必要な療養を行うものとする。」と規定されている。				
必費 要投 性入		体、民間等に	委ねることができない事	業なのか。	0	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律(平成20年法律第82号)第7条において、「国は、国立ハンセン病療養所において、入所者に対して、必要な療養を行うものとする。」と規定されている。					
の	明確な政策なっている		目標)の達成手段として(立置付けられ、優先度の	0	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律(平成20年法律第82号)第7条において、「国は、国立ハンセン病療養所において、入所者に対して、必要な療養を行うものとする。」と規定されている。					
	競争性が	確保されてい	るなど支出先の選定は	妥当か。	0	会計法(昭和22年法律第35号)等の法令に基づき、競争性を確保 した契約を行っている。					
事業	受益者との	の負担関係は	な妥当であるか。		0	入所者の療養に要する費用については無料とされているなど、入所者との負担関係は妥当である。					
効	単位当たり	リコストの水準	準は妥当か。		_	-					
率性	資金の流	れの中間段階	皆での支出は合理的なも	のとなっているか。		_	-				
1	————— 費目 • 使途	が事業目的	に即し真に必要なものに	 限定されているか。		0	事業計画を確認し、真に必要なものに限定した整備を行っている。				
			その理由は妥当か。(理			_	_				
事			の手段・方法等が考えら		てより効果						
業の			実施できているか。			_	-				
有	活動実績	は見込みに見	見合ったものであるか。			_	-				
効 性	整備され <i>t</i>	:施設や成果	物は十分に活用されてい	いるか。		0	国立療養所の入所者に対して必要な療養を行ううえで、十分に活用されている。				
			a、他部局・他府省等と適 内容を各事業の右に記載		いるか。	_					
重複	事業番号		類似事業名		省·部局名						
複排除											
lear.											
点 検結果	しなけれる 当該事業の	t事業目的は の実施にか <i>t</i>	:達せられない)。				を地方公共団体等に委ねることはできない(国費を投入 限定し執行しており、また、整備された施設は十分に活用				
				外部有識	者の所見						
点検	点検対象外										
				行政事業レビュー	推進チーム	の所見					
	現 状 国立ハンセン病療養所施設費については、ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に規定する入所者の療養環境改善等のための施 通 設整備のための経費であり、必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。 り										
	 所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況										
	現 状 通 り										
	通り										
				備	j考						
	ਜ	成22年	1675	関連する過去のレビュ)事業番·					
	Ψ.	成22年	575	平成23年	524		平成24年 464				

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。 厚生労働省 4, 102百万円 A.国立ハンセン病療養所(13施設) 4, 102百万 円 入所者の良好かつ平穏な療養・生活環境の確保 を図るため、国立ハンセン病療養所の建物、その他の施設の整備を行う。 資金の流れ (資金の受け取 り先が何を行っているかについて補足する) (単位:百万 円)

A.国立療養所菊池恵楓園 E. 金額 金額 費目 使 途 費目 使 途 (百万円) (百万円) 施設整備費建物、その他の施設の整備費 663 施設施工庁費 設計費、工事事務費、工事監理費 等 53 0 計 716 計 B. F. 金額 (百万円) 金 額 (百万円) 使 途 費目 費目 使 途 費目•使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 をに取入の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載) 計 0 計 0 G. C. 金 額 (百万円) 金 額 (百万円) 使 途 使 途 費目 費目 0 0 計 計 D. Н. 金 額 (百万円) 金 額 (百万円) 費目 使 途 費目 使 途 計 計

支出先上位10者リスト <u>A</u>

A.	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	佐藤工業(株)	第四センター整備その他工事(建築)	447	3	93.2%
2	新熊本電気設備(株)	第四センター整備その他工事(電気)	123	3	59.8%
3	ダイダン(株)	第四センター整備その他工事(機械)	88	3	76.3%
1	(株)梓設計九州支社	第四センター整備その他工事実施設計	47	2	99.3%
4	(作り作品を行うしが、文化	計画通知申請料	0	随意契約	
5	(有)藤電気	テレビ放送設備整備工事	5	1	97.5%
6	(株)NTTファシリティーズ	電気設備現況調査	1	随意契約	
O	(作作)NTTファフリティース	園内道路等整備工事実務設計	1	随意契約	
7	株)マック	低圧非常用発電機更新整備工事実施設計	1	随意契約	
8	有)円測量設計社	物品販売棟周辺求積等	1	随意契約	
9	有)コピント新星	印刷製本	0	随意契約	
10	(株)KOGAMIビジュアルコミュニケーションズ	園内現況記録用写真撮影	0	随意契約	

						平成25	年行	亍政事	集レビ	ューシート	•	(厚生	上労化	動省)
4	事業名		国	立ハンセン症	療養院	听運営費		担当部	『局庁		医政局		作	成責任者
	業開始 • 予定)年度			昭和5年	∓度~			担当	課室	国立病院課国立	ハンセン病療養所	管理室	室長	:鈴木鉄也
会	計区分			一般:	会計			政策・	施策名	I-5-2 治療を充実させること		いない特殊の	疾病等	の予防・治療等
(]	拠法令 具体的な 頁も記載)	・ハン・	セン病問	置法(平成1 題の解決の仮 律第82号)		律第97号)第1 関する法律	6条	関係する通知			水病療養所にお おける決議(平 おける決議(平	^Z 成21年	7月9	日)
(自扌										旨を踏まえ、国立 E営むことができ				者の療養の質
(5行	業概要 程度以内。 添可)									音を踏まえ、国立 を営むことができん				
実	施方法 ————	■直接	美実施	□委託・	請負	□補助 		□負担 	口交		寸 ロその 	D他 ————		
						22年度		23年度	704	24年度	25年		2	6年度要求
		マタ		切予算 エヌ笛		11,073		10,	764	10,792	!	10,676	10,897	
予	算額•	予算の状		E予算										
執行	执行額 並:百万円)	況	一	返し等 								10.070		12.22
\ .	2. [[75]]/			計		11,073			764	10,792		10,676		10,897
		執行額				10,888		10,	413	10,402	!			
		執行率(%)				98.3%		96	6.7%	96.4%	i			
				成果	指標				単位	22年度	23年度	24年	度	目標値(年度)
5	目標及び成 果実績 ウトカム)	国立ハンセン病療養所運営費の事業目的を果たすために必要な 員(定員)の確保						成果実績	人	2,950	2,931	2,91	2	_
		貝 (足 男	[/ 0 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1						%	_	_	–		
				活動	指標				単位	22年度	23年度	24年	度	25年度活動見込
1	指標及び活 効実績 フトプット)	必要な耳	哉員を確保	するための募集	活動を実	€施		活動実績(当初見込	園	13	13	13		13
								み)			(13)	(13)	(13)
	位当たり コスト		_		(円/)		算出根拠						
		目		25年度当初	予算	26年度要求				主	な増減理由			
平成		射金			139	1	39							
2 5		旅費			26		24 記	念行事出	常旅費の	減				
2		件費等			7,321	7,5	71 医	療提供体質	制の充実	に必要な経費の	増			
6	医療機	器整備	費		545	5	45							
年 度 予	医薬品	等購力	費		1,612	1,5	99人	所者数の	減に伴う(吏用数量の減				
算	食	糧費			686	6	72 入	所者数の	減に伴う値	吏用数量の減				
内訳	7	その他			347	3	47							
		計		1	0,676	10,8	97							

	事業所管部局による点検											
			項目			評価	評価に関する説明					
国		ニーズがある	らか。国費を投入しなけれ	ば事業目的が達成できない	いのか。	0	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律(平成20年法律第82号)第7条において、「国は、国立ハンセン病療養所において、入所者に対して、必要な療養を行うものとする。」と規定されている。					
国 費 要 性 入	地方自治体	、民間等に	委ねることができない事業	なのか。		0	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律(平成20年法律第82号)第7条において、「国は、国立ハンセン病療養所において、入所者に対して、必要な療養を行うものとする。」と規定されている。					
O	明確な政策なっている		目標)の達成手段として位	置付けられ、優先度の高い	事業と	0	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律(平成20年法律第82号)第7条において、「国は、国立ハンセン病療養所において、入所者に対して、必要な療養を行うものとする。」と規定されている。					
	競争性が研	笙保されてい	るなど支出先の選定は妥善	当か。		0	会計法(昭和22年法律第35号)等の法令に基づき、競争性を確保 した契約を行っている。					
事業	受益者との	負担関係は	妥当であるか。			0	入所者の療養に要する費用については無料とされているなど、入所者との負担関係は妥当である。					
の効	単位当たり	コストの水準	は妥当か。			_	-					
率性	資金の流れ	の中間段階	での支出は合理的なもの	となっているか。		_	-					
	費目•使途	が事業目的に	こ即し真に必要なものに限	足されているか。		0	事業の目的に即し、真に必要なものに限定した執行を行っている。					
	不用率がオ	てきい場合、				_	-					
事				しる場合、それと比較してよ	り効果的		_					
業の			できているか。 									
有効			合ったものであるか。	7.1.			- 国立療養所の入所者に対して必要な療養を行ううえで、十分に活用					
性			物は十分に活用されている			0	されている。					
重			、他部局・他府省寺と週り 内容を各事業の右に記載)]な役割分担を行っているカ),°	_						
複排	事業番号		類似事業名	所管府省·	•部局名		_					
除												
点検結果	ければ事業 当該事業0	美目的は達せ	られない)。 る費用については、費目 ^り				地方公共団体等に委ねることはできない(国費を投入しなましまでは、また、成果物は十分に活用していることはできない。また、成果物は十分に活用していることを表現します。					
					の所見							
点検	対象外											
				行政事業レビュー推	進チームの	の所見						
							去律に規定する入所者の良好かつ平穏な療養・生活環境 :から、引き続き効率的な執行に努めるべき。					
	i		所見	を踏まえた改善点/概算	要求にお	ける反明	央状況					
	現											
	状				_							
	状 通 り											
				備考								
				関連する過去のレビュー	ーシートの	事業番	号					
	平月	成22年	576	平成23年	525		平成24年 465					

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。 厚生労働省 10,792百万円 A.国立ハンセン病療養所(13施設) 10,792百万 入所者の良好かつ平穏な療養・生活環境の確保を 図るため、国立ハンセン病療養所の運営を行う。 B.国立療養所菊池恵楓園(支出第1位) 1,238百 万円 入所者の良好かつ平穏な療養・生活環境の確保を 図るため、国立ハンセン病療養所の運営を行う。 資金の流れ (資金の受け取 ているかについ て補足する) (単位:百万 円)

A.国立ハンセン病療養所 E. 金額 金額 費目 使 途 費目 使 途 (百万円) (百万円) 諸謝金、入所者作業謝金 人件費 152 職員旅費、委員等旅費、生徒旅費、入所者 旅費 17 転送旅費 物件費等 庁費、入所者療養諸費、船舶運航費 7,205 医療機器整備費 医療機器整備費 494 医薬品等購入費 医薬品等購入費 1,509 食糧費 入所者食糧費、患者食糧費 726 土地建物借料土地建物借料 2 その他 入所者給与金 296 0 計 10,401 計 B.国立療養所菊池恵楓園 F. 金額 費目 使 途 費目 使 途 (百万円) (百万円) 人件費 諸謝金、入所者作業謝金 8 職員旅費、委員等旅費 2 旅費 物件費等 入所者療養諸費 791 費目•使途 (「資金の流れ」においてブロックご 医療機器整備費医療機器整備費 90 医薬品等購入費 医薬品等購入費 195 とに最大の金額 が支出されている 食糧費 123 入所者食糧費 者について記載 する。費目と使途 その他 29 入所者給与金 の双方で実情が 分かるように記 載) 計 1,238 計 0 C. G. 金額 金額 使 途 使 途 費目 費目 (百万円) (百万円) 0 0 計 計 D. Н. 金額 金額 使 途 使 途 費目 費目 (百万円) (百万円) 0 計 0

支出先上位10者リスト A._

	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立療養所菊池恵楓園	入所者の良好かつ平穏な療養・生活環境の確保を図るため、国立ハンセン病療養所の運営を行う。	1238		
2	国立療養所多磨全生園	入所者の良好かつ平穏な療養・生活環境の確保を図るため、国立ハンセン病療養所の運営を行う。	1181		
3	国立療養所長島愛生園	入所者の良好かつ平穏な療養・生活環境の確保を図るため、国立ハンセン病療養所の運営を行う。	1110		
4	国立療養所邑久光明園	入所者の良好かつ平穏な療養・生活環境の確保を図るため、国立ハンセン病療養所の運営を行う。	1018		
5	国立療養所沖縄愛楽園	入所者の良好かつ平穏な療養・生活環境の確保を図るため、国立ハンセン病療養所の運営を行う。	985		
6	国立療養所星塚敬愛園	入所者の良好かつ平穏な療養・生活環境の確保を図るため、国立ハンセン病療養所の運営を行う。	927		
7	国立療養所大島青松園	入所者の良好かつ平穏な療養・生活環境の確保を図るため、国立ハンセン病療養所の運営を行う。	739		
8	国立療養所松丘保養園	入所者の良好かつ平穏な療養・生活環境の確保を図るため、国立ハンセン病療養所の運営を行う。	763		
9	国立療養所東北新生園	入所者の良好かつ平穏な療養・生活環境の確保を図るため、国立ハンセン病療養所の運営を行う。	617		
10	国立療養所栗生楽泉園	入所者の良好かつ平穏な療養・生活環境の確保を図るため、国立ハンセン病療養所の運営を行う。	611		

В.

	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有)吉田商店	入所者食糧品購入	369	3	92%
2	九州電力(株)	電気供給	65	随意契約	100%
3	(株)アステム	医薬品等購入	56	12	99%
4	吉村商事(株)	A重油購入	54	8	97%
5	(株)八尾日新堂	医療用消耗品等購入	50	10	99%
6	正晃(株)熊本営業所	臨床検査システム購入	46	2	98%
7	富田薬品(株)熊本支店	医薬品等購入	24	12	99%
8	(株)日立メディコ	デジタル式X線透視診断装置購入	20	2	83%
9	(株)Misumi	A重油購入	20	8	98%
10	(株)新生堂	医薬品等購入	17	12	99%

						平成25:	年行	亍政事 簿	とし じょうしょう しょうしょう しょうしょ しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく し	ニューシート		(厚生	上労信	動省)
1	事業名	HIV診療支援ネットワークシステム運営事業						担当部	『局庁		康局		作	成責任者
	業開始・ (予定)年度			平成2	2年度			担当	課室		対策課		田	对策課長 原 克志
会	計区分			一般:	会計			政策・	施策名		â療方法が確♪ 防・治療等を			殊の疾病等の <u>-</u>
[]	拠法令 具体的な 頃も記載)			及び感染症の 0年法律第11		こ対する医療に関 第11条	す	関係する通知		「後天性免疫不平成24年厚生」			定感染	·症予防指針」
(目:	業の目的 指す姿を簡 3行程度以 内)				機関に	おける診療情報	等を	・ネットワー	ークで共	有、集積し、HIV原	感染者及びエ	イズ患者	に対す	する治療・相
(5行	≇概要 程度以内。 Ⅰ添可)									間のネットワーク ⁻ −ス化し、共有する		· ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	エイズ	患者(以下
美	施方法	■直持	妾実施	□委託・	請負	□補助 		□負担	口交	₹付 □貸付	□その	他		
					22年度		23年度		24年度	25年)	度	2	6年度要求	
		2 th		切予算		60	24			23	23		23	
	·算額 ·	予算の状		E予算 ····································										
第 (単化	执行額 位:百万円)	況		返し等 -		20		24			23			
				計		60		24		23	23			23
			執行			58		23		23				
		執行率(%)				96.7%		95.8%		100.0%				目標値
		成果指標							単位	22年度	23年度	24年	度 ———	(年度)
اِ	目標及び成 果実績 ウトカム)	定量的な成果目標の設定は困難であるが、HIV感染者 やエイズ患者の状況、服薬記録等の診療情報を集計・ データベース化し共有することで、HIV感染者・エイズ患					+•	成果実績	-	-	-	-		-
						標としている。	· 近、	達成度	%	-	-	-		
				活動	指標				単位	22年度	23年度	24年	度	25年度活動見込
Į	指標及び活 動実績 ウトプット)	エイズ	ブロック払	1.点病院にお	けるシ	ステム利用カ所数	₫	活動実績	力所	10	10	10		_
								(当初見込み)		(10)	(10)	(10))	(-)
	位当たり コスト			2,322,200(円/カ]所)		算出根拠		23,222千円 /	10拠点病院	完 = 2,3	322. 2 [.]	千円
	費	目		25年度当初	予算	26年度要求				主な	增減理由			
成25・26年	社会保障関係	情報化	之業務庁費 	23		23								
度予算内訳		計		23		23								

	事業所管部局による点検										
	項目		評価	評価に関する説明							
	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的だ	が達成できないのか。	0	未だ根本的な治療法が見つかっていないHIV/エイズについては、感染者・患者の健康状況、治療状況を分析し、治療法の開発を含む医療の向上を図ることが重要であり、国民のニーズが高い。							
国 費 投入の	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		0	HIV感染者・エイズ患者の健康状況や診療記録を収集・分析し、還元することにより、全国のHIV医療水準の向上を図るための事業であることから、地方自治体等には委ねることができない。							
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、なっているか。	優先度の高い事業と	0	HIV/エイズ患者の健康・治療状況を分析し、医療水準の向上を図るため、優先度の高い事業となっている。							
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		0	一般競争入札により選定							
	受益者との負担関係は妥当であるか。		_								
事業	単位当たりコストの水準は妥当か。		_								
の	 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっている	 か。	<u> </u>								
効 率 性	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されている	ა ბაზი	0	感染者・患者の健康状況や診療記録等を収集・分析するためのシステムの運用・保守のために支出しており、 真に必要なものに限定されている。							
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		_								
事業	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それ あるいは低コストで実施できているか。	いと比較してより効果は	的								
の有	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		_								
効	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		<u> </u>								
性	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担	 を行っているか。									
重	(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)										
複排	事業番号 類似事業名	所管府省•部局名	í								
除											
点検結果	点検項目における評価はおおむね妥当であり、平成24年度は ころである。また、エイズ医療の水準の向上に寄与していること に実施する必要がある。										
		外部有識者の所見	<u>Į</u>								
		点検対象外									
		ドレビュー推進チー	ムの所見								
	現状 エイズ治療・研究開発センター(ACC)及びブロック拠通 めの経費であるが、経費の必要性及び執行の観点かり			-クで共有・集積することにより、HIV医療の向上を図るた]な執行となるよう努めるべき。							
	 	改善点/概算要求に	こおける反映	央状況							
	TB										
	現 状 通 り	_									
	通 り	_									
		備考									
	関連する過	去のレビューシート	の事業番	号							
	平成22年 - 平月	成23年 0854		平成24年 0742							

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。 厚生労働省 【一般競争入札】 A.東芝ソリューション株式会社 23百万円 ・HIV診療支援ネットワークシステム運用・保守 **資金の流れ** (資金の受け取 り先が何を行っ ているかについ て補足する) (単位:百万 円)

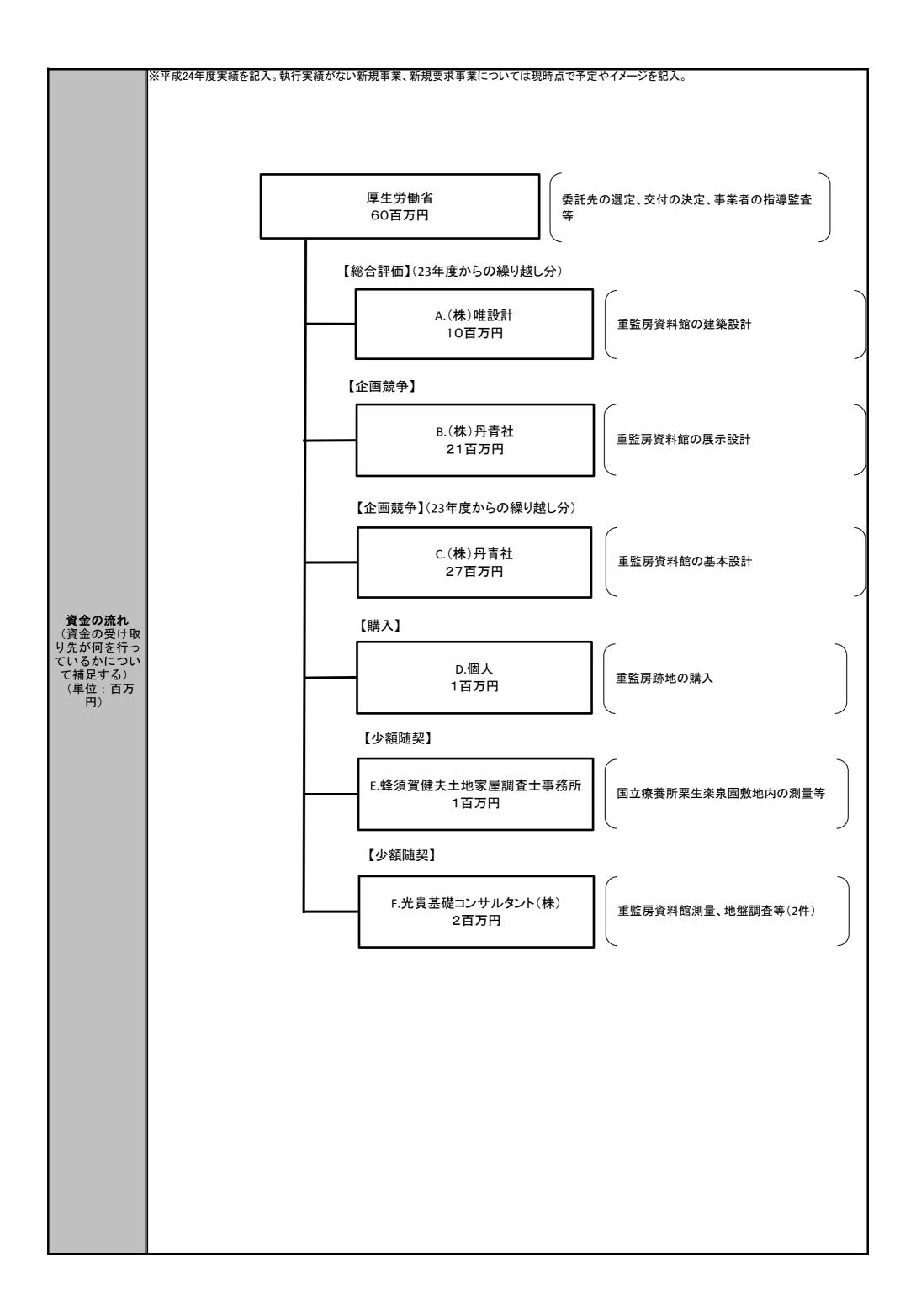
		A.東芝ソリューション			E.	
	費 目	使 途	金額 (百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)
	庁費	システム運用・保守	23			
	計		23	計		0
		B.			F.	
	費 目	使 途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)
			(17313)			(1731 17
費目∙使途						
(「資金の流れ」に おいてブロックご						
とに最大の金額 が支出されている						
費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使が 分かるように記 載)						
の双方で実情が 分かるように記						
載)	計		0	 計		0
		C.			G.	
	費 目	使 途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)
			(17511)			(0,011)
	計		0	計		0
	H1	D.		H.	H.	1
	費目	使 途	金額(百万円)			金額(百万円)
	<u></u>					
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト A.

支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
東芝ソリューション株式会社	HIV診療支援ネットワークシステムの運用・保守	23	1	100%

					<u> ドル25</u>	<u>年</u> 个	丁政争	業レビ	<u> ニュ</u>	<u> </u>	•	(厚生	<u> </u>	動省)
事	業名	五	史的建造物等	条保存等網	经費		担当部	部局庁		1	建康局		作	戓責任者
事》 終了(業開始・ 予定)年度		平成23	年度			担当	課室			病対策課		田	病対策課 亰 克志
会	計区分		一般会	計			政策•	施策名			治療方法が確፯ ラ防・治療等を			
(具	拠法令 具体的な ほも記載)	ハンセン病問	題の解決の仮	産進に関す	トる法律第18	3条	関係する通知	5計画、 3計画、 31等			-	_		
事業 (目指 潔に。		「ハンセン病限 び名誉回復に必				条」に	基づき、/	ハンセン	病及	及びハンセン病	対策の歴史に関	目する正し	い知識	の普及啓発及
(5行和別)	業概要 程度以内。 添可)	歴史に関する普	÷及啓発事業σ)一環とし	て、「重監房	資 料 飽	官」を建設	する。			するなど、ハン		ゾハン -	セン病対策の
	施方法 ————	□直接実施	■委託・請	青負 	□補助 		□負担 		交付 ——	□ □貸付	す □その)他 ————		
	予算額 • 執行額 ^(単位∶百万円)	予算 補:	:		22年度		23年度 49			24年度 228		360		137
封		の状況操	越し等				△ 47			△ 156	203	203		
(単位			計				2			72	563	3		137
		執行	額				1			60				
		執行率	(%)				50			83.3				
ß == -	- !		成果排				単位		22年度	23年度	24年	度	目標値 (年度)	
果	目標及び成 具実績 ウトカム)	重監房資料館でしい知識の普及				る正	成果実績	%		-		_		
			活動指	 旨標			EIXIX	単位		22年度		24年	度	25年度活動見込
	標及び活													
	カ実績 フトプット)	 重監房資料館	を整備する。				活動実績			_	基本計画の策定	建築設計及び	展示設計	_
							(当初見込み)				()	()	(建築工事及び展示制作)
	立当たり コスト	_	(円/)		算出根拠	資料館	の整	・	、単位当たりコス	くとは馴染	まない	o
स्त		目	25年度当初予	多 算 2	26年度要求					主	な増減理由			
成	施設施行旅費 在記載供费		0		0		ᄠᆖᇩᆒ	&±	#/ -	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ᆂᄧᆕᇠᇣᇰᄹ	1 = /22=	· ctr +c +i	=\
5	施設整備費 		360		37			—.			重監房跡地の保			元 <i>)</i>
2	心 化		0		37	/ ` `.	ノセノ柄り	夏不 升8日4)	〈戚』	甲、里缸房奶机	他の保存のための	刀調宜 □ 設	ζĒΤ	
6 年 -						_								
度 予 算 内						_								
算内														
訳_		計	360		137									

				事業所管部局	による点核	È						
			項目			評価	評価に関する説明					
国	広く国民の	のニーズがある	か。国費を投入しなければ	事業目的が達成できなし	いのか。	0	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づくものであり、国費を投入 すべき事業である。					
少 賀 要 投	地方自治	体、民間等にす	をねることができない事業な	でのか。		0	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づくもので あり、国が実施すべき事業である。					
性入の		策目的(成果目	標)の達成手段として位置		・事業と	_	の人目が失肥うですれてめる。					
	競争性が	確保されている	など支出先の選定は妥当	か。		0	総合評価入札などで競争性を確保している。					
事	受益者と	の負担関係は多	妥当であるか。			_						
業の	単位当た	りコストの水準	は妥当か。			_						
効率	資金の流	れの中間段階	での支出は合理的なものと	なっているか。		_						
# / -	費目·使i	金が事業目的に	即し真に必要なものに限る	されているか 。		0	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づく普及啓発及び 名誉回復に必要な施設整備に係る経費に限定している。					
	不用率が	大きい場合、そ	の理由は妥当か。(理由を	右に記載)		-						
		に当たって他の低コストで実施)手段・方法等が考えられる できているか。	る場合、それと比較してよ	り効果的	_						
の有	活動実績	は見込みに見る	合ったものであるか。			_						
効性	整備され	た施設や成果物	勿は十分に活用されている	か。		_						
			他部局・他府省等と適切な 日容を各事業の右に記載)	な 役割分担を行っている た	יי [°]	_						
重複	事業番号		類似事業名	所管府省	-部局名							
排除		-										
际												
検	・ハンセン病問題の解決の促進に関する法律によれば、国の隔離政策に起因してハンセン病の患者であった者等が受けた身体及び財産に係る被害その他社会生活全般にわたる被害の回復には、未解決の問題が多く残されているとされており、ハンセン病の患者であった者等に対する偏見と差別のない社会の実現に向けて、真摯に取り組むこととされている。 ・本事業は、ハンセン病問題の解決の促進に関する法律第18条の規程に基づく、ハンセン病及びハンセン病対策の歴史に関する知識の普及啓発及びハンセン病の患者であった方々の名誉回復を図るために必要な施設を整備するものであり、引き続き実施する必要がある。 ・平成24年度は、基本計画の策定(企画競争落札方式)、建築設計(総合評価落札方式)及び展示の設計(企画競争落札方式)を行ったところであり、効率的な執行が図られた。25年度は建築工事及び展示の制作を行っているところであり、引き続き効率的な執行に取り組んでいく。											
				外部有識者	の所見							
				点検対象								
				行政事業レビュー推	進チームの	の所見						
			歴史の普及啓発や患者等 <i>0</i> 当であり、引き続き効率的な			料館」を	建設するための経費であるが、経費の必要性及び執行の					
			所見を	踏まえた改善点/概算	要求にお	ける反明	央状況					
	т											
	現 状 通 り				_							
	理 り											
				一								
				見連する過去のレビュー	ーシートの	事業番号	号					
\overline{Z}	म	成22年	_	平成23年	新23-015		平成24年 861					



		A.(株)唯設計		E.蜂	須賀健夫土地家屋調査士事務	所
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	施設施工庁費	重監房資料館の建築設計	10	施設施工庁費	国立療養所栗生楽泉園敷地内の測量等	1
	計		10	計		1
		B.(株)丹青社			 F.光貴基礎コンサルタント(株)	
	費 目	使 途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)
	施設施工庁費	重監房資料館の展示設計	21	施設施工庁費	重監房資料館測量、地盤調査等	2
費目∙使途						
(「資金の流れ」においてブロックご						
とに最大の金額 が支出されている						
者について記載する。費目と使途						
の双方で実情が分かるように記						
載)	計		21	計		2
	н	 C.(株)丹青社		н	G.	
	費 目	使途	金額	費 目		金額(百万円)
		重監房資料館の基本設計	(百万円)			(白万円)
	=1		0.7	=1		
	計	D/IEI	27	計		0
	費 目	D.個人 使 途	金額	費目	H. 使 途	金額
		<u>医院</u> 重監房跡地の購入	<u>(百万円)</u> 1	具 口	区 迩	(百万円)
	1 刈江州八貝		'			
	計		1	計		0

支出先上位10者リスト

A.				
支 出 先	業務概要	支出額(百万円)	入札者数	落札率
1 (株)唯設計	重監房資料館の建築設計	10	4	49.3
В.				
支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1 (株)丹青社	重監房資料館の展示設計	21	随意契約	
C				
支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1 (株)丹青社	重監房資料館の基本設計	27	随意契約	
D.				
支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1 個人	重監房跡地の購入	1	随意契約	
E				
支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1 蜂須賀健夫土地家屋調査士事務所	国立療養所栗生楽泉園敷地内の測量等	1	随意契約	
支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1 光貴基礎コンサルタント(株)	重監房資料館測量、地盤調査等(2件)	2	随意契約	

				平成25	年行	<u> </u>	美レビ	「ューシート	<u> </u>	(厚生	上労化	動省)	
Ę	事業名	特		者支援等経費		担当部	邓局庁		健康局		作	成責任者	
	業開始・ (予定) 年度		平成23	3年度		担当	課室		病対策課		田	病対策課 原 克志	
会	計区分		一般:	会計		政策•	施策名		治療方法が確立 予防・治療等を				
(]	拠法令 具体的な 頃も記載)		_			関係する計画、 通知等 難病患者サポート事業の実施について 型的サポートを行う様々な事業を実施する。自立した患者団体の育成を目的に経営マネ							
(目抄	業の目的 指す姿を簡 3行程度以 内)			するための精神的、心 を実施し、患者の支援			行う様々	な事業を実施す	る。自立した患者	皆団体の育	育成を	目的に経営マネ	
(5行	· 業概要 程度以内。 添可)	②患者活動支护 国内研究会の ③調査・記録事	₹援ネットワー <u>?</u> 援事業)開催支援、ー ‡業	クの構築、患者相談事・般向けフォーラム等の を養経験をデータベー	の開催	支援、患者			5支援。				
実	施方法	□直接実施	■委託·詢	請負 口補助 ——————		口負担 ————	立立	を付 □貸付	付 □その	他			
		N/ ·	加叉笛	22年度		23年度		24年度	25年	度	2	26年度要求 	
			初予算			20	_	20	18			24	
	·算額 •	の状					_						
	执行額 位:百万円)	況 一〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇				20		20	20 18			24	
		執行額				20		20	10				
		執行率(%)			100%		100%						
						100%	 単位	22年度	23年度	24年	度	目標値	
成果	目標及び成	成果指標 				*B04	——	1/2	20 1 12	2.1	<i>'</i> ~	(年度)	
		患者団体の自3 の生活等の支持		援を行うことによる難り		成果実績 達成度	_ 	_	_			_	
						连队及		_	_				
汗動t	指標及び活		活動 [;] ————————————————————————————————————	指標 ————————			単位	22年度	23年度	24年	度 ———	25年度活動見込	
重	動実績					活動実績		_	_	_		_	
() (ウトプット)	難病の患者団の	本の育成			(当初見込み)	_	_	_	_		_	
	単位当たり ー(円/)					算出根拠			-				
		是 目	25年度当初						な増減理由				
平成25・26年度予算内訳	委	: 託費	18	24		業内容の多	花美強化	5007= 8 0					
内訳													
-		 計	18	24									

				事業所管部局	こよる点材	负	
			項目			評価	評価に関する説明
国	広く国民の	のニーズがある	か。国費を投入しなければ	ば事業目的が達成できない	いのか。	0	患者団体の資金力だけでは、事業目的を達成することは 困難なため、国費を投入していく必要がある。
	地方自治	体、民間等に勃	委ねることができない事業 が	なのか。		0	困難なため、国費を投入していく必要がある。 患者団体を支援する事業であり、国による実施が妥当で ある。
性入の	明確な政 なっている		目標)の達成手段として位置	置付けられ、優先度の高い	事業と	0	患者及び患者団体をサポートするための事業であり、優 先度は高い。
	競争性が	確保されている	るなど支出先の選定は妥当	áか 。		Δ	患者や患者団体の支援をするための事業であり、事業 内容も審査する必要があることから、公募としている。
事	受益者と	の負担関係は	妥当であるか。			_	_
業の	単位当た	りコストの水準	 は妥当か。			_	_
効	資金の流	 れの中間段階	での支出は合理的なものと	 となっているか。		_	_
率 性	費目•使達	金が事業目的に	こ即し真に必要なものに限	定されているか。		0	患者や患者団体支援に関する経費のみを委託費の対象 としており、真に必要なものに限定されている。
	不用率が	大きい場合、そ	その理由は妥当か。(理由を	を右に記載)		_	_
業		に当たって他の 低コストで実施	D手段・方法等が考えられ できているか。	る場合、それと比較してよ	り効果的	_	_
の有	活動実績	は見込みに見	合ったものであるか。			_	_
効性	整備され	た施設や成果物		か。		_	_
	類似の事	業がある場合、	、他部局・他府省等と適切	な役割分担を行っているか)\ ₀	_	
重複	事業番号		P容を各事業の右に記載) 類似事業名	所管府省	▪部局名		
排	7 111						_
除							
		やその家族等 していく必要が		に対して必要な委託費で	あり、平成	24年度に	こおいてもフォーラムの開催支援等をしてきたことから、今
				外部有識者	の所見		
				点検対象	象外		
				行政事業レビュー推	進チーム	の所見	
			間のネットワーク構築や研からも妥当であり、引き続き			ドその家 放	族への支援を行うための事業であるが、事業の必要性及
			所見?	を踏まえた改善点/概算	「要求にお	ける反映	吹 状況
	現 状 り				-		
				Htt.:-be			
				備考			
				関連する過去のレビュー	ーシートの	事業番号	号
\angle	4	成22年	163	平成23年	140		平成24年 113

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。 厚生労働省 20百万円 【公募·委託】 A 一般社団法人 日本難病·疾病団 体協議会 20百万円 •難病患者相談事業 ・患者支援ネットワーク事業 **資金の流れ** (資金の受け取 り先が何を行っ ているかについ て補足する) (単位:百万 円)

	A — 般 i	————————————————————————————————————	協議会		E.	
	費 目	使 途	金額(百万円)	費目	使途	金額
	謝金	企画・運営・評価委員等謝金	(百万円)	<u> </u>	区 还	(百万円)
	上 旅費	全国難病センター研究会委員等旅費	3			
	消耗品費	文具等	0.1			
	印刷製本費	ニューズレター等印刷製本費	2			
	通信運搬費	資料等発送費	0.2			
	借料•損料	全国難病センター研究会会場借料	3			
	賃金	相談員等賃金	10			
	│ │ │ │ │ │ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	患者交流会参加料等	10			
	計	志往又加云参加科寺	20	 計		0
	ĀΙ	В.	20	<u> </u>	F.	1 0
		1	金額	# 5	T	金額
	費 目	使 途	(百万円)	費目	使 途	(百万円)
費目・使途						
費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご						
とに最大の金額 が支出されている						
者について記載						
する。費目と使途の双方で実情が分かるように記						
載)				=1		
	計		0	<u>計</u>		0
		C.	金額		G.	工 全 頞
	費目	使 途	(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	<u></u>	使途	(百万円)	費 目	使 途	(百万円)
	質 目	使 途	(百万円)	費目	使途	(百万円)
	質 日	使途	(百万円)	費 目	使途	(百万円)
	質 目	使途	(百万円)	費目	使途	(百万円)
	質 目	使途	(百万円)	費 目	使途	(百万円)
	質 目	使途	(百万円)	費 目	使途	(百万円)
	質 日	使途	(百万円)	費 目	使途	(百万円)
		使途	(百万円)		使途	
	計		(百万円)	費目		(百万円)
		使途 D.	0	計	使 途 H.	0
			(百万円)			
	計	D.	0	計	H.	0
	計	D.	0	計	H.	0
	計	D.	0	計	H.	0
	計	D.	0	計	H.	0
	計	D.	0	計	H.	0
	計	D.	0	計	H.	0
	計	D.	0	計	H.	0
	計	D.	0	計	H.	0

支出先上位10者リスト A.

A.	支 出 先	業務概要 	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般社団法人 日本難病·疾病団体協議会	難病患者サポート事業の実施	20	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					_
10					

				平成25	5年1		業レヒ	<u> </u>	<u> </u>	(厚生	主労伯	動省)
	事業名	ħ	いらだの痛みれ	相談支援事業		担当部	吊庁		健康局			成責任者
	業開始 • (予定)年度		平成24	1年度		担当	課室		病対策課		田	病対策課 原 克志
会	会計区分		一般:	会計		政策・	施策名		治療方法が確 ³ 予防・治療等を			
(-	艮拠法令 具体的な 項も記載)		_			関係する通知			-	_		
(目		疼痛患者・患者 る現状を改善す		⇔窮状を訴えても医療	機関ヤ	や行政機関	から的値	確な診断や助言が	ヾ得られず、複数 	の機関に	たらい	回しにされてい
(5行 別 ———	事 業概要 ·程度以内。 ·判添可)	①痛みに関する ②痛みに関する ③医療従事者 (補助先:公募)	る電話相談 る普及啓発活動 への研修事業)								の事業	を行う。
美	€施方法	□直接実施	□委託・記			口負担		交付 口貸ſ 	-			
		N/	上口 マ 佐木	22年度		23年度		24年度	25年		2	26年度要求
			初予算 正予算		 		_	10	10		-	10
	5 算額 •	の状					_					
· (単·	執行額 位:百万円)				 			10	10	<u> </u>	10	
		執行額						7				
		執行率(%)						70				
		成果指標					単位	22年度	23年度	24年	度	目標値(年度)
;	'ウトカム)	その支援を行う	慢性の痛みを抱える患者又はその家族からの相 その支援を行うことにより、患者の痛みを軽減し			成果実績		_	_	_		-
		質を向上させる)。			達成度	%	_	_	_		
			活動	指標			単位	22年度	23年度	24年	度	25年度活動見込
1	指標及び活 動実績					活動実績		_	_	338	8	_
(ア	ウトプット)		電話相談	{実績数		(当初見込み)		_	(-)	(-)	(338)
	.位当たり コスト				算出根拠	単位当 [、] 万円)、	たりコストの算出に Yは上記活動指標	こおいて、Xは費 標の平成24年度	目·使途6 数(338件)	の相談)とする	· 員謝金(2. 6百)。	
_	費	世 目	25年度当初	予算 26年度要求				主	な増減理由			
平成 2 5 • 2	補助金		10	10								
6 年度予												
算内												
訳		計	10	10								

	1		険						
		項 目	評価	評価に関する説明 国民の多くが痛みを抱えているという報告もあり、広く国民の					
必費	 	Dニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。 	O	ニーズがある。					
要投	地方自治	体、民間等に委ねることができない事業なのか。	0	痛みに関する医療は十分に整備されていないため、国が主 体となって実施する必要がある。					
\mathbf{A}	明確な政なってい	策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業と るか。	_						
	競争性が	確保されているなど支出先の選定は妥当か。	0	支出先である法人は、慢性の痛みに関する知識を有してお り、支出先の選定は妥当である。					
事	受益者と	の負担関係は妥当であるか。	_						
業の	単位当た	りコストの水準は妥当か。	_	_					
効率	資金の流	れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	_	_					
性	費目•使:	金が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	0	費目・使途は事業目的に即している。					
	不用率か	大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	0	公募先の選定が遅延したため					
	あるいは	に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的 低コストで実施できているか。	0	慢性の痛みに関する医療経験を有する医師又は看護師を配置して実効性の高い手段となっている。					
有効		は見込みに見合ったものであるか。	_	_					
性		た施設や成果物は十分に活用されているか。	_	_					
重		業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 旦の具体的な内容を各事業の右に記載)	_						
複排	事業番-	景 類似事業名 所管府省·部局名	•						
除									
結 果 ——		験を有する医師又は看護師を配置し、患者や家族からの電話相談、一般向I 外部有識者の所見	707-136-	- 宋、区凉促事名问(7 0 0 m) 图 2 2 天池 7 0 。					
引き約	売き適切转	引き続き適切執行に努めること。(長崎、井出)							
		ᄼᅩᇎᆂᆇᇿᅷ ᄽ	Λ₹B						
	現 状	行政事業レビュー推進チーム	の所見						
	現 状 り	行政事業レビュ一推進チーム 慢性の痛みを有する患者が適切な診断・助言を得られるよう、相談窓口の設 行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な執行となるよう努めるべき。		会、普及啓発を行う事業であるが、事業の必要性及び執					
	通 り	慢性の痛みを有する患者が適切な診断・助言を得られるよう、相談窓口の認	と置や研修						
	,	慢性の痛みを有する患者が適切な診断・助言を得られるよう、相談窓口の設 行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な執行となるよう努めるべき。	と置や研修						
	通り 現状通り	慢性の痛みを有する患者が適切な診断・助言を得られるよう、相談窓口の設 行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な執行となるよう努めるべき。	と置や研修						
	,	慢性の痛みを有する患者が適切な診断・助言を得られるよう、相談窓口の設行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な執行となるよう努めるべき。 所見を踏まえた改善点/概算要求に -	と置や研修						
	,	慢性の痛みを有する患者が適切な診断・助言を得られるよう、相談窓口の設 行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な執行となるよう努めるべき。	と置や研修						
	,	慢性の痛みを有する患者が適切な診断・助言を得られるよう、相談窓口の設行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な執行となるよう努めるべき。 所見を踏まえた改善点/概算要求に - 備考	と置や研修						
	,	慢性の痛みを有する患者が適切な診断・助言を得られるよう、相談窓口の設行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な執行となるよう努めるべき。 所見を踏まえた改善点/概算要求に - 備考	さける反明	块状況					

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。 厚生労働省 7百万円 交付申請書の内容審査、交付決定、補助事業者の指導監督等 【補助】 A. 特定非営利活動法人 いたみ医学研究情報センター 7百万円 ①相談事業 ②普及啓発事業 ③医療従事者向け研修事業 **資金の流れ** (資金の受け取 り先が何を行っ ているかについ て補足する) (単位:百万 円)

	A.特定非営	・ 対活動法人 いたみ医学研究情	手報センター		E.	
	費目	使 途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額 (百万円)
	諸謝金	相談員 謝金	2.60			(1731 17
	旅費	講師派遣 旅費	1.00			
	消耗品費	事務用品等	0.20			
	備品費	印刷機等	0.70			
	通信運搬費	インターネット回線費等	0.30			
	借料損料	市民公開講座等 会場費	0.40			
	賃金	事務職員、相談員	0.80			
	役務費	ホームページ管理等	1.00			
	計		7	計		0
		В.			F	
	費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
費目・使途 (「資金の流れ」に						
おいてブロックご						
とに最大の金額 が支出されている						
者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記						
の双方で実情が 分かるように記						
載)	計		0	 計		0
	н	C.		н	G.	
	費 目	使 途	金額	 費 目	使 途	金額
			(百万円)			(百万円)
	計		0	計		0
		D.			H.	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)

支出先上位10者リスト A.

A.	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	特定非営利法人 いたみ医学研究情報センター	からだの痛み相談・支援事業	7.0		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					_
9					·
10					

В.

<u>.</u>	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

# 2 日本			平成25	年行	<u> </u>	単しし	ごューシート		(厚生	上労賃	勋 <u>省)</u>
株式 中央	事業名	重症神経難病患者災害	- 情報ネットワーク事	業	担当部	邓局庁		捷康局		作月	戊責任者
### 1	事業開始 • (予定) 年度	平成			担当	課室	疾症				病対策課 原 克志
本業の目的		一和	长会計		政策・2	施策名	I - 5 - 2 消 予	台療方法が確立 防・治療等を	えしていた 充実させ	ない特殊 ること	株の疾病等の
事業の目的	(具体的な :項も記載)		_		通知	等		-	_		
事業機要 (5行程度以内。	業の目的 指す姿を簡 。3行程度以 内)										
22年度 23年度 24年度 25年度 26年度 25年度 26年度要求 26年度要求 24年度 25年度 26年度要求 24年度 26年度要求 26年度	事業概要 行程度以内。 引添可)	既要 E以内。 可)									
予算額・執行額 (単位:百万円) 当村正子算の状況 線越し等計 3 3 3 100% 成果目標及び成果実績 (アウトカム) 成果指標 単位 22年度 23年度 24年度 23年度 24年度 23年度 24年度 23年度 24年度 23年度 24年度 23年度 24年度 3年度 3年度 24年度 3年度 3年度 3年度 3年度 3年度 3年度 3年度 3年度 3年度 3	実施方法 □	□直接実施 □委託									
予算額・執行額 (単位:百万円) の状 線越し等 計		当初予算	22年度		23年度			25年月	度	26	6年度要求
執行額		予算 補正予算									
執行額 3 100% 10	執行額										
執行率(%) 100% 100% 成果指標 単位 22年度 23年度 24年度 23年度 24年度 23年度 24年度 23年度 24年度 23年度 24年度 23年度 24年度 24年度 24年度 24年度 24年度 24年度 24年度 24	道位:百万円)	計					3				
成果目標及び成果実績 (アウトカム) (大学時における神経難病患者の円滑な受入の実現 (アウトカム) (大学時における神経難病患者の円滑な受入の実現 (アウトブット) (大学時のアクセス数(活用する災害の発生がまだない) (大学時のアクセス数(活用する災害の発生がまたない) (大学時のアクセス数(活用する災害の発生がまたない) (大学時のアクセス数(活用する災害の発生がまたない) (大学時のアクセス数(大学時のアクセスな)(大学時のアクセス数(大学時のアクセス数(大学時のアクセス数(大学時のアクセスな)(大学時のアクセスな)(大学時のアクセスな)(大学時のアクセスを) (大学時のアクセスな)(大学時のアクセスな)(大学時のアクセスな)(大学時のアクセスな)(大学時のアクセスな)(大学時のアクセスな)(大学時のアクセスな)(大学時のアクセスな)(大学時のアクセスな)(大学時のアク・オン・オン・オン・オン・オン・オン・オン・オン・オン・オン・オン・オン・オン・		執行額					3				
成果目標及び成果実績 (アウトカム) 災害時における神経難病患者の円滑な受入の実現 遠成度 96		執行率(%)					100%				
果実績 (アウトカム) 災害時における神経難病患者の円滑な受入の実現 成果実績	□ LTE TL + 化内体	成果指標				単位	22年度	23年度	24年	度	目標値 (年度)
活動指標及び活動実績 (アウトブット) 単位当たり コスト 費目 25年度当初予算 26年度要求 主な増減理由 (アウトブット) 費目 25年度当初予算 26年度要求 主な増減理由	果実績	災害時における神経難病患	者の円滑な受入の実現	見		_	_	_	_		-
活動指標及び活動実績					達成度	%	_	_	_		
動実績 (アウトブット) 災害時のアクセス数(活用する災害の発生がまだない) 活動実績 (当内見込み) ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー	七悔 ひが年	活動	b指標 			単位	22年度	23年度	24年	度	25年度活動見込
単位当たり コスト 一 費目 25年度当初予算 26年度要求 主な増減理由	動実績	災害時のアクセス数(活用す	ナる災害の発生がまだな	;(1)	(当初見込	_	_	-	_		_
対					み)		_	_	_		_
平 成 2 5 · 2 6								-			
2 5 2 6	費	目 25年度当初	0予算 26年度要求				主な	ょ増減理由			
年 度 予 算 内 訳											

				事業所管部局	局による点検			
			項目			評価	評価に関	
国	広く国民のニ	ニーズがある	か。国費を投入しなければ	事業目的が達成できな	にいのか 。	0	専門医・専門病院間のネット「 模となることから、国費を投入	フーク整備であり、全国規 していく必要がある。
必費 要投	地方自治体	、民間等に委	ねることができない事業な	でか。		0	模となることから、国費を投入 全国的なネットワークシステム することが妥当である。	ムの整備であり、国が実施
性入の	明確な政策 なっているか		標)の達成手段として位置	付けられ、優先度の高	い事業と	0	災害時の神経難病患者の受 業であり、優先度は高い。	
	競争性が確	保されている	など支出先の選定は妥当	か。		0	神経難病患者の受入に関する関する知見の高い日本神経	る事業であり、神経難病に 学会への支出が妥当であ
事	受益者との1	負担関係は妥	そ当であるか。			_	_	
業の	単位当たり	ストの水準に	は妥当か。			_	_	
効率	資金の流れ	の中間段階で	での支出は合理的なものと	なっているか。		_	_	
性	費目・使途が	「事業目的に	即し真に必要なものに限定	Eされているか。		0	交付申請の審査をしており、, となっている。	必要なものに限定した使途
	不用率が大	きい場合、そ	の理由は妥当か。(理由を	右に記載)		_	_	
事業	事業実施に あるいは低:	当たって他のコストで実施で)手段・方法等が考えられる できているか。	る場合、それと比較して	より効果的	_	_	
の有	活動実績は	見込みに見る	合ったものであるか。			_	_	
効性	整備されたが	施設や成果物	別は十分に活用されている	か。		_	_	
			他部局・他府省等と適切な 容を各事業の右に記載)	な役割分担を行っている	か。	_		
重複	事業番号	2条体的な17	類似事業名	所管府行				
 							_	
LAN.								
				外部有識				
	i			行政事業レビュー対	推進チームの)所見		
	_				_			
			所見を	踏まえた改善点/概	算要求にお	ける反映	央状況	
	_				_			
				p44 -		_		
				備	F			
				連する過去のレビュ		丰米本 (3	
	平成	 22年		平成23年	新24-012	于不田 7	夏 平成24年	新24-0010

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。 厚生労働省 3百万円 【補助】 A 一般社団法人 日本神経学会 3百万 円 ・災害対策ネットワークの組織化 ・災害時医療情報共有化システムの整備 **資金の流れ** (資金の受け取 り先が何を行っ ているかについ て補足する) (単位:百万 円)

	P	A.一般社団法人 日本神経学会		E.				
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)		
	旅費	会議出席旅費	0.4					
	庁費	災害時医療情報共有化システム構築	2.6					
	計		3	計		0		
		В.			F.			
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)		
費目∙使涂								
費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載								
とに最大の金額が支出されている								
者について記載								
する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)								
があること記載)								
	計		0	計		0		
		C.		G.				
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)		
	計		0	=1				
	āl .	5	0					
	* •	D.	金 額		H.	金額		
	費目	使途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)		
	 計		0	 計		0		
	ні			ні		Ĭ		

支出先上位10者リスト A.

A.	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般社団法人 日本神経学会	重症神経難病患者災害情報ネットワークの構築	3		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

	平成25年行政事業レビューシート(厚生労働省)														
	事業名		紧 患重症化	予防実	民 践事業		担当部	乃		健康	表 局		作成責任者		
	業開始 • (予定) 年度		平成2	4年度			担当	課室		美病対			田	病対策課 原 克志	
会	計区分	一般会計					政策•	施策名	I-5-2 治療方法が確立していない特殊の疾病等の 予防・治療等を充実させること						
(-	拠法令 具体的な 項も記載)	_					関係する 通知			_					
(目		ここ数年、新規透析導入患者数は年間約1万人ずつ増 者は、定期的に透析を実施しなければ生命に関わる。な 、。													
(5行 別	程度以内。 引添可)	以内。 患者に対して個別栄養指導等を行い、透析導入患者の増加を抑制する。						栄養士を派遣し							
美	ミ施方法 	□直接実施	□委託・	請負	■補助		□負担 23年度		交付 口貨 	付	□その				
		当	初予算		22年度	F度			24年度		25年) 28	芰	26年度要求 28		
₹.40	·算額 ·	の状	正予算												
Ė	外行額 執行額 位:百万円)	況	越し等												
(#	匹.日2711/	+1.4=	計 						31		28			28	
		執行額							19						
		執行率(%)		14-1#		_		24.1	61				<u>│</u> 目標値		
成里	目標及び成	成果指標 						単位	22年度		23年度	24年	<u></u>	(年度)	
;	果実績	患者に対して個別栄養指導等を行い、透析導入患者の 増加を抑制する。					成果実績		_		-	_		_	
							達成度	%	_		_	_			
		活動指標						単位	22年度		23年度	24年	度	25年度活動見込	
	指標及び活 動実績	個別指導件数					活動実績		_		_	217	7	_	
	ウトプット)						(当初見込み)		_	(-)	(450		(450)	
単位当たり コスト		- (円/)			算出根拠	算出根拠 —									
	費	費 目 25年度当		予算	26年度要求		É			主な増減理由					
平成。	補助金		28		28										
2 5 •															
2															
年															
度 予 算·															
内訳															
		計	28	Ī	28										

事業所管部局による点検										
			項目			評価	評価に関す	る説明		
国必費		ニーズがあるカ	か。国費を投入しなければ	事業目的が達成できない	いのか。	0	慢性腎臓病が重症化し、透析しずつ増加しており、QOLの低下高い事業である。			
要投性入		、民間等に委	ねることができない事業な	このか。	0	年々増加する透析患者を抑制 て実施する必要がある。	するため、国が主体となっ			
0	明確な政策なっているが	目的(成果目: い。	標)の達成手段として位置	付けられ、優先度の高い	_	-				
競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。							支出先である法人は、慢性腎服 おり、支出先の選定は妥当であ	蔵病に関する知識を有して ある。		
事	受益者との	負担関係は妥	当であるか。			_	_			
業の計	単位当たり	コストの水準に	は妥当か。		_	_				
効率	資金の流れ	の中間段階で	での支出は合理的なものと	なっているか。		_	_			
性	費目・使途が	が事業目的に	即し真に必要なものに限る	されているか。		0	費目・使途は事業目的に即してい			
	不用率が大	きい場合、そ	の理由は妥当か。(理由を	右に記載)		0	公募先の選定に時間を要し、事なってしまったため。	事業実施期間が短期間と		
事業	事業実施に あるいは低:	当たって他の コストで実施て	手段・方法等が考えられる ごきているか。	る場合、それと比較してより	り効果的	0	地域特性の実情にあわせた実効	性の高い手段となっている。		
の有	活動実績は	見込みに見合	合ったものであるか。			_	_			
効 性			は十分に活用されている			_	_			
舌			他部局・他府省等と適切な 容を各事業の右に記載)	は役割分担を行っているか	١,	_				
重 複 排	事業番号		類似事業名	所管府省・	・部局名					
除										
果				州如大学书	小 託目					
				外部有識者	の所見					
引き紛	き適正執行	に努めること。	。(長崎、井出)							
				行政事業レビュー推済	進チームの	の所見				
			けし個別栄養指導を行い、 Fとなるよう努めるべき。	透析導入患者の抑制を図	図る事業で	あるが、ヨ	事業の必要性及び執行の観点 た	いらも妥当であり、引き続		
			所見を	と踏まえた改善点/概算	要求にお	ける反映	央状況			
	П									
	現 状 通				_					
	週り									
				備考						
				関連する過去のレビュー	-シートの	事業番号	号			
	平成	过22年	-	平成23年		-	平成24年	新24-0011		

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省 19百万円

交付申請書の内容審査、交付決定、補助事業者の指導監督等



【補助】

- A. 一般社団法人 日本腎臓学会 8百万円 (中部·近畿地方)
- A. 一般社団法人 日本腎臓学会 7百万円 (中国・四国・九州地方(沖縄県を含む)
- A. 認定特定非営利活動法人 腎臓病早期発見推進機構
 - 4百万円 (北海道·東北·関東地方)

資金の流れ (資金の受け取 り先が何を行っ ているかについ て補足する) (単位:百万 円)

- ①医療機関との連携
- ②管理栄養士等に対する指導
- ③患者に対する個別指導

	A	A.一般社団法人 日本腎臓学会	E.					
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)		
	諸謝金	管理栄養士講習会 企画委員会 謝金	1.00					
	旅費	栄養士講習会旅費 企画委員会旅費	1.90					
	消耗品費	血圧計等	7.90					
	備品費	データ管理用PC一式	1.70					
	通信運搬費	CKD管理ノート送付料	0.03					
	借料損料	会場借料等	0.70					
	賃金	データ入力作業員	0.60					
	印刷製本費	CKD管理ノート印刷	1.40					
	計		15	計		0		
		B.			F.			
	費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)		
費目・使途								
(「資金の流れ」に おいてブロックご								
とに最大の金額								
が支出されている 者について記載								
する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)								
分かるように記 載)								
	計		0	計		0		
		C.			G.			
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)		
	計		0	計		0		
		D.			H.			
	費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)		
	計		0	計		0		

支出先上位10者リスト A

A.					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般社団法人 日本腎臓学会	腎疾患重症化予防実践事業	8		
2	一般社団法人 日本腎臓学会	腎疾患重症化予防実践事業	7		
3	認定特定非営利活動法人 腎臓病早期発見推進機構	腎疾患重症化予防実践事業	4		
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					